



青森県基本計画

「選ばれる青森」への挑戦

支え合い、共に生きる

令和3年度版

事業概要

(令和2年度事業実績)

東青地域県民局地域健康福祉部

目 次

第1 総 括

1 管内の概況	1
2 沿革	3
3 機構図と分掌事務	8
4 令和3年度運営方針	13
5 令和3年度行事予定表	16
6 令和3年度相談等日程表	18

第2 各室の事業概要（令和2年度事業実績）

保 健 総 室（東地方保健所）

I 指導予防課関係業務

1 東青地域県民地域健康福祉部の歳入・歳出（令和2年度）	19
2 保健統計調査	22
3 医療薬務	23
4 会議・研修	28

II 生活衛生課関係業務

1 食品衛生	29
2 化製場等	36
3 生活衛生	37
4 水道及び飲料水	39
5 建築物衛生	40
6 その他の施設	41
7 温泉	42

III 健康増進課関係業務

1 健康づくり事業	43
2 栄養改善事業	47
3 結核予防	50
4 母子保健事業	56
5 精神保健福祉	58
6 難病	66
7 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進	70
8 感染症予防	72
9 組織の育成	73
10 地域保健関係者研修	75
11 医療技術者等研修	76

IV 試験検査課関係業務

1 食中毒・感染症原因菌検査及び苦情食品検査	77
2 結核菌感染の補助診断検査（クオンティフェロン検査）	78
3 流通食品・牛乳等検査	78
4 HIV検査	79
5 食品衛生外部精度管理検査	80

V 健康危機管理関係・青森県口腔保健支援センター関係業務	
1 健康危機管理	81
2 新型コロナウイルス感染症の対応状況	82
3 青森県口腔保健支援センター	84

福祉総室（東地方福祉事務所）

I 福祉調整課関係業務	
1 特別障害者手当・障害児福祉手当・福祉手当	86
2 特別児童扶養手当等	88
3 母子・父子・寡婦福祉	90
4 配偶者暴力相談支援関係	94
II 保護課関係業務	
生活保護	96
III 監査指導課関係業務	
社会福祉施設等指導監査	103
令和2年度指導監査等の実施状況	104

こども女性相談総室（中央児童相談所・女性相談所）

I 児童相談所の業務	
1 相談業務	105
2 判定業務	112
3 一時保護業務	113
II 児童相談所の事業等	
児童相談所の事業等	117
1 子ども虐待防止対策	118
2 市町村支援	120
3 里親支援	121
4 関係機関との連携状況	122
III 女性相談所の業務	
1 女性相談所の業務	123
2 業務の状況	124
3 関係機関との連携状況	126

第3 資料編

I 保健総室関係資料	
1 管内の人口動態	127
2 救急医療機関の指定状況	133
3 小児慢性特定疾病医療費受給者	134
4 小児慢性特定疾病児童手帳（ひまわり手帳）交付状況	135
5 妊婦連絡票等実施状況	136
6 市町村別乳幼児健康診査実施状況	137
7 各種協議会等委員名簿	138
(1) 東地方保健所感染症診査協議会委員	
(2) 東地方保健所結核診査協議会委員	
(3) 青森地域保健医療推進協議会委員	

- (3)- ① 青森地域保健医療推進協議会 医療対策部会員
- (3)- ② 青森地域保健医療推進協議会 保健対策部会員
- (4) 青森地域災害医療対策協議会委員

II 福祉総室関係資料

1 民生委員・児童委員の活動状況（令和2年度）	141
2 関係団体等名簿	142
(1) 民生委員・児童委員協議会等	
(2) 母子福祉会	

III こども女性相談総室関係資料

1 管内児童人口	144
2 一時保護の状況の推移	144
3 一時保護所の一時保護児童の推移	144
4 経路別児童受付数	145
5 相談処理数	145
6 年齢別・相談種類別児童受付数	145
7 市町村別・相談種類別児童受付数	146
8 障害児施設利用状況	146
9 児童福祉施設等措置状況	147

(女性相談所関係)

1 相談受付件数の推移	148
2 年度別形態別相談受付件数の推移	148
3 年齢別相談受付件数の推移	148
4 経路別相談受付件数の推移	149
5 相談処理状況の推移	149
6 主訴別相談受付状況の推移	150
7 配偶者暴力相談支援センター（女性相談所）における相談件数の推移	150
9 裁判所から書面提出を求められた件数の推移	150
10 DV通報件数の推移	150

IV その他

1 令和3年度東青地域県民局地域健康福祉部災害救助体制	151
2 災害発生時における連絡系統図	152
3 令和3年度災害時応答窓口一覧表	154

第1 総括

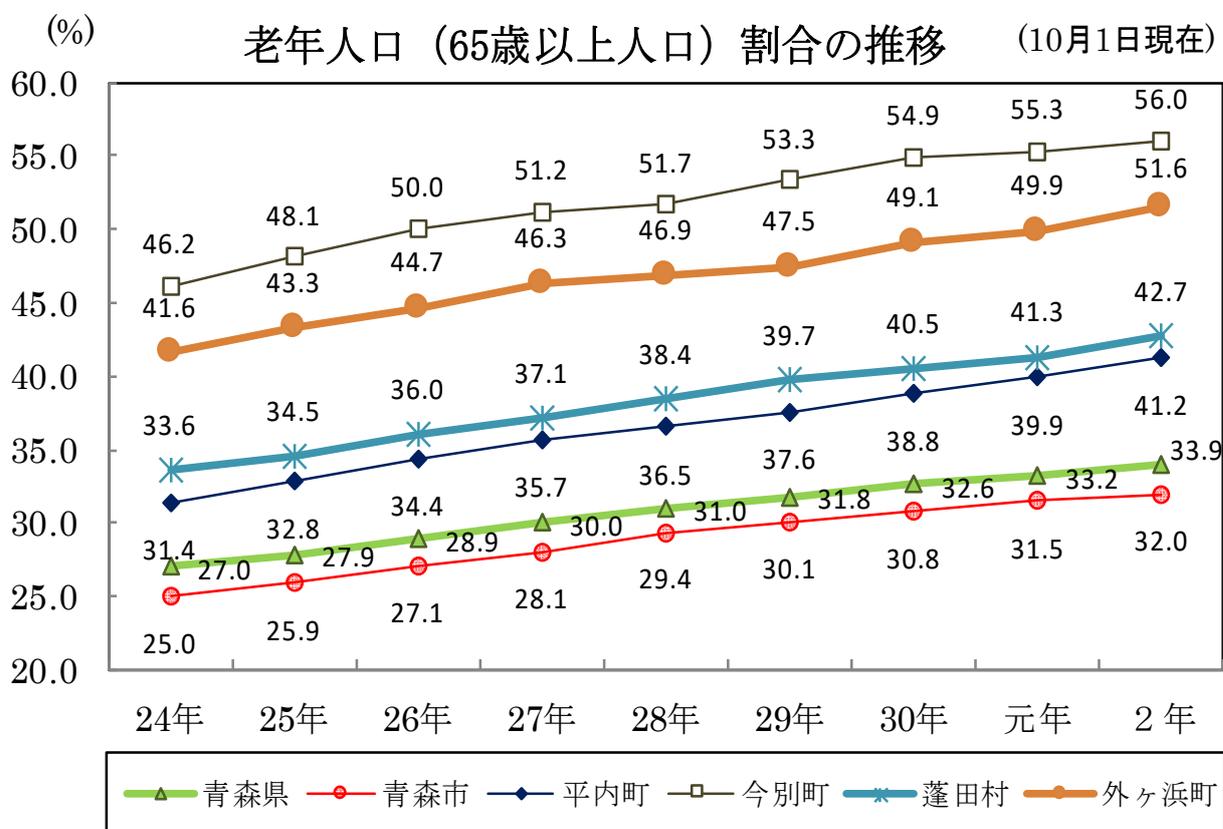
(3) 管内面積、人口、老年人口（65歳以上）及び老年人口割合

	総面積 (km ²) (※1)	人口 (人) (※2)	老年人口 (人) (※2)	老年人口割合 (%) (※2)
県合計	9,645.64	1,230,715	413,443	33.9
管内計(青森市・東郡)	1,478.11	293,367	94,922	33.0
東津軽郡計	653.50	20,289	9,274	45.8
【市町村別】				
青森市	824.61	273,078	85,648	32.0
平内町	217.09	10,054	4,137	41.2
今別町	125.27	2,333	1,306	56.0
蓬田村	80.84	2,610	1,104	42.7
外ヶ浜町	230.30	5,292	2,727	51.6

(※1) 総面積：令和2年10月1日現在の全国都道府県市町村別面積調（国土交通省国土地理院）

(※2) 人口・老年人口・老年人口割合：令和2年10月1日現在推計人口（青森県企画政策部）

老年人口割合は 65歳以上人口/（人口総数一年齢不詳）



2 沿 革

【保健総室】

昭和12年10月	青森保健所として設立認可される。(旧保健所法(昭12.4.5))
13年3月1日	青森市浦町女子師範付属校校庭に概算1万円にて庁舎完成
13年6月1日	技師2名(うち1名所長)、技手1名、指導員3名、主事補1名、保健婦3名の職員を置いて開所。一般住民の健康相談、患家の家庭訪問、共同炊事の指導を主として実施した。管轄1市23町村
19年10月1日	青森簡易保険健康相談所を併合し、青森中央保健所となる。庁舎を青森市博労町に移転し業務を継続。旧浦町の庁舎は保健婦養成所となる。
20年7月28日	戦災のため庁舎全焼 庁舎消失後、蓮華寺、市公会堂(一部は藤崎町へ分散、火傷患者の治療に当たる)、県立診療所、県民会館(浅虫)、県衛生課等を転々と移転
21年11月24日	県衛生課に寄寓中、火災にあい再び全焼。青森市医師会館、県世話課等移転
22年9月1日	青森県立図書館の内部を改造してようやく本来の業務を再開 同年、警察行政であった衛生関係事務が保健所に移管
23年1月1日	新保健所法施行(昭22.9.5) 同年新法により青森保健所と改称
23年11月30日	青森市長島2、元新町小学校敷地に新庁舎を建築移転する。 木造トタン葺2階建、建坪112坪(延193坪)、総工費263万円
24年7月1日	青森優生結婚相談所を併設
26年1月20日	保健所処務規程により4課制(総務課、衛生課、予防課、普及課)となる。
26年12月	県立病院建設に伴い、敷地の関係により市内浦町字野脇54に庁舎を新築竣工 木造トタン葺2階建モルタル塗、建坪162坪(延250坪)、総工費600万円
27年1月20日	新庁舎に移転
27年4月1日	保健所処務規程により4課10係制となる。
27年5月27日	青森優生結婚相談所を青森優生保護相談所に改称
27年9月	青森県立精神衛生相談所を併設
28年5月1日	青森肢体不自由児療育相談所を併設
29年5月1日	保健所処務規程の改正により次長を置き、5係制(庶務係、医薬係、環境衛生係、予防係、保健係)となる。
29年6月8日	併設の肢体不自由児療育相談所を青森身体障害児療育相談所に改称
33年8月6日	保健所処務規程の改正により4係制(総務係、環境衛生係、予防係、保健係)となる。
34年3月31日	併設の性病診療所を廃止
37年4月1日	保健婦係新設
38年8月10日	行政組織規則の改正により係制が廃止され5課制(総務課、環境衛生課、保健課、予防課、保健婦課)となる。
43年3月25日	青森市大字造道字沢田25の1に青森県保健衛生センター庁舎(青森保健所、青森県血液センター、青森県衛生研究所の合同庁舎)が新築され、同年4月1日移転、業務を開始 青森県保健衛生センター 鉄筋コンクリート3階建、建物本館2,523.73㎡(764.78坪) 附属舎313.88㎡(95.11坪)、総工事費1億3,748万円

敷地面積 8,995.96 m² (2,726.05 坪)

なお、付属舎は昭和 48 年 3 月犬舎増築、昭和 49 年 1 月倉庫新築の結果 436.40 m² (132.24 坪) となる。

昭和 46 年 4 月 1 日	次長格付が課長級となる。
47 年 4 月 1 日	行政組織規則の改正により 4 課制（総務課、環境衛生課、保健予防課、保健婦課）となる。
53 年 4 月 1 日	衛生指導監の職制新設
59 年 1 月 27 日	青森市大字岩渡字熊沢 250 に青森地区動物焼却所 (45.40 m ²) が新築される。
63 年 7 月 1 日	青森県立精神衛生相談所を青森県立精神保健相談所に改称
平成 2 年 4 月 1 日	青森県公害調査事務所及び青森県衛生研究所が独立（青森県環境保健センター）し、当庁舎は青森保健所のみとなる。
4 年 4 月 1 日	行政組織規則の改正により保健婦課を健康増進課に改称
6 年 10 月 31 日	併設の青森県立精神保健相談所を廃止
8 年 9 月 25 日	併設の青森優生保護相談所を廃止
9 年 4 月 1 日	行政組織規則の改正により次長 2 人制及び 5 課制（総務課、環境衛生課、保健予防課、健康増進課、試験検査課）となる。 総務課に新たに企画調整、支援の職員が配置される。
11 年 4 月 1 日	健康づくり推進監の職制新設
12 年 4 月 1 日	行政組織規則の改正により試験検査課が青森保健所に集約となる。 青森県環境保健センターに環境管理部が新設され、保健所業務のうち廃棄物関係及び環境保全関係業務が移管されるとともに当庁舎に入居となる。
14 年 4 月 1 日	行政組織規則の改正により、保健所、福祉事務所、児童相談所を統合して「東地方健康福祉子どもセンター」が新設され、保健部となる。 次長が 1 人制となり、健康づくり推進監の職制廃止 環境衛生課が生活衛生課に改称され、4 課制（保健予防課、生活衛生課、健康増進課、試験検査課）となる。 総務課は福祉事務所及び児童相談所の総務課と統合され、企画部門も加えて総務企画室として保健部と同じ庁舎に配置される。
16 年 4 月 1 日	次長 2 人制となる。（1 名は保健予防課長兼務）
17 年 4 月 1 日	併設の青森身体障害児療育相談所を廃止
18 年 4 月 1 日	青森県動物愛護センターが設置され、狂犬病予防対策、動物愛護・管理関係業務が移管される。 老人精神保健福祉相談日を廃止 次長 1 人制となる。
18 年 10 月 1 日	青森市の中核市移行に伴う青森市保健所の新設により、主として東津軽郡を所管する「東地方保健所」に改称となる。
19 年 4 月 1 日	行政組織規則の改正により、東地方健康福祉子どもセンターの業務を「東青地域県民局地域健康福祉部」に移管し、東地方健康福祉子どもセンターは廃止となる。 保健医長を廃止 保健予防課が指導予防課に改称され、4 課制（指導予防課、生活衛生課、健康増進課、試験検査課）となる。 総務企画室を企画調整室に改称

平成20年4月1日	行政組織規則の改正により、企画調整室の業務を保健総室及び福祉総室に移管し、企画調整室は廃止となる。
24年3月5日	青森市造道3丁目25-1から青森市第二問屋町4丁目11-6（旧工業総合研究所）に移転 東地方保健所新庁舎（鉄筋コンクリート2階建） 敷地面積1,037.37㎡、延べ床面積1,577.20㎡ 平成24年12月車庫を新築する。（69.60㎡）
25年4月1日	地域主権改革に伴い、薬局開設許可等に係る事務権限を青森市へ移譲
26年4月1日	歯科口腔保健の推進に関する法律の規定による「青森県口腔保健支援センター」を開設。県内全域を対象として、歯科医療等業務に従事する者等に対する情報の提供、研修の実施その他の支援を行うこととなる。これに伴い、非常勤特別職として歯科衛生士が配置される。
令和3年4月1日	「青森県口腔保健支援センター」が県健康福祉部がん・生活習慣病対策課内へ移転。

【福祉総室】

昭和26年10月1日	県条例第62号により東津軽社会福祉事務所として発足 2課制（庶務、福祉）、職員数28名、管轄区域 東津軽郡21か町村
28年11月1日	母子相談員の配置
29年5月1日	出先機関の統廃合により東地方福祉事務所となる。職員数20名
29年8月	青森市長島1の1から青森石江字江渡5の1に移転
30年2月1日	嘱託医の配置
31年1月	市町村合併により8か町村を管轄
31年6月	青森石江字江渡5の1から青森市長島177の3に移転
31年9月	後潟村と青森市が合併し、7か町村の管轄となる。
32年3月	野内村と青森市が合併し、平内町、蟹田町、今別町、蓬田村、平舘村、三厩村の6か町村の管轄となる。
35年10月	青森市長島177の3から青森市新町59番地に移転
37年4月1日	精神薄弱者福祉司の配置
39年4月1日	庶務課、保護課、福祉課の3課制となる。職員数22名
40年	青森市新町59番地から青森市長島28の68に移転
41年4月1日	身体障害者福祉司が配置され、精神薄弱者福祉司の兼務となる。
42年4月1日	児童福祉指導員の配置
43年6月1日	家庭児童相談室の開設。家庭相談員2名配置される。
44年4月1日	総務課、保護課の2課制となる。職員数24名
44年	青森市長島28の68から青森市新町2の4の15に移転
48年4月1日	新福祉事務所構想によるモデル事務所となる。総務課、福祉第一課、福祉第二課の3課制をとり、心理判定員が配置される。職員数33名 厚生省の実験福祉事務所に指定される。
50年8月27日	青森市新町2の4の15から青森市新町2の4の36（県社会福祉会館1階）に移転
52年4月1日	次長を配置
53年4月1日	モデル事務所の呼称を用いず、新福祉事務所となる。

平成 5年4月1日	総務課、福祉調整課、福祉推進課の3課制となり、社会福祉専門監が配置される。
10年1月31日	青森市新町2丁目4-36から青森市本町2丁目1-16へ移転
12年7月8日	青森市本町2丁目1-16から青森市新町2丁目4-30（県庁舎北棟3階）へ移転
14年4月1日	健康福祉こどもセンター福祉部となり、福祉調整課、福祉推進課の2課制となる。 社会福祉専門監を廃止 監査指導監を配置 婦人相談員1名を配置し、県内8か所の「配偶者暴力相談支援センター」の1機関としての業務を行う。
15年4月1日	福祉推進課が生活保護単法制となる。 母子相談員を母子自立支援員に改称
16年4月1日	福祉推進課を保護課に改称
18年10月1日	青森市の中核市移行に伴い児童福祉に関する事務、社会福祉法に基づく法人等の指導監査事務、身体障害者の福祉に関する事務（身体障害者手帳交付等）、母子及び寡婦の福祉に関する事務（母子寡婦福祉資金貸付等）を青森市へ移譲
19年4月1日	東青地域県民局地域健康福祉部福祉総室となる。（2課体制には変更なし）
21年4月1日	身体障害者手帳の交付に関すること及び愛護手帳の交付に関することを障害者相談センターへ業務移管 監査指導監を廃止
24年4月1日	地域主権改革に伴い、介護サービス事業者及び障害福祉サービス事業者の監査権限を青森市へ移譲
25年4月1日	組織改正（業務集約化）により、各県民局が所管していた児童扶養手当、特別児童扶養手当等の各種手当及び社会福祉法人等の監査に関する業務を集約。福祉調整課の人員増、監査指導課の新設等が行われる。
25年7月1日	医療扶助相談・指導員（非常勤）を配置
26年9月1日	生活保護受給者就労支援相談員（非常勤）を配置
29年4月1日	母子自立支援員を母子・父子自立支援員に改称
30年4月1日	青森県型地域共生社会担当を配置

【こども女性相談総室】

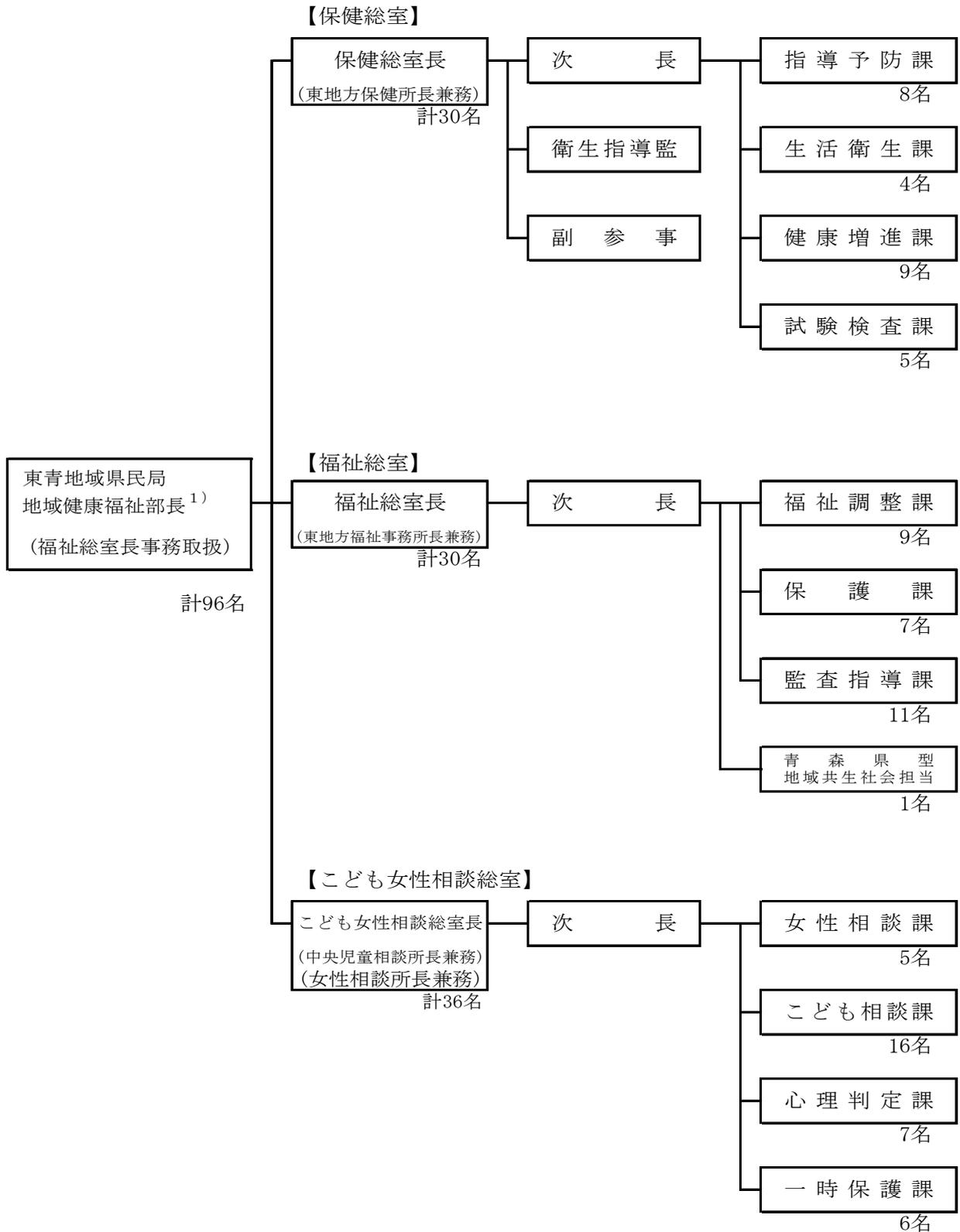
昭和23年4月	中央児童相談所を本庁児童課内に、一時保護所を青森学園（教護院、当時青森市石江）に置く。
24年3月	中央児童相談所を新築移転（青森市新町）
27年5月	児童福祉法第27条第1項の措置権を児童相談所長に委任
29年4月	中央児童相談所を移転（青森市寺町）
34年4月1日	次長制が採られる。
35年12月	中央児童相談所を新築移転（青森市松森）
44年4月1日	一時保護の集中管理実施
47年4月1日	次長制を廃止し、総務係、業務係の2係制となる。
55年4月1日	庶務課、業務課、一時保護課の3課制となる。
平成 元年	青森福祉庁舎建設工事着工される。

平成	3年10月1日	中央児童相談所を新築移転（青森市石江→青森福祉庁舎）
	4年11月1日	家庭支援電話相談事業電話相談員（非常勤）が配置される。
	5年4月1日	次長制（兼務）が採られる。
	9年4月1日	中央児童相談所むつ支所が県むつ合同庁舎内に開設される。
	10年4月1日	庶務課を総務課に改称
	11年11月1日	虐待ホットライン事業電話相談員（非常勤）が配置される。
	12年4月1日	中央児童相談所は総務課、業務課、心理判定課、一時保護課の4課制となる。
	13年6月1日	家庭支援電話相談事業電話相談員（非常勤）が廃止される。
	14年4月1日	健康福祉子どもセンター子ども相談部となり、子ども相談第一課、子ども相談第二課、心理判定課、一時保護課の4課制となる。 むつ支所が、むつ児童相談所に格上げとなる。
	16年4月1日	次長制が廃止となる。
	18年4月1日	精神科医師（常勤）が配置される。
	19年4月1日	東青地域県民局地域健康福祉部子ども相談総室となり、次長制が採られる。 子ども相談第一課、子ども相談第二課を廃止し、子ども相談課を新設。
	21年4月1日	精神科医師（常勤）が廃止され、つくしが丘病院の精神科医師が併任となる。
	29年4月1日	弁護士（非常勤）が配置される。
令和	2年4月1日	虐待ホットライン事業電話相談員（非常勤）が女性相談所に所管換えとなる。
令和	3年4月1日	東青地域県民局地域健康福祉部子ども女性相談総室となり、女性相談課を新設。
(女性相談所関係)		
昭和	32年7月1日	青森県婦人相談所設置条例（県条例第25号）により、婦人相談所を青森県庁内に設置
	32年12月1日	青森市大字石江の現在地にあった旧青森学園（大正12年建築）の庁舎に移転、一時保護所（定員20名）を開設
	34年4月1日	青森県立青森婦人寮設置規則（県規則第29号）により、婦人相談所と同一敷地内に県立青森婦人寮（定員30名）を設置
	36年2月1日	青森県婦人相談所設置条例廃止、青森県行政組織規則（県規則第18号）により、婦人相談所及び県立青森婦人寮の所掌事務等規定
	39年4月1日	青森県婦人保護施設条例（県条例第36号）制定
	63年4月1日	青森県婦人保護施設条例を廃止し、青森県立青森婦人寮を廃止
平成	2年5月1日	庁舎改築のため、青森市大字石江字江渡97の1にある母子福祉センター「白百合荘」内の仮庁舎に移転
	3年10月1日	庁舎完成のため母子福祉センター内の仮庁舎から現在地へ移転
	8年4月1日	青森県女性相談所へ名称変更（県訓令乙第171号）
	14年4月1日	「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律」に基づき配偶者暴力相談支援センターの業務を開始 DVホットライン（通報電話）を開設
	15年4月1日	青森県青森福祉庁舎全体の管理業務を開始
	16年2月	人身取引被害者の支援業務を開始
	25年	ストーカー行為等被害者の支援業務を開始

3 機構図と分掌事務

(1) 機構図

令和3年4月1日現在



注 1) 部長は福祉総室長事務取扱であり、福祉総室の職員数に参入。
2) 人員は、地域健康福祉部内の正職員数。

(2) 分掌事務

【保健総室】

指導予防課

1. 地域健康福祉部内の庶務に関すること
2. 保健、医療、公衆衛生に関する思想の普及及び向上に関すること
3. 保健、医療、公衆衛生に関する情報の収集、整理及び活用に関すること
4. 衛生教育に関すること
5. 地域保健に関する調査及び研究に関すること
6. 病院、診療所、助産所、歯科技工所、衛生検査所及び施術所に関すること
7. 医師、歯科医師、薬剤師、保健師、助産師、看護師、准看護師、歯科衛生士、診療放射線技師、診療エックス線技師、歯科技工士、臨床検査技師、衛生検査技師、理学療法士、作業療法士、視能訓練士、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師、柔道整復師、栄養士及び調理師に関すること
8. 死体解剖保存に関すること
9. 薬局及び医薬品販売業に関すること
10. 毒物及び劇物に関すること
11. 麻薬、向精神薬、大麻、あへん及び覚せい剤に関すること
12. 医薬品、医薬部外品、化粧品、医療機器及び再生医療等製品に関すること
13. 青森県保健医療計画に関すること
14. 青森地域保健医療推進協議会及び青森地域災害医療対策協議会に関すること

生活衛生課

1. 食品衛生に関すること
2. 化製場に関すること
3. 理容師及び美容師に関すること
4. クリーニング業に関すること
5. 旅館、公衆浴場及び興行場に関すること
6. 生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関すること
7. 水道に関すること
8. 飲料水の改善に関すること
9. 建築物衛生に関すること
10. 温泉に関すること
11. レジオネラ症発生防止対策に関すること
12. 住宅宿泊事業に関すること
13. 有害物質を含有する家庭用品の規制に関すること
14. 墓地及び埋葬に関すること

健康増進課

1. 健康づくり推進事業に関すること
2. 精神保健及び精神障害者福祉に関すること
3. 難病対策に関すること
4. 母子保健の推進に関すること
5. 栄養改善に関すること
6. 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進に関すること
7. 介護予防に関すること
8. 市町村の地域保健対策に関する調整及び必要な支援に関すること
9. 人材育成に関すること（看護学生実習・地域保健関係者研修・保健師の知の伝承等）
10. 結核、エイズ対策に関すること
11. 予防接種に関すること

試験検査課

1. 衛生上の試験検査に関すること

感染症担当

1. 感染症対策に関すること（結核・エイズ対策を除く）

【福祉総室】

1. 地域生活課題の解決に資する支援の包括的な提供その他地域福祉の推進のための措置に係る施策の企画、立案及び推進に関すること（青森県型地域共生社会関係）

福祉調整課

1. 児童扶養手当、特別児童扶養手当、障害児福祉手当、特別障害者手当及び福祉手当に関すること
2. 母子・寡婦・父子福祉に関すること
3. 要保護女子、配偶者暴力相談支援に関すること
4. 防災、災害救助等の連絡調整に関すること

保護課

1. 生活保護に関すること

監査指導課

1. 社会福祉法人及び社会福祉施設の指導監査等に関すること

【こども女性相談総室】

こども相談課

1. 児童の養護、障害、非行、育成等に係る相談、調査、指導及び措置に関すること
2. 児童虐待の防止等
3. 市町村の児童家庭相談の支援に関すること
4. 障害児入所給付費の支給に関すること

心理判定課

1. 要保護児童に関する心理学的・医学的判定に関すること

一時保護課

1. 要保護児童の一時保護に関すること

女性相談課

1. 要保護女性やDV被害者等からの相談、調査、指導・援助等に関すること
2. 女性保護に係る啓発・広報に関すること

(3) 総室別・職種別職員数

(令和3年4月1日現在)

	医 師	歯 科 医 師	獣 医 師	薬 劑 師	保 健 師	管 理 栄 養 士	臨 床 検 査 技 師	農 業 科 学	応 用 科 学	保 育 士	一 般 事 務	心 理 判 定 員	福 祉	運 転 技 能 員	合 計
部長（福祉総室長） ¹⁾											(1)				
保健総室 計	1	1	4	5	5	1	2	1	1	-	8	-	-	1	30
参事（総室長）	1														1
次長											1				1
衛生指導監			1												1
副参事		1													1
総括主幹 ²⁾			1(1)	2(2)											3
課長					1										1
主幹 ³⁾			1	(1)				1			4				6
主査			1	1			1		1		2				6
主任専門員					1										1
主事											1				1
技師				2	3	1	1								7
専門員															0
技能技師														1	1
福祉総室 計	-	-	-	-	-	-	-			-	29	-	1	-	30
総室長											1				1
次長											1				1
総括主幹 ²⁾											2(2)				2
総括主幹専門員											2				2
課長											1				1
主幹											9				9
主幹専門員											1				1
主査											6				6
主事											5		1		6
主任専門員											1				1
子ども女性相談総室	-	-	-	-	-	-	-			2	17	7	10	-	36
総室長											1				1
次長											1				1
総括主幹 ²⁾											3(3)				3
課長												1			1
主幹										1	4	2			7
主幹専門員											1				1
主査										1	3		3		7
主事											4	4	7		15
専門員															0
合 計	1	1	4	5	5	1	2	1	1	2	54	7	11	1	96

注1) 部長の()は福祉総室長事務取扱
 2) 総括主幹の()は課長事務取扱(再掲)
 3) 主幹の()は兼務。本務はあすなろ療育福祉センター

4 令和3年度運営方針

(1) 地域健康福祉部基本方針

広域的、専門的な拠点として設置された地域健康福祉部において、保健総室、福祉総室及びこども女性相談総室が相互に緊密に連携し、常に県民の視点に立って、市町村や関係機関・団体の理解と協力を得ながら各種施策を展開し、管内の保健、医療、公衆衛生、社会福祉、児童福祉の向上や要保護女性・DV被害者等の支援体制の充実を図る。

(2) 各総室の基本方針、重点目標及び具体的推進事項

【保健総室】

地域住民の健康の保持及び増進を目的とした施策を、急速な高齢化の進展、保健医療を取り巻く環境の変化等に即応し、地域における公衆衛生の向上及び増進を図るとともに、地域住民の多様化し、かつ、高度化する保健、医療、衛生、生活環境等に関する需要に的確に対応することができるように、地域の特性及び社会福祉等の関連施策との有機的な連携に配慮しつつ、総合的に推進する。

ア 市町村保健福祉事業に対する支援の充実・強化

- ・市町村における各種計画の策定及び進行管理に対する支援
- ・市町村地域保健従事者等に対する支援の充実

イ 感染症対策

- ・感染動向の把握
- ・感染症まん延防止対策の実施
- ・感染症予防知識の普及啓発
- ・感染症対策に関する体制整備

ウ 結核予防対策

- ・結核予防思想の普及啓発
- ・患者支援の徹底を図るために、地域 DOTS（直接服薬確認療法）を推進する。

エ 医療提供体制の充実・強化

- ・医療施設等に対する監視の強化

オ 薬事衛生対策

- ・薬事監視の強化
- ・薬物乱用防止対策の強化

カ 食品衛生対策

- ・食品取扱施設に対する監視指導の強化
- ・食品衛生思想の普及啓発

キ 生活衛生対策

- ・生活衛生関係営業施設等に対する監視指導の強化
- ・レジネオラ症発生防止対策の推進

ク 食中毒及び感染症対策

- ・食品の定期検査（流通食品・夏期・年末等収去検査）の実施
- ・検査業務の精度管理（内部・外部精度管理の実施）の徹底

ケ 健康づくり対策

- ・「健康あおもり21」・「健康青森地域21」の推進
- ・喫煙防止対策事業の推進
- ・肥満予防対策事業の推進

コ 精神保健福祉対策

- ・精神障害者の地域生活支援の推進
- ・心の健康づくり対策における地域・職域との連携

サ 難病対策

- ・難病患者・家族への相談指導事業等の推進による支援の充実

シ 母子保健対策

- ・母子保健ネットワーク事業の推進
- ・小児慢性特定疾病児童等の療養指導の推進

ス 栄養改善対策

- ・特定給食施設に対する栄養管理指導の強化
- ・市町村栄養改善業務に対する支援

セ 歯科保健対策

- ・8020運動の普及啓発

ソ 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進

- ・市町村保健・医療・福祉包括ケアシステムの構築及び充実の支援

タ 地区衛生組織活動の推進

【福祉総室】

保健・医療・福祉に関するニーズが複雑多様化かつ増大する中で、当該ニーズに的確に対応し、地域住民の福祉の安定・向上を図るため、福祉各法に基づく業務の適正実施に努める。

また、平成25年度から、児童扶養手当等の各種手当に係る業務及び県内全域の社会福祉法人・施設等に対する監査業務が当総室に集約されたことから、そのメリットを活かした効果的・効率的な支援等を行い、福祉の充実及び向上を図る。

なお、各種業務の実施に当たっては、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から柔軟に対応する。

ア 児童扶養手当等各種手当業務の適正実施

- ・市町村における適正な事務執行のための助言指導
- ・手当認定審査の適時適正な事務処理の推進と処理手順の標準化
- ・各種手当等債権の収入未済の解消促進

イ 母子父子寡婦福祉制度等の適正執行

- ・自立促進に係る各種情報の提供
- ・関係機関との適切な連携
- ・母子父子寡婦福祉資金の償還率の向上

ウ 生活保護業務の適正実施

- ・計画的な訪問調査の実施
- ・申請に対する迅速な調査及び決定
- ・関係機関との連携によるニーズ把握と具体的支援の実施

エ 社会福祉法人・施設及び市町村法施行事務に係る指導監査等業務の効率的な推進

- ・自主点検表等による効果的・効率的な指導監査の実施
- ・改善を要する事項に係る迅速な是正・改善指導

オ 青森県型地域共生社会の実現の推進

- ・市町村との連携強化による保健・医療・福祉包括ケアシステムの充実にに向けた取組推進

【こども女性相談総室】

児童のあらゆる権利の擁護と健やかな成長を保障するため、地域における関係機関、学校、児童福祉施設等と連携して、迅速かつ適切な相談援助活動を展開し、管内児童の福祉の充実に努める。

また、要保護女性の転落の未然防止と保護更生及び暴力被害女性の保護、支援を円滑に推進するため、関係機関と密接な連携して迅速かつ適切な相談や自立に向けた支援を行い、地域の中で健康で安心して生活できる環境づくりの推進に努める。

ア 要保護児童等に対する相談援助活動の強化

- ・被虐待児童の早期発見及び早期対応の推進
- ・要保護児童等に対する心理治療の充実
- ・要保護児童等の処遇に関する研修及び研究
- ・関係機関との連携強化及び役割の明確化

イ 市町村に対する支援の充実

- ・市町村における児童家庭相談への支援の充実

ウ 一時保護児童の処遇の向上

- ・一時保護児童の学習指導の強化

エ 職員研修の充実

- ・職場研修の充実
- ・中央研修を含む各種研修会への積極的な派遣・自己研鑽

オ 債権の適正管理

- ・民生負担金（児童措置費）の収入未済の解消促進
- ・滞納整理の組織的対応
- ・催告の迅速化

カ 要保護女性等やDV被害者等に対する支援の充実

- ・要保護女性の早期発見及び転落の未然防止のための支援の充実
- ・DV被害者等の保護及び自立に向けた支援の充実

5 令和3年度行事予定表

月	行 事 名	所管総室名
4月	<ul style="list-style-type: none"> ・未成年者飲酒防止強調月間（1～30日） ・児童福祉週間関連行事（17～5月11日 青森福祉庁舎） ・東津軽郡民生委員・児童委員連絡協議会第1回理事会（23日 県庁） ・生活衛生・食品衛生関係機関会議（26日） ・食品表示適正化業務担当者研修会（28日） ・市町村健康福祉関係主管課長会議（中止） 	保健総室 こども女性相談総室 福祉総室 保健総室 保健総室 各総室
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・健康福祉部出先機関長会議（中止） ・管内食生活改善推進員連絡協議会総会・研修会（中止） ・東津軽郡民生委員・児童委員連絡協議会第1回理事会（書面開催） ・東津軽郡民生委員・児童委員連絡協議会総会（中止） ・東青里親会役員会・総会（中止） ・世界禁煙デー（31日） 	各総室 保健総室 福祉総室 福祉総室 こども女性相談総室 保健総室
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・禁煙週間（5月31日～6月6日） ・不正大麻けし撲滅運動（6月～9月） ・HIV検査普及週間（1～7日） ・食育月間（1～30日） ・歯と口の健康週間（4～10日） ・ハンセン病を正しく理解する週間（17～23日） ・親と子のよい歯のコンクール（中止） ・青森県立保健大学栄養学科学生実習（中止） ・青森県立保健大学看護学生実習（中止） ・東青地域生活支援広域調整会議（中止） ・児童扶養手当・特別児童扶養手当支給事務市町村担当者会議（WEB開催） 	保健総室 保健総室 保健総室 保健総室 保健総室 保健総室 保健総室 保健総室 保健総室 福祉総室
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・食品、添加物等の夏期一斉取締り（1～31日） ・第1回児童相談所長会議（2日） ・東北公衆衛生学会（23日 秋田県オンライン） ・青森中央学院大学看護学生実習（中止） ・赤十字奉仕団委員長及び町村分区担当者会議（中止） ・東北女子大学栄養学科学生実習（中止） ・食品衛生月間街頭キャンペーン（中止） 	保健総室 こども女性相談総室 保健総室 保健総室 福祉総室 保健総室 保健総室
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・食品衛生月間（1～31日） ・新任保健師研修（24日 東地方保健所） ・全国児童相談所長会議・全国児童相談所長会総会（中止） ・食品衛生月間街頭キャンペーン（中止） ・東地方保健協力員連絡会研修会（中止） ・東北ブロック児童相談所児童心理司研究協議会（中止） 	保健総室 保健総室 保健総室 こども女性相談総室 保健総室 保健総室 こども女性相談総室

月	行 事 名	所管総室名
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・食生活改善普及運動月間（1～30日） ・健康増進普及月間（1～30日） ・WHO世界自殺予防デー（10日） ・献血感謝の集い（16日） ・結核予防週間（24～30日） ・新任保健師研修（24日 東地方保健所） ・第1回地方福祉事務所長会議（書面開催） ・第65回青森県母子寡婦福祉大会及び東青地区母子寡婦福祉学習・交流会（中止） 	保健総室 保健総室 保健総室 保健総室 保健総室 保健総室 福祉総室 福祉総室
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・新任保健師研修（5日 東地方保健所） ・全国母子・父子自立支援員研修会・養育費相談支援に関する全国研修会（期日未定） ・東北・北海道ブロック母子父子寡婦福祉事務担当者会議及び母子・父子自立支援員連絡会議並びに母子家庭等就業・自立センター職員セミナー（21日 WEB開催） ・赤十字奉仕団活動研究会（中止） ・赤十字奉仕団委員長及び事務担当者会議（7日 WEB開催） ・難病医療相談（期日未定） ・青森県災害対策本部健康福祉部図上訓練（中止 東地方保健所管内） 	保健総室 福祉総室 福祉総室 福祉総室 福祉総室 福祉総室 保健総室 保健総室
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・SIDS（乳幼児突然死症候群）対策強化月間（1～30日） ・歯と口の健康づくり月間（1～30日） ・妊産婦メンタルヘルス対策多分野合同研修会（期日未定） ・高齢者認知症支援研修会（期日未定） ・東北・北海道地区児童相談所業務研究協議会（中止） ・東北・北海道ブロック児童相談所長会議（中止） 	保健総室 保健総室 保健総室 保健総室 こども女性相談総室 こども女性相談総室
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・世界エイズデー（1日） ・食品、添加物等の年末一斉取締り（1～28日） ・配偶者暴力相談支援センター実務者等連絡協議会（7日） ・日本公衆衛生学会総会（21～23日 東京都） ・東津軽郡民生委員・児童委員連絡協議会第2回理事会（期日未定） 	保健総室 保健総室 こども女性相談総室 保健総室 福祉総室
1月	<ul style="list-style-type: none"> ・生活保護法施行事務監査（18～20日） ・地域保健関係者研修（27日 WEB） ・給食施設栄養管理指導事業研修会（期日未定） 	福祉総室 保健総室 保健総室
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・新任保健師研修（9日） ・青森ブロック精神科救急医療システム連絡調整委員会（期日未定） ・青森地域保健医療推進協議会（期日未定） ・青森地域災害医療対策協議会（期日未定） ・第2回地方福祉事務所長会議（書面開催） 	保健総室 保健総室 保健総室 保健総室 福祉総室
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・女性の健康週間（1～8日） ・第2回児童相談所長会議（4日） ・世界結核デー（24日） 	保健総室 こども女性相談総室 保健総室

6 令和3年度相談等日程表

保健総室（東地方保健所）

相談内容	相談実施日	担当医等
エイズ相談	原則として奇数月第3月曜日	医師（保健総室長）
女性健康相談	随時	健康増進課保健師等
骨髄バンク登録相談	随時	指導予防課担当者
精神保健福祉相談	奇数月	精神科医 (県立精神保健福祉センター所長)

※ エイズ電話相談（専用電話 017-739-5425）

第2 各室の事業概要 (令和2年度事業実績)

保 健 総 室

(東地方保健所)

I 指導予防課関係業務

1 東青地域県民局地域健康福祉部の歳入・歳出(令和2年度)

(1) 歳入

ア 一般会計

(調定分)

(単位：円)

科 目	2年度収入済額 A	元年度収入済額 B	差引額 A-B
民生負担金	2,162,110	3,364,507	△1,202,397
児童福祉費	1,645,810	2,651,107	△1,005,297
里親・母子生活支援施設・児童養護施設措置費	1,147,510	1,674,300	△526,790
乳児院・助産施設措置費	75,500	343,400	△267,900
子ども自立センターみらい費	74,800	285,407	△210,607
情緒障害児短期治療施設等措置費	0	0	0
知的障害児等措置費	0	0	0
児童心理治療施設等措置費	348,000	348,000	0
過年度収入	516,300	713,400	△197,100
知事部局	516,300	713,400	△197,100
環境保健負担金	0	0	0
健康推進費	0	0	0
未熟児等医療給付費	0	0	0
過年度収入	0	0	0
知事部局	0	0	0
環境保健使用料	3,000	3,000	0
土地建物等	3,000	3,000	0
保健所	3,000	3,000	0
雑入	6,891,864	4,010,713	2,881,151
総務費	7,238	7,412	△174
情報公開	7,238	0	7,238
個人情報保護	0	7,412	△7,412
民生費	5,363,652	2,727,331	2,636,321
生活保護費	1,180,176	2,079,569	△899,393
児童扶養手当返納金	3,754,940	218,090	3,536,850
一時保護所給食	428,536	429,672	△1,136
雑入	240	320	△80
知事部局	240	320	△80
過年度収入	1,520,734	1,275,650	245,084
知事部局	1,520,734	1,275,650	245,084
延滞金	72,860	40,590	32,270
延滞金	72,860	27,100	45,760
健康福祉政策課	40	3,340	△3,300
こどもみらい課	72,820	23,760	49,060
過年度収入	0	13,490	△13,490
知事部局	0	13,490	△13,490
財産貸付収入	735,274	857,831	△122,557
土地建物等	735,274	857,831	△122,557
健康福祉政策課	735,274	857,831	△122,557
合 計	9,865,108	8,276,641	1,588,467

(証紙収入)

(単位：円)

科 目	2年度 A		元年度 B		差引額 A-B	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
総務手数料	5	3,750	5	3,750	0	0
証明	5	3,750	5	3,750	0	0
総務学事課	5	3,750	5	3,750	0	0
環境保健手数料	550	4,120,100	682	5,175,800	△132	△1,055,700
健康推進費	0	0	0	0	0	0
受胎調節認定	0	0	0	0	0	0
予防検査	0	0	0	0	0	0
自然保護費	0	0	0	0	0	0
温泉	0	0	0	0	0	0
医薬費	460	2,650,400	578	3,561,500	△118	△911,100
医療施設等許可	10	430,000	17	731,000	△7	△301,000
麻薬免許	356	1,415,000	431	1,719,800	△75	△304,800
医薬品医療機器等	94	805,400	130	1,110,700	△36	△305,300
生活衛生費	90	1,469,700	104	1,614,300	△14	△144,600
食品関係営業許可	76	998,700	89	1,101,300	△13	△102,600
興行場営業許可	0	0	0	0	0	0
公衆浴場営業許可	0	0	0	0	0	0
旅館営業許可	0	0	1	22,000	△1	△22,000
理容所等開設検査	1	16,000	1	16,000	0	0
化製場設置許可	0	0	0	0	0	0
建築物衛生管理業者登録	13	455,000	13	475,000	0	△20,000
計	555	4,123,850	687	5,179,550	△132	△1,055,700
一般会計収入額計		13,988,958		13,456,191		532,767

イ 特別会計 (収入済分)

単位：円

科 目	2年度 A	元年度 B	差引額 A-B
母子福祉資金貸付金収入	11,780,790	10,560,679	1,220,111
現年度収入	11,172,605	10,012,765	1,159,840
元 金	11,168,019	10,007,425	1,160,594
利 子	4,586	5,340	△754
過年度収入	608,185	547,914	60,271
元 金	608,185	547,914	60,271
利 子	0	0	0
寡婦福祉資金貸付金収入	332,340	332,340	0
現年度収入	332,340	332,340	0
元 金	332,340	332,340	0
利 子	0	0	0
過年度収入	0	0	0
元 金	0	0	0
利 子	0	0	0
父子福祉資金貸付金収入	388,158	44,052	344,106
現年度収入	388,158	44,052	344,106
元 金	388,158	44,052	344,106
利 子	0	0	0
過年度収入	0	0	0
元 金	0	0	0
利 子	0	0	0
雑 入	0	0	0
現年度収入	0	0	0
過年度収入	0	0	0
計	12,501,288	10,937,071	1,564,217

(2) 歳出 (一般会計、特別会計)

(単位：円)

項目	2年度支出額 A	元年度支出額 B	差引額 A-B
総務費	833,660	239,000	594,660
総務管理費	395,670	0	395,670
人事管理費	0	0	0
財産管理費	395,670	0	395,670
企画費	437,990	239,000	198,990
企画総務費	437,990	239,000	198,990
民生費	1,758,528,824	2,191,728,063	△433,199,239
社会福祉費	165,032,535	160,658,946	4,373,589
社会福祉総務費	833,290	838,908	△5,618
福祉事務所費	2,525,374	2,596,562	△71,188
老人福祉費	488,132	544,611	△56,479
婦人福祉費	762,085	915,328	△153,243
障害者福祉費	157,052,885	155,763,537	1,289,348
女性相談所費	3,300,569	0	3,300,569
地域福祉費	70,200	0	70,200
児童福祉費	1,395,375,276	1,817,240,712	△421,865,436
児童福祉総務費	6,829,837	664,030	6,165,807
児童措置費	33,753,971	30,350,707	3,403,264
児童相談所費	23,450,644	15,052,574	8,398,070
ひとり親家庭等福祉費	1,331,335,824	1,771,173,401	△439,837,577
障害児福祉費	5,000	0	5,000
生活保護費	197,371,358	213,722,440	△16,351,082
生活保護総務費	1,782,753	2,026,852	△244,099
扶助費	195,588,605	211,695,588	△16,106,983
災害救助費	749,655	105,965	643,690
救助費	749,655	105,965	643,690
環境保健費	33,362,416	36,555,954	△3,193,538
公衆衛生費	8,460,470	9,358,323	△897,853
結核対策費	3,571,088	4,128,124	△557,036
予防費	2,664,833	2,115,373	549,460
生活習慣病対策費	1,587,711	2,296,348	△708,637
母子保健対策費	60,000	129,103	△69,103
精神保健福祉費	576,838	689,375	△112,537
環境衛生費	8,636,556	11,575,379	△2,938,823
食品衛生費	8,145,055	11,087,927	△2,942,872
生活衛生総務費	401,447	398,416	3,031
生活衛生指導費	90,054	89,036	1,018
保健所費	15,426,379	14,507,008	919,371
保健所費	15,426,379	14,507,008	919,371
医薬費	788,011	1,071,774	△283,763
医務費	66,955	316,826	△249,871
薬務費	243,082	270,705	△27,623
企画調整費	477,974	484,243	△6,269
自然保護費	51,000	43,470	7,530
自然保護総務費	51,000	43,470	7,530
農林水産業費	297,491	38,578	258,913
農業費	297,491	38,578	258,913
総合販売戦略費	33,039	2,407	30,632
食の安全・安心推進費	264,452	36,171	228,281
商工費	214,894	33,764	181,130
商工費	214,894	33,764	181,130
商工総務費	214,894	33,764	181,130
一般会計合計(A)	1,793,237,285	2,228,595,359	△435,358,074
母子寡婦福祉資金特別会計(B)	24,496,700	18,265,954	6,230,746
指導調査費	153,300	81,954	71,346
母子福祉資金貸付費	20,577,400	17,006,000	3,571,400
寡婦福祉資金貸付費	0	0	0
父子福祉資金貸付費	3,766,000	1,178,000	2,588,000
部総計(A+B)	1,817,733,985	2,246,861,313	△429,127,328

※ 統合庶務システムに係るものを除く。

2 保健統計調査

(1) 月報

ア 人口動態調査

出生、死亡、婚姻、離婚、死産について審査・報告を行った。

(以下は「令和元年青森県保健統計年報」に基づき、管内4町村分について記載。)

① 出生

令和元年の出生は72人、出生率(人口千対)は3.5で、前年の3.8を0.3ポイント下回り、県全体5.8を2.3ポイント下回った。

② 死亡

令和元年の死亡は464人、死亡率(人口千対)は22.2で、前年の19.7を2.5ポイント上回り、県全体14.9を7.3ポイント上回った。

死亡者数を死因別でみると、多い順に、悪性新生物が115人、老衰が81人、心疾患が80人となっている。

③ 乳児死亡

令和元年の乳児死亡は1人、乳児死亡率(出生千対)は13.9で、県全体3.2を10.7ポイント上回った。なお、前年、前々年は管内においては0人であった。

④ 死産

令和元年の死産は0人で、県全体の死産率(出産千対)は22.9であった。なお、前年の管内の死産率は12.0であった。

⑤ 周産期死亡

令和元年の周産期死亡は1人、周産期死亡率(出産(出生+妊娠満22週以後の死産)千対)は13.9で、県全体5.0を8.9ポイント上回った。なお、管内においては平成27年以降0人であった。

⑥ 婚姻及び離婚

令和元年の婚姻は43件、婚姻率(人口千対)は2.1で、前年の3.2を1.1ポイント下回り、県全体3.7を1.6ポイント下回った。

また、令和元年の離婚は28件、離婚率(人口千対)は1.34で、前年の1.17を0.17ポイント上回り、県全体1.62を0.28ポイント下回った。

イ 病院報告

管内町村の2病院における患者の利用状況について調査を行った。

ウ 医療施設動態調査

医療法の規定に基づき、開設、廃止、変更等の届出の受理または処分を行った医療施設について調査を行った。

(2) 年報・年度報

ア 衛生行政報告例

給食施設、食品衛生、薬局、不妊手術、人工妊娠中絶等

イ 地域保健・健康増進事業報告

4町村及び保健所

(3) その他の調査

ア 医療施設静態調査(3年ごとに実施)

病院(2施設)、診療所(18施設)、歯科診療所(6施設)

イ 患者調査、受療行動調査(3年ごとに実施)

4施設が患者調査の対象となり、うち1施設が受療行動調査の対象となった。

ウ 医師、歯科医師、薬剤師統計(業務統計。2年ごとに実施)

医師、歯科医師、薬剤師届出票の配付、受付及び取りまとめを行った。

3 医療薬務

(1) 医療施設等の状況

ア 医療施設等数

令和3年3月31日現在

区 分	総 数	青森市	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町
病 院	21	19	1	0	0	1
病 床 数	4,457	4,317	96	0	0	44
一般	2,587	2,495	48	0	0	44
精神	1,164	1,164	0	0	0	0
結核	33	33	0	0	0	0
感染症	5	5	0	0	0	0
療養	668	620	48	0	0	0
診 療 所	18	(中核市移行) 青森市除く	6	3	2	7
	(0)		(0)	(0)	(0)	(0)
無床	17		6	2	2	7
有床	1		0	1	0	0
病床数	19		0	19	0	0
	(0)		(0)	(0)	(0)	(0)
歯科診療所	6		3	1	1	1
助産所	0		0	0	0	0
施術所	4		0	2	1	1
歯科技工所	1		0	1	0	0
衛生検査所	0	0	0	0	0	
老人保健施設	1	0	0	0	1	

- 注) 1. 診療所の「病床数」欄の()内は療養病床を再掲
 2. 「診療所」欄の()内は療養病床を有する診療所を再掲
 3. 単位：施設(床)

イ 医療従事者数

平成28年末現在

区 分	総 数	青森市	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町
医 師	686	668	7	2	1	8
歯科医師	195	189	2	3	0	1
薬 剤 師	694	673	12	1	0	8
保 健 師	139	113	8	3	6	9
助 産 師	78	78	0	0	0	0
看 護 師	3,074	2,965	60	8	5	36
准看護師	1,210	1,152	23	8	7	20

注) 単位：人

(2) 医療監視の状況

※令和2年度対象施設は令和3年3月31日現在のものである。

年度	2		元		30	
区分	対象施設数	実施数	対象施設数	実施数	対象施設数	実施数
		実施率 (%)		実施率 (%)		実施率 (%)
病院	2	0	2	2	2	2
		0.0		100.0		100.0
一般診療所	18	0	18	7	18	6
		0.0		38.8		33.3
歯科診療所	6	2	6	2	6	3
		33.3		33.3		50.0

(3) 医薬品販売業者等数

令和3年3月31日現在

区分		総数	青森市	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	
製造業	医薬品	1	1	0	0	0	0	
	医療機器	0	0	0	0	0	0	
	薬局製剤	0		0	0	0	0	
薬局		9		3	2	0	4	
医薬品販売業	一般(みなし店舗)	0		0	0	0	0	
	卸売	57	57	0	0	0	0	
	店舗販売業	7		2	2	0	3	
	薬種商(みなし店舗)	0	0	0	0	0	0	
	配置	6	5	1	0	0	0	
	特例	一般	0		0	0	0	0
		歯科	0		0	0	0	0
ガス		0		0	0	0	0	
綿		0		0	0	0	0	
医療機器	輸入販売業	0	0	0	0	0	0	
	修理業	37	37	0	0	0	0	
	販売業	高度管理	2		1	0	0	1
			33		12	5	5	11
	賃貸業	高度管理	0		0	0	0	0
			0		0	0	0	0
販・賃	高度管理	0		0	0	0	0	
		2		2	0	0	0	
毒物劇物	販売業	一般	5		1	2	0	2
		農薬用品目	3		1	1	1	0
		特定品目	0		0	0	0	0
	業務上取扱者	0	0	0	0	0	0	
	特定毒物研究者	5	5	0	0	0	0	
特定毒物使用者	1	1	0	0	0	0		
麻薬卸売業		6	6	0	0	0	0	
麻薬小売業		147	141	3	0	0	3	

注) 単位：施設

(4) 薬事監視の状況

年 度		2		元		30		
区 分		対象 施設数	実施数	対象 施設数	実施数	対象 施設数	実施数	
			実施率 (%)		実施率 (%)		実施率 (%)	
製造業	医薬品	1	1	1	0	1	0	
			100.0		0.0		0.0	
	医療機器	0	0	0	0	0	0	
	薬局製剤	0	0	0	0	0	0	
薬 局		9	2	9	7	9	6	
			22.8		77.8		66.7	
医薬品 販売業	一般(みなし店舗)	0	0	0	0	0	0	
			0.0		0.0		0.0	
	卸売	57	10	17.5	59	30	63	30
						50.8		47.6
	店舗	7	0	0.0	7	3	7	3
						42.9		42.9
	薬種商(みなし店舗)	0	0	0.0	0	0	1	0
						0.0		0.0
	配置	6	0	0.0	6	0	7	1
						0.0		14.3
	特例 ※	一般	0	0	0	0	0	0
				0.0		0.0		0.0
歯科		0	0	0.0	0	0	0	0
						0.0		0.0
ガス	0	0	0.0	0	0	0	0	
					0.0		0.0	
綿	0	0	0.0	0	0	0	0	
					0.0		0.0	
医療機器	輸入販売業		0	0	0	0	0	
			0.0		0.0		0.0	
	修理業		37	11	37	15	38	8
				29.7		40.5		21.1
	販売業	高度	2	0	2	2	2	0
				0.0		100.0		0.0
	管理	33	0	33	6	37	23	62.2
				0.0		18.2		
	賃貸業	高度	0	0	0	0	0	0
				0.0		0.0		0.0
管理	0	0	0	0	0	0	0	
			0.0		0.0		0.0	
販売業・ 賃貸業	高度	0	0	0	0	0	0	
			0.0		0.0		0.0	
管理	2	0	2	0	2	0	0	
			0.0		0.0		0.0	
毒物劇物	一般	5	0	5	1	5	2	
			0.0		20.0		40.0	
	農業用	3	3	3	1	5	4	
			100.0		33.3		80.0	
	特定	0	0	0.0	0	0	0	0
						0.0		0.0
	業務上取扱者		0	0	0	0	0	0
			0.0		0.0		0.0	
特定毒物研究者		5	0	5	3	5	1	
			0.0		60.0		20.0	
特定毒物使用者		1	0	1	0	1	0	
			0.0		0.0		0.0	
麻薬取扱施設 ※		299	80	301	126	299	142	
			26.7		41.8		47.4	

注) 単位：施設

※麻薬取扱施設は、動物診療施設及び麻薬研究者等を含む。

(5) 野生大麻、けしの除去状況

ア 野生大麻除去本数 (延べ数)

令和3年3月31日現在

年度 区分	2	元(31)	30
管内 (本/カ所)	17 / 2	3 / 1	0 / 0
県 (本/カ所)	50,173 / 94	60,450 / 88	43,041 / 80

イ けし除去本数 (延べ数)

年度 区分	2	元(31)	30
管内 (本/カ所)	193 / 6	60 / 2	192 / 3
県 (本/カ所)	9,401 / 101	4,927 / 72	3,487 / 57

(6) 薬物乱用防止のための普及啓発活動状況

ア 文化祭等における薬物乱用防止コーナーの設置

No.	実施年月日	実施学校等	内 容
		な し	

イ 薬物乱用防止講演会の実施

No.	実施年月日	実施学校等	参加人数	対 象	講 師
1	R2.5.12	青森県立青森北高等学校 今別校舎	22	高校生 教職員	主査 長尾 一江
2	R2.7.20	外ヶ浜町立蟹田中学校	73	中学生 教職員	主査 長尾 一江
3	R2.10.1	平内町立小湊中学校	137	中学生 教職員	主査 長尾 一江
4	R2.10.7	浪岡地区保護司会第2地区 区別定例研修会	8	保護司	技師 村井 収平

(7) 献血状況

献血の推進のため、管内市町村、関係機関等の協力を得て、地域住民に献血思想の普及啓発を図ることにより、献血者の確保に努めている。

管内における移動献血バスによる献血実績は4,270人となっており、達成率は71.7%となっている。(平成21年度から成分献血バスは、廃止となった。)

市町村	令和2年度目標 (リットル)	令和2年度実績					令和2年度 達成率
		200ml (人)	400ml (人)	確保量 (リットル)	1台平均 (人)	400ml比 (%)	
青森市	2,209.8	236	3,801	1,567.6	31.5	94.2	70.9%
平内町	52.2	10	111	46.4	40.3	91.7	88.9%
外ヶ浜町	17.4	0	34	13.6	34.0	100.0	78.2%
今別町	17.4	0	41	16.4	41.0	100.0	94.3%
蓬田村	17.4	0	37	14.8	37.0	100.0	85.1%
管内(計)	2,314.2	246	4,024	1,658.8	36.3	93.4	71.7%
県(計)	10,353.0	943	24,238	9,883.8	38.9	96.3	95.5%

4 会議・研修

(1) 青森地域保健医療推進協議会・部会

青森県保健医療計画に基づく地域における保健医療活動を効果的に推進するため、二次保健医療圏ごとに設置している。同協議会は、同計画に反映させるべき地域の課題や取組及び地域における計画の推進に関して協議する。また、同協議会は、専門の事項を調査協議するため必要がある場合は部会を置くことができ、青森地域においては、医療対策部会及び保健対策部会を設置している。

開催日時	委員・部会員	出席者数	検討事項
令和3年2月26日(金)	協議会委員 18名 医療対策部会員 16名 保健対策部会員 18名	(書面開催)	議題 健康青森地域21(第二次計画)の 進捗状況について

(2) 青森地域災害医療対策協議会

東日本大震災の発生を踏まえ、青森県では、災害現場に最も近い保健医療行政機関である保健所において、関係機関が連携し、自律的に集合した医療チームの配置調整や情報提供を行うなど地域医療を確保するため、二次保健医療圏ごとに、平時から、保健所、市町村等の行政担当者と地域の医師会や災害拠点病院等の医療関係者、災害医療コーディネーター等が定期的に情報交換する場を設置している。

開催日時	委員	出席者数	検討事項
令和3年2月1日(月)	協議会委員 33名	(書面開催) ・協議会委員 33名 (医療関係団体 5名 医療機関 12名 消防 1名 警察 3名 市町村 11名 保健所委員 1名)	1 組織会 2 報告事項 (1) 青森県の災害医療対策の状況について (2) 東青圏域実務研修及び災害対応職員研修について (3) EMIS 入力困難時における被災状況確認票の改定について

(3) 医師臨床研修における地域保健研修

平成16年度から、診療に従事しようとする医師が、免許取得後に2年間の臨床研修を受けることが義務付けられ、その必修科目の一つとして「地域保健・医療」が規定され、保健所や診療所等の役割を理解するための研修が位置付けられたことに伴い、当所は協力施設として平成17年度から県立中央病院及び青森市民病院で臨床研修を行う研修医に対して地域保健研修を実施してきた。

その後、平成21年の関係省令改正により、「地域保健」が選択科目に変更となり、また、平成21年度以降は、青森市民病院の研修医については青森市保健所が実施し、県立中央病院の研修医については希望者のみ当所で実施することとなった。

なお、平成21年度以降、県立中央病院における希望者がいないことから、当所においては「地域保健」の研修を実施しておらず、令和2年度も同様であった。

II 生活衛生課関係業務

1 食品衛生

食中毒の未然防止及び食品の安全確保のため、令和2年度青森県食品衛生監視指導計画に基づき、施設の監視指導を実施するとともに、食品衛生に関する講習会を実施して、食品衛生の向上及び食品衛生知識の普及啓発に努めた。

(1) 営業許可を必要とする業種・施設・許可・監視等の状況

食品衛生法に基づく営業許可に係る業務を行うとともに、食品に起因する事故発生を未然に防止するため、営業施設に対して施設基準及び管理運営基準に基づいた監視指導を行い、食品衛生の確保に努めた。

ア 営業許可施設数及び行政処分件数等

(単位：施設、件)

業 種	営業施設数	許可件数		廃業施設数	監視指導件数	処分等件数						注意又は勧告		
		新規	継続			許可取消	営業禁止	営業停止	改善命令	物品廃棄	顛末書等	文書	口頭	
飲食店営業	食堂・レストラン	77	1	6	3	40	0	0	0	0	0	0	0	0
	仕出し・弁当	19	0	4	0	22	0	0	0	0	0	0	0	0
	旅館	14	1	2	1	10	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他	103	3	9	9	76	0	0	0	0	0	0	0	0
	臨時	81	4	5	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0
菓子製造業	38	1	8	3	41	0	0	0	0	0	0	0	0	
魚介類販売業	74	3	5	7	67	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時魚介類販売業	6	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
魚介類せり売り営業	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
食品の冷凍又は冷蔵業	11	1	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	
缶詰又は瓶詰食品製造業	5	0	0	3	5	0	0	0	0	0	0	0	0	
喫茶店営業	8	0	0	1	6	0	0	0	0	0	0	0	0	
あん類製造業	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
アイスクリーム類製造業	7	0	0	2	17	0	0	0	0	0	0	0	0	
乳類販売業	71	2	6	7	62	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時乳類販売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
食肉販売業	52	3	3	6	51	0	0	0	0	0	0	0	0	
臨時食肉販売業	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
食肉製品製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
みそ製造業	4	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
醬油製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
ソース類製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
酒類製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
豆腐製造業	1	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	
納豆製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
めん類製造業	4	0	0	0	5	0	0	0	0	0	0	0	0	
そうざい製造業	29	0	4	4	34	0	0	0	0	0	0	0	0	
添加物製造業	1	1	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
清涼飲料水製造業	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
氷雪製造業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
氷雪販売業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
令和2年度合計	610	21	55	59	456	0	0	0	0	0	0	0	0	
平成31年度合計	648	21	68	34	379	0	0	0	0	0	1	0	0	
平成30年度合計	661	39	53	63	313	0	0	0	0	0	0	0	0	

イ 町村別営業施設数

(単位：施設)

業 種	町 村	平	今	蓬	外	県内一円 (青森市、八戸市 を除く)
		内 町	別 町	田 村	ヶ 浜 町	
飲食店営業	食堂・レストラン	30	17	5	25	0
	仕出し・弁当	8	2	1	8	0
	旅 館	0	6	0	8	0
	そ の 他	45	14	11	27	6
	臨 時	0	0	0	0	81
菓 子 製 造 業		15	4	5	13	1
魚 介 類 販 売 業		20	8	8	24	14
臨時魚介類販売業		0	0	0	0	6
魚介類せり売り営業		1	0	0	0	0
食品の冷凍又は冷蔵業		8	0	0	3	0
缶詰又は瓶詰食品製造業		2	2	0	1	0
喫 茶 店 営 業		4	0	0	3	1
あ ん 類 製 造 業		1	0	0	0	0
アイスクリーム類製造業		2	2	3	0	0
乳 類 販 売 業		19	6	7	22	17
臨時乳類販売業		0	0	0	0	0
食 肉 販 売 業		11	9	6	9	17
臨時食肉販売業		0	0	0	0	2
食肉製品製造業		0	0	0	0	0
み そ 製 造 業		1	0	1	2	0
醬 油 製 造 業		0	0	0	0	0
ソ ー ス 類 製 造 業		0	0	0	0	0
酒 類 製 造 業		0	0	0	0	0
豆 腐 製 造 業		0	0	0	1	0
納 豆 製 造 業		0	0	0	0	0
め ん 類 製 造 業		1	1	1	1	0
そ う ざ い 製 造 業		15	2	1	11	0
添 加 物 製 造 業		1	0	0	0	0
清涼飲料水製造業		1	0	0	0	0
氷 雪 製 造 業		0	0	0	0	0
氷 雪 販 売 業		0	0	0	0	0
令和 2 年 度 合 計		185	73	49	158	145
平成 31 年 度 合 計		188	89	51	164	156
平成 30 年 度 合 計		194	90	52	164	161

(2) 営業許可を要しない業種・施設・監視等の状況

営業許可を要しない食品関係施設に対して営業許可施設に準じた監視指導を行った。

特に、学校給食施設及び老人福祉施設、保育所等の社会福祉施設における給食施設に対しては、「大量調理施設衛生管理マニュアル」に基づき監視指導を実施した。

(単位：施設、件)

業 種 別		施 設 数	監 視 指 導 件 数	処 分 件 数				注 意 又 は 勧 告	
				営 業 禁 止 命 令	営 業 停 止 命 令	物 品 廃 棄 命 令	顛 末 書 等	文 書	口 頭
給食施設	学 校	3	3	0	0	0	0	0	0
	病 院 ・ 診 療 所	2	0	0	0	0	0	0	0
	事 業 所	1	0	0	0	0	0	0	0
	そ の 他	24	11	0	0	0	0	0	0
乳 さ く 取 業		0	0	0	0	0	0	0	0
食 品 製 造 業		20	14	0	0	0	0	0	0
野 菜 果 物 販 売 業		30	47	0	0	0	0	0	0
そ う ざ い 販 売 業		30	44	0	0	0	0	0	0
菓 子 (パンを含む) 販 売 業		30	62	0	0	0	0	0	0
食 品 販 売 業 (上 記 以 外)		50	66	0	0	0	0	0	0
添 加 物 (法 第 11 条 第 1 項 の 規 定 に よ り 規 格 が 定 め ら れ た も の を 除 く。) の 製 造 業		0	0	0	0	0	0	0	0
添 加 物 の 販 売 業		10	10	0	0	0	0	0	0
氷 雪 採 取 業		0	0	0	0	0	0	0	0
器 具 ・ 容 器、お も ち や の 製 造 業 又 は 販 売 業		30	8	0	0	0	0	0	0
計		230	265	0	0	0	0	0	0

(3) 食品の収去検査実施状況

食品による危害の発生等を防止するため、食品衛生法に基づいて製造、販売されている食品を収去し、細菌学検査及び理化学検査等を実施した。

検査 年度		収去検 体数 (実数)		細菌学検査				理化学検査				放射性物 質検査		その他の 検査		
				良		不良		良		不良		良	不良	良	不良	
		検体名	R2	31	R2	31	R2	31	R2	31	R2	31	R2	R2	R2	R2
魚 介 類		2	5	2	1	0	0	6	6	0	0	0	0	0	0	0
冷 凍 食 品		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
魚 介 類 加 工 品 (かん詰・びん詰を除く)		1	3	0	0	0	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0
肉卵類及びその加工品 (かん詰・びん詰を除く)		3	3	1	1	0	0	3	3	0	0	0	0	0	0	0
乳 製 品		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
乳類加工品 (アイスクリーム 類を除きマーガリンを含む)		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
アイスクリーム類・氷菓		1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
穀類及びその加工品 (かん詰・びん詰を除く)		4	3	2	2	0	0	2	1	0	0	0	0	0	0	0
野菜類・果物及びその加工品 (かん詰・びん詰を除く)		3	4	2	3	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
菓 子 類		5	6	0	1	0	1	5	5	0	0	0	0	0	0	0
清 涼 飲 料 水		0	2	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0
酒 精 飲 料		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
氷 雪		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
かん詰・びん詰食品		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
そ の 他 食 品		5	8	4	7	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0
添 加 物	化学合成品及び製剤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	その他の添加物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
器具及び容器・包装		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
お も ち や		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計		24	35	12	17	0	1	13	21	0	0	0	0	0	0	0

(4) 不良食品等の発見及び措置状況

不適正な表示、異物混入等の不良食品については、製造者に対して適切な行政措置を講じ、発生防止に努めることとしている。

(単位：件)

食品名	区分	不良食品発生件数	消費者の届出	保健所で発見	発見場所		不良理由						行政措置の状況					
					県内	県外	表示違反	規格基準		カビ・異物混入	変敗・その他	回収・返品・廃棄	営業停止	設備改善	顛末書等	口頭指導	他の保健所に移送	その他
								細菌	化学									
食 品	菓子類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	乳及び乳製品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	食肉及び食肉製品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	魚介類及びその加工品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	冷凍食品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	清涼飲料水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	めん類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	そうざい及びその半製品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	漬物	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	アイスクリーム類	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	果実及び野菜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他の食品	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	食品添加物及びその製剤		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
器具及び容器包装		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
令和2年度合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
平成31年度合計		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
平成30年度合計		9	4	5	9	0	8	0	0	1	1	0	0	0	5	0	3	

(5) 行政処分等の状況

不良食品等の食品衛生法違反事例は、0件であった。

(単位：件)

区分 年度	違反 件 数	違反内容					違反条項								行政処分内容				その他 顛末書等 発	
		異 物	法定外 添加物	規格 基準	表 示	そ の 他	法 6 条	法 7 条	法 8 条	法 9 条	法 10 条	法 11 条	法 19 条	法 52 条	禁 止	停 止	廃 棄	整 備 改 善		
R2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
31	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
30	5	0	0	0	4	1	1	0	0	0	0	0	4	0	0	0	0	0	5	0

(6) 食中毒発生状況

令和2年度の管内における食中毒事件は、0件であった。

(単位：件)

区分 年度	発生年月	発生場所	摂食者数	患者数 (発生件数)	死者数	原因食品	病因物質	原因施設	摂食場所
R2	/	/	/	0 (0件)	/	/	/	/	/
31	/	/	/	0 (0件)	/	/	/	/	/
30	/	/	/	0 (0件)	/	/	/	/	/

(7) 魚介類行商及びアイスクリーム類行商の登録状況

(単位：件、人)

区 分		年 度		
		R2	3 1	3 0
魚介類行商	新 規	0	0	0
	更 新	0	0	0
	実 登 録 数	1	1	1
	従 業 員	0	0	0
アイスクリーム類行商	新 規	0	0	0
	更 新	0	0	0
	実 登 録 数	0	1	1
	従 業 員	0	1	1

(注) 登録の有効期限 3年

(8) 食品衛生関係講習会等の実施状況

食品衛生責任者講習会の他、給食関係者等を対象とした食中毒予防講習会等を実施し、自主衛生管理の普及啓発及び衛生知識の向上を図った。

(単位：回、人)

区 分		年 度		
		R2	3 1	3 0
食品衛生責任者	回 数	4	5	5
	受 講 者 数	2 4 7	3 6 0	3 0 2
その他	回 数	2	1 1	3
	受 講 者 数	1 8	2 0 2	7 1
計	回 数	6	1 6	8
	受 講 者 数	2 6 5	5 6 2	3 7 3

2 化製場等

(1) 化製場の設置状況

獣畜の皮、骨、臓器及び魚介類等を原料として、皮革、にかわ、油脂、飼料等を製造する施設について、管内では該当施設はない。

化製場法第8条で規定される、魚介類又は鳥類の肉、皮、骨、臓器等を原料として、油脂、にかわ、肥料、飼料等を製造する施設について、管内では1施設が許可を受けている。

(2) 死亡獣畜取扱場の設置状況（市町村の許可）

死亡獣畜の解体・焼却・埋却をするために設けられた施設等で、管内では該当施設はない。

3 生活衛生

地域住民の日常生活と密接にかかわっている理容所、美容所、クリーニング所、旅館、公衆浴場について、関係法令及び衛生管理要領等に基づく検査確認、許可事務の他、施設の衛生確保を図るため監視・指導を行った。また、旅館及び公衆浴場の入浴施設については、青森県入浴施設におけるレジオネラ症の発生の予防に関する条例に基づく遵守事項について、監視・指導を行った。

(1) 生活衛生営業施設関係

ア 生活衛生関係営業施設の状況

(単位：施設)

施設区分 年度	理容所	美容所	クリーニング所 (取次所再掲)	旅館				公衆浴場			興行場
				旅館・ホテル	簡易宿所	下宿	計	一般	その他	計	
許可 (確認)	R2	1	0	0(0)	0	0	0	0	0	0	0
	31	1	0	0(0)	0	1	0	1	0	0	0
	30	0	0	0(0)	1	2	0	3	0	0	0
廃止	R2	6	6	0(0)	2	1	0	3	0	0	0
	31	3	2	1(0)	0	2	0	2	0	0	0
	30	2	2	2(0)	3	2	0	5	0	0	0

イ 生活衛生関係営業施設監視・指導の状況

(単位：施設)

施設区分 年度	理容所	美容所	クリーニング所 (取次所再掲)	旅館				公衆浴場			興行場
				旅館・ホテル	簡易宿所	下宿	計	一般	その他	計	
R2	18	26	4(2)	10	9	0	19	9	4	13	0
31	13	7	1(0)	9	12	0	21	10	5	15	0
30	11	15	4(0)	12	15	0	27	8	5	13	0

ウ 生活衛生関係町村別営業施設数

(単位：施設)

施設区分 町村	理 容 所	美 容 所	ク リ ー ニ ン グ 所 (取次所再掲)	旅 館				公衆浴場			興 行 場
				旅 館 ・ ホ テ ル	簡 易 宿 所	下 宿	計	一 般	そ の 他	計	
平内町	14	18	4(2)	2	3	0	5	0	2	2	0
今別町	11	6	0(0)	1	4	0	5	1	0	1	0
蓬田村	4	4	0(0)	0	0	0	0	1	1	2	0
外ヶ浜町	8	17	0(0)	7	6	0	13	3	0	3	0
R2年度 合計	37	45	4(2)	10	13	0	23	5	3	8	0
31年度 合計	42	51	4(2)	12	13	0	25	5	3	8	0
30年度 合計	44	53	5(2)	12	15	0	27	5	3	8	0

4 水道及び飲料水

水道法、青森県小規模水道規制条例及び青森県飲用井戸等衛生対策要領に基づき、水道及び飲用井戸等の衛生確保を図るため立入検査を実施し、施設の適正維持管理の徹底及び水質検査の励行等の指導を行った。

(1) 各種水道施設の状況

(単位：施設)

種別 市町村	上水道	簡易水道	専用水道	小規模水道	飲用井戸		簡易専用水道	小規模貯水槽水道	計
					一般	業務用			
平内町	1	0	1	1	157	11		5	176
今別町	0	1	0	0	22	3	0	1	27
蓬田村	0	1	0	0	0	4		0	5
外ヶ浜町	0	2	0	0	0	1	9	11	23
R2年度合計	1	4	1	1	179	19	9	17	231
31年度合計	1	4	1	1	185	19	10	16	237
30年度合計	1	4	1	1	190	19	9	21	246

※表中斜線部については、事務移譲している。

5 建築物衛生

建築物における衛生的環境の確保に関する法律に基づき、多数の人が利用する特定建築物の立入検査を実施し、建築物の空気環境及び給排水等の衛生管理指導を行った。

また、建築物の清掃及び環境測定を業とする事業者の登録指導を行った。

(1) 特定建築物施設数

(単位：施設)

種別 町村	興行場	百貨店	店 舗	事務所	学 校	旅 館	その他	計
平 内 町	0	0	0	0	0	0	1	1
今 別 町	0	0	0	0	0	0	0	0
蓬 田 村	0	0	0	0	0	0	0	0
外ヶ浜町	0	0	0	1	0	0	0	1
R2 年度合計	0	0	0	1	0	0	1	2
31 年度合計	0	0	0	1	0	0	1	2
30 年度合計	0	0	0	1	0	0	1	2

(2) 建築物衛生に係る登録営業所数

(単位：施設)

種別 年度	清掃業	空気環境 測定業	ダクト 清掃業	飲料水 水質検 査業	飲料水 貯水槽 清掃業	排水管 清掃業	ねずみ 昆虫等 防除業	環境衛 生総合 管理業	計
R2	17	2	0	2	34	11	16	9	91
31	15	2	0	2	34	11	16	9	89
30	15	3	0	2	32	12	15	9	88

6 その他の施設

管内の墓地埋葬法に係る施設の把握や遊泳用プールの監視・指導を行っている。

(単位：施設)

種別 町村	遊泳用プール	火 葬 場	墓地(市町村営)	納 骨 堂
平 内 町	1	1	45 (0)	1
今 別 町	0	1	13 (0)	0
蓬 田 村	0	0	15 (0)	0
外ヶ浜町	0	1	34 (1)	0
R2 年度合計	1	3	107 (1)	1
31 年度合計	1	3	107 (1)	1
30 年度合計	1	3	108 (1)	1

7 温泉

温泉法に基づく温泉掘さく、温泉動力装置の設置、入浴施設等での温泉利用における各種許可申請調査を実施するとともに、温泉利用施設については衛生保持及び温泉成分の定期的な再分析と適正掲示等所要の監視・指導を行った。

また、温泉採取者に対して、可燃性天然ガスの測定等可燃性天然ガスの安全対策について指導した。

(1) 温泉(源泉)数及び許可の状況

市町村	区分	源泉数	掘さく申請 (掘さく許可)	増掘申請 (増掘許可)	動力申請 (動力許可)	利用申請* (利用許可)
	年度					
青森市	R2	180	1(1)	0	2(2)	
	31	179	1(1)	0	1(1)	
	30	177	4(4)	0	1(1)	
平内町	R2	4	0	0	0	0
	31	4	0	0	0	0
	30	4	0	0	0	0
今別町	R2	1	0	0	0	0
	31	1	0	0	0	0
	30	1	0	0	0	0
蓬田村	R2	1	0	0	0	0
	31	1	0	0	0	0
	30	1	0	0	0	0
外ヶ浜町	R2	3	0	0	0	0
	31	3	0	0	0	0
	30	3	0	0	0	0
計	R2	189	1(1)	0	2(2)	0
	31	188	1(1)	0	1(1)	0
	30	186	4(4)	0	1(1)	0

* 青森市内の施設については青森市の所管事務。

(2) 温泉(源泉)及び利用施設の監視指導状況

監視指導件数	区分	合 計	源泉・掘さく・動力 (増 掘)	利用施設
	年度			
	R2	66	25	41
	31	47	20	27
	30	46	19	27

Ⅲ 健康増進課関係業務

1 健康づくり事業

(1) 「健康青森地域21」の推進について

① 東青地域働き盛り世代の健やか力向上事業（重点枠事業）

働き盛り世代にターゲットをあて、職場や個人の健やか力が向上するとともに、がんや生活習慣病の早期発見、早期治療のため、がん検診受診率や特定健診実施率の向上を図るための取組を実施した。

ア 働く職場の健やか力向上推進事業

(ア) 管内事業所を個別訪問

- ・建設業を中心に13カ所実施

(イ) 働き盛り世代個々人の取組促進

- ・関係団体の会合等におけるリーフレット配布やミニ講座（17カ所）

イ 職場の健康づくりトップセミナー

(ア) 事業所トップの方を対象とした講演等の実施

開催日：令和3年3月5日（金）

場 所：アップルパレス

参加者：東青地域の事業所代表者、農協・漁協幹部等34名

内 容：・情報提供「東青地域の健康課題について」

- ・話題提供「私の職場の健康づくり」

株式会社 山正小笠原建設 専務取締役 小笠原若子 氏

平内町漁業協同組合 参事 柴田操 氏

- ・講演「職場内の健康づくりと感染予防のポイント（デスクワーク・来客対応・会議室）」

講師 東青地域県民局地域健康福祉部保健総室長 立花直樹

ウ 普及啓発媒体作成

(ア) 東青地域の平均寿命／働き盛りの健康 Tips 動画4選

(イ) 東青地域市町村がん検診早見表

② 「健康あおもり21」、「健康青森地域21」推進のための普及啓発

事業名	事業の内容		
	開催年月日	開催場所	対象者等
① 各種会議			
青森地域保健医療推進協議会		書面開催	<ul style="list-style-type: none"> ・青森地域保健医療推進協議会委員 ・医療対策部会員 ・保健対策部会員
② 研修会・健康教育			
食生活改善推進員連絡協議会研修会		書面開催	
東地方保健協力員連絡会研修会		中止	

管内食生活改善推進員連絡協議会合同料理講習会	中 止		
給食施設研修会 町村栄養改善研修会	R2. 7. 29(月)	ラ・プラス 青い森	管内給食従事者 10名 町村行政栄養士等 5名
喫煙防止	別記：喫煙対策推進事業に掲載		
心の健康づくり	別記：心の健康づくり事業に掲載		
歯の健康	別記：歯科保健対策事業に掲載		
その他普及啓発	別記：地域・職域連携推進事業に掲載		
③ キャンペーン活動			
世界禁煙デー、禁煙週間	R2. 5. 31～ 6. 6	ポスター掲示	
歯と口の健康週間	R2. 6. 3～ 6. 7	ポスター掲示	
健康増進普及月間	R2. 9. 1～ 9. 30	ポスター掲示	
保健所ホームページ	通年	空気クリーン施設・空気クリーン車両登録施設・車両のお知らせ	
その他普及啓発	通年	健康教育等	

(2) 喫煙対策推進事業

喫煙による健康障害に対する予防意識の普及啓発及び受動喫煙防止対策の推進

ア 「空気クリーン施設（受動喫煙防止対策実施施設）」・「空気クリーン車（受動喫煙防止対策実施車両）」推進事業

健康づくりに良好な環境づくりを推進するために、施設内禁煙を実施している施設や飲食店に認証ステッカーを交付するとともに、掲載希望を確認の上、ホームページ等で公表している。

イ 普及啓発

世界禁煙デーにおける受動喫煙防止について、庁舎内に禁煙週間スローガン入りポスターの貼付及び、たばこに関するパンフレットの設置をした。

ウ 健康教育

東青地域県民局地域健康福祉部職員を対象に、喫煙による健康障害に対する予防意識の普及啓発のためe-ラーニングを実施した。

「空気クリーン施設（受動喫煙防止対策実施施設）」・「空気クリーン車（受動喫煙防止対策実施車両）」
登録状況（令和3年3月末現在）

		計	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町
施設内訳	官公庁	12	6	2	1	3
	文化施設	21	11	2	3	5
	教育・保育施設	31	16	4	3	8
	医療施設（機関）	23	10	3	2	8
	福祉・介護施設	18	7	1	3	7
	体育施設	11	5	1	1	4
	事業所	49	15	11	4	19
	交通機関	0	0	0	0	0
	飲食店	22	10	4	3	5
	宿泊施設	2	0	1	0	1
	その他施設	10	1	1	0	8
	タクシー等	99	50	14	12	23
合計	298	131	44	32	91	

※上記表の他、東地方保健所所管車両5台登録

エ 健康増進法の一部を改正する法律について

○管内第一種施設（76施設）に通知し、法の普及啓発及び施設の対応状況の把握をした。

※令和3年3月31日現在 特定屋外喫煙場所設置施設：1施設

○管内の飲食店（161店舗）に通知し、法の普及啓発を行った。

※令和3年3月31日現在 既存特定飲食提供施設・喫煙可能室設置の届出：14件

退出命令実施件数	0件
立入検査実施件数	0件

（3）地域・職域保健連携推進事業

地域保健と職域保健の連携により、健康づくりのための健康情報の共有を行い、保健事業を共同実施するとともに、社会資源を相互に活用し、持続可能な保健サービスの提供体制を整備することを目的に実施している。

事業内容は、①健康教育、②漁業者の健康改善大作戦、③受動喫煙防止対策である。

① 健康教育について

ア 三厩中学校薬物乱用防止教室

イ 蓬田村幼児健診における栄養指導

② 漁業者の健康改善大作戦について

「漁師の健康を考える会」の開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、地区関係者で協議した結果、開催中止となった。

③ 受動喫煙防止対策（詳細は、喫煙対策推進事業参照）

(4) 地域診断について

ア 目的

地域診断は、対象となる地域のきめ細かい観察や既存の保健統計を通して、地域ごとの問題、特徴を把握することであり、根拠に基づいた、健康政策、公衆衛生を展開していくうえで最も基本的で重要なことである。そこで、特定健康診査データ及びレセプトデータを用いた地域診断を実施し、効果的で効率的な「健活」を推進できるようにする。

イ 地域診断事業は終了しているが、町村支援の一環として地域診断を実施し、管内のデータを経年で整理した。

(5) 漁業者の健康改善大作戦事業

ア 目的

東青地域の基幹産業である『漁業を守り、さらに発展させる』ために、漁業従事者が自らの健康を考え、自ら健康づくりに取り組むことで、生活習慣病の発症を予防し、健康寿命を延ばすことができるようにするために、関係機関との戦略会議、漁業従事者等を構成員として「漁師の健康を考える会」を開催している。

本事業は、平内町の間木・東滝地区をモデルとして、平成26年度から町と協働で実施し、平成28年度からは茂浦地区をモデルとして追加している。取組にあたっては、保健サイドだけでなく漁業サイドも巻き込んだ取組みとすべく、平内町漁業協同組合、漁業協同組合女性部、地区の既存組織等（保健協力員、食生活改善推進委員会、PTA会、行政協力員、消防団）の参画を得て進めている。

イ 漁師の健康を考える会

開催を計画したが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、地区関係者で協議した結果、開催中止となった。

2 栄養改善事業

(1) 市町村栄養改善業務支援事業

ア 目的

東青地域における栄養改善業務が円滑に推進できるよう、保健計画等の企画・立案の支援並びに地域住民を対象とした栄養指導等の業務に従事する者が情報を共有するとともに、資質の向上を図る。

イ 実施内容

	開催年月日	場 所	内 容	参加人員
会 議	令和3年 3月12日(金) 13:00～16:30	東地方 保健所	※リーダー保健師会議併催 ・講話「新型コロナウイルス感染症への備え～わかったこと、わからないこと～」 東地方保健所 所長 立花 直樹 ・情報交換及び意見交換（新型コロナウイルス感染症予防接種について） ・行政説明「国保の糖尿病性腎症重症化予防の取組について」 青森県健康福祉部高齢福祉保険課 主事 三戸 あさみ ・情報交換・意見交換（糖尿病性腎症重症化予防プログラムの運用について、市町村行政栄養士の業務や配置経緯について） ・情報提供 「東地方保健所肥満度調査」 東地方保健所 技師 竹ヶ原 亜美 「働き盛り世代の健やか力向上事業」 東地方保健所 主幹 吉田 智子	市町村 職 員 7名

※研修会は、給食施設栄養管理指導事業と合同で実施した。

(2) 給食施設等栄養管理指導事業

ア 目的

健康増進法に基づき、栄養管理の実施について必要な指導及び助言を行い、喫食者の健康増進に寄与する。また、「健康青森地域21」の推進に向けた食環境整備の一環として行う。

イ 実施状況

① 指導状況

	巡回指導対象施設				巡回指導対象外施設		総計
	特定給食施設		その他		栄養士有	栄養士無	
	栄養士有	栄養士無	栄養士有	栄養士無			
巡回指導延施設数(A)	5	0	4	1	(0)	(7)	10
施設来所延指導数	0	0	0	0	(0)	(0)	0
電話による相談数	2	0	0	0	(0)	(3)	0
喫食者への栄養・運動指導延人員	0	0	0	0	(0)	(0)	0
巡回指導対象施設数(B)	6	0	11	2	(5)	(15)	19
指導率 % (A÷B×100)	83	—	36	50	(0)	(47)	53

② 研修会

開催年月日	場 所	内 容	参加人員
令和2年 7月29日(水) 14:00~16:15	ラ・プラス青 い森	1 講義「フレイル対策（低栄養対策）について」 県立保健大学栄養学科准教授 清水 亮 氏 2 グループワーク「給食施設における高齢者の栄養 管理について」 3 情報提供「給食施設の衛生管理等について」 東地方保健所生活衛生課 主幹 二唐 崇	給食従事者 10名 町村職員 5名

(3) 青森のおいしい健康応援店認定事業

ア 目的

青森県健康増進計画「健康あおもり21（第2次）」の栄養・食生活分野において目標としている「肥満予防」「食塩摂取量の減少」「野菜摂取量の増加」を踏まえた食事メニューの提供を行う飲食店等を「青森のおいしい健康応援店」として認定し、県民が外食等を利用する際に適切なメニューを選択できる食環境の整備を図る。

イ 実施状況

実施年度	認定件数
令和2年度	1件

ウ 普及・啓発

喫煙対策事業において、管内全飲食店に対し、郵送での周知（東保健第1058号「健康増進法の一部を改正する法律」の全面施行について）を行った際、本事業のチラシ兼申請書を同封した。

(4) 栄養成分表示・虚偽誇大広告等・特定保健用食品

ア 目的

- ① 栄養成分表示の望ましい運営を図るため、表示の普及・啓発及び活用について、消費者及び食品業者に対し適切な相談指導を行う。
 - ・栄養成分表示指導 10件
- ② 食品として販売に供する物に関して行う、健康保持増進効果等に関する虚偽誇大広告等の禁止及び広告等適正化のための監視指導等を行う。
 - ・健康増進法 32条に基づく指導 0件

3 結核予防

(1) 結核診査協議会の診査状況

区分 年度	感染症法第37条の2関係 (通院公費負担)	感染症法第37条関係 (入院19条、20条)	計
2年度	5	5	10
元年度	0	6	6
30年度	3	5	8

(注)感染症法：感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律の略称

(2) 新登録結核患者数（活動性分類）

令和2年1月1日～令和2年12月31日

区分 市町村	新登録者数										(参考) 潜在性 結核 感染症
	計	性別		活動性分類							
		男	女	活動性肺結核				不活動 性結核	活動性 不明		
				喀痰塗抹陽性		その他 の結核 菌陽性	菌陰性 その他			活動性 肺外結核	
初回 治療	再治療										
平内町	5	5	0	5	0	0	0	0	0	0	3
今別町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蓬田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外ヶ浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年計	5	5	0	5	0	0	0	0	0	0	3
令和元年計	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
平成30年計	2	2	0	1	0	1	0	0	0	0	1

(単位：人)

(3) 新登録結核患者数（年齢階級別）

※潜在性結核感染症は（ ）内に別掲

令和2年1月1日～令和2年12月31日

年齢階級 市町村	0～4	5～9	10～14	15～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70～	計
平内町	0	0	0	0	0	0	0	0	2(1)	3(2)	5(3)
今別町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蓬田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外ヶ浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
令和2年計	0	0	0	0	0	0	0	0	2(1)	3(2)	5(3)
令和元年計	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
平成30年計	0	0	0	0	0	0	0	0	2(1)	0	2(1)

※年齢は登録時点

(単位：人)

(4) 全登録結核患者数 (活動性分類別)

令和2年12月31日現在

区分	登録者 総数	性別		活動性結核					不活動性結核	活動性不明	(参考) 潜在性結核感染症	
				肺結核活動性			肺外結核活動性					
		登録時 喀痰塗抹陽性		登録時 その他の 結核菌 陽性	登録時 菌陰性 その他							
		初回 治療	再治療			治療中	観察中					
市町村		男	女									
平内町	4	4	0	4	0	0	0	0	0	0	1	3
今別町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蓬田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外ヶ浜町	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
令和2年計	5	5	0	5	0	0	0	0	0	0	1	4
令和元年計	4	4	0	2	0	1	0	0	1	0	0	1
平成30年計	6	5	1	3	0	2	1	0	0	0	1	5

(単位:人)

(5) 全登録結核患者数 (年齢階級別)

※ () 内は潜在性結核感染症の別掲

令和2年12月31日現在

年齢階級	0~4	5~9	10~14	15~19	20~29	30~39	40~49	50~59	60~69	70~	計
市町村											
平内町	0	0	0	0	0	0	0	0	2(1)	2(2)	4(3)
今別町	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
蓬田村	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
外ヶ浜町	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
令和2年計	0	0	0	0	0	0	0	0	3(1)	2(2)	5(3)
令和元年計	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2(1)	4(1)
平成30年計	0	0	0	0(1)	1	0(2)	0(1)	1	2(1)	2(1)	6(6)

(単位:人)

(6) 結核患者有病率及び罹患率

(人口は令和2年10月1日の推計人口)

区分 市町村	人口 (人)	活動性結核 患者数 (人)	有病率 (人口10万対)	新登録結核 患者数 (人)	罹患率 (人口10万対)
平内町	10,054	5	49.7	5	49.7
今別町	2,333	0	—	0	—
蓬田村	2,610	0	—	0	—
外ヶ浜町	5,292	1	18.9	0	—
令和2年計	20,289	6	29.6	5	24.6
令和元年計	20,866	3	14.4	1	4.8
平成30年計	21,371	6	28.1	2	9.4

- (注) 1 有病率：人口10万人に対する年末時点における活動性結核患者数。
 2 罹患率：人口10万人に対する1年間に新たに登録となった結核患者数(潜在性結核感染症を除く)。

(7) 定期健康診断

ア 一般住民結核健診実施状況

区分 年度・市町村	エックス線検査			精密検査				指導区分		B C G			
	対象者数 (A)	受診者数 (B)	受診率 (B)/(A) (%)	対象者数 (C)	受診者数 (D)	受診率 (D)/(C) (%)	菌検査数 (E)	要医療	要観察	対象者数 (F)	受診者数 (G)	受診率 (G)/(F) (%)	
2	平内町	4,081	833	20.4	-	-	-	0	-	-	36	37	102.8
	今別町	1,380	308	22.3	-	-	-	0	-	-	8	8	100.0
	蓬田村	1,098	297	27.0	-	-	-	0	-	-	3	7	233.3
	外ヶ浜町	2,837	607	21.4	-	-	-	0	-	-	7	9	128.6
	計	9,396	2,045	21.8	-	-	-	0	-	-	54	61	113.0
元	平内町	4,059	868	21.4	11	10	90.9	0	-	-	44	51	115.9
	今別町	1,418	316	22.3	0	0	-	0	-	-	6	8	133.3
	蓬田村	1,087	290	26.7	0	0	-	0	-	-	9	7	77.8
	外ヶ浜町	2,750	645	23.5	0	0	-	0	-	-	7	14	200.0
	計	9,314	2,119	22.8	11	10	90.9	0	-	-	66	80	121.2
30	平内町	4,103	908	22.1	15	12	80.0	0	-	-	45	64	142.2
	今別町	1,469	380	25.9	0	0	-	0	-	-	4	3	75.0
	蓬田村	1,128	304	27.0	1	1	100.0	0	-	-	10	12	120.0
	外ヶ浜町	2,818	722	25.6	5	3	60.0	0	-	-	14	12	85.7
	計	9,518	2,314	24.3	21	16	76.2	0	-	-	73	91	124.7

(単位：人)

- (注) 1 (B)には間接撮影及び間接撮影を省略して直接撮影のみ行った者を計上。
 2 エックス線検査は65歳以上の者のみ計上。

イ 定期健康診断実施状況

		エックス線検査			精密検査				指導区分	
		対象者数 (A)	受診者数 (B)	受診率 (B) / (A) (%)	対象者数 (C)	受診者数 (D)	受診率 (D) / (C) (%)	菌検査数 (E)	要医療	要観察
2	事業所長	1,123	1,108	98.7	2	1	50.0	0	-	-
	学校長	10	10	100.0	0	0	-	0	-	-
	施設長	691	691	100.0	22	18	81.8	0	-	-
	総数	1,824	1,809	99.2	24	19	79.2	0	-	-
元	事業所長	735	727	98.9	0	0	-	0	-	-
	学校長	20	19	95.0	0	0	-	0	-	-
	施設長	290	290	100.0	10	10	100.0	0	-	-
	総数	1,045	1,036	99.1	10	10	100.0	0	-	-
30	事業所長	727	721	99.2	4	2	50.0	0	-	-
	学校長	26	26	100.0	0	0	-	0	-	-
	施設長	188	188	100.0	9	9	100.0	0	-	-
	総数	941	935	99.4	13	11	84.6	0	-	-

(単位：人)

- (注) 1 学校長の対象者数は生徒を計上（高校入学時）。
 2 施設長の対象者数は入所者を計上（65歳以上）。
 3 学校、施設、町村の職員は事業所長の対象者数に計上（町村の職員は、病院、診療所、福祉施設等に従事する職員）。

(8) 接触者健診及び精密検査（管理検診）実施状況

		年 度	接触者健診			精密検査（管理検診）		
			総数	保健所 実施	他の受診 を確認	総数	保健所 実施	他の受診 を確認
ツ 反		2 年 度	0	0	0	0	0	0
		元 年 度	0	0	0	0	0	0
		30 年 度	0	0	0	0	0	0
BCG		2 年 度	0	0	0	0	0	0
		元 年 度	0	0	0	0	0	0
		30 年 度	0	0	0	0	0	0
X 線	間 接	2 年 度	0	0	0	0	0	0
		元 年 度	0	0	0	0	0	0
		30 年 度	0	0	0	0	0	0
	直 接	2 年 度	4	2	2			
		元 年 度	2	0	2			
		30 年 度	4	2	2			
精 密 検 査	直接・CT画像	2 年 度	0	0	0	7	7	0
		元 年 度	0	0	0	13	8	5
		30 年 度	0	0	0	23	15	8
	菌検査	元 年 度	0	0	0	0	0	0
		30 年 度	0	0	0	0	0	0
		29 年 度	0	0	0	0	0	0
QFT 検査		2 年 度	13	13	0	0	0	0
		元 年 度	2	2	0	0	0	0
		30 年 度	7	7	0	0	0	0
被発見者		2 年 度	1	1	0	0	0	0
		元 年 度	1	1	0	0	0	0
		30 年 度	1	1	0	0	0	0

(単位：人)

(注) 保健所実施には委託医療機関実施及び定期病状調査を含む。

(9) 相談及び訪問指導状況

ア 相談

結核患者発生時の接触者健康診断及び登録患者の精密検査（従来の管理検診）に伴う相談に対応した。

イ 訪問指導

年 度	訪問件数（延べ数）	訪問件数（実数）
2年度	19 (再掲) DOTS 18	5 (再掲) DOTS 5
元年度	3 (再掲) DOTS 3	3 (再掲) DOTS 3
30年度	25 (再掲) DOTS 25	3 (再掲) DOTS 3
29年度	19 (再掲) DOTS 19	4 (再掲) DOTS 4
28年度	10 (再掲) DOTS 10	8 (再掲) DOTS 8

※ DOTSカンファレンスを含む。

(10) 結核対策事業実施状況

《特別対策事業》

地域DOTS推進事業

内 容	実施者数
地域DOTS	0

《一般対策事業》

啓発用資料等の掲示

結核予防週間の普及啓発活動として、ポスターを庁舎内に掲示するとともに、当保健所ホームページに啓発資料等を掲載した。

4 母子保健事業

(1) 小児慢性特定疾病児童等自立支援事業

ア 目的

児童福祉法第19条の22の小児慢性特定疾病児童等自立支援事業の規定に基づき、慢性的な疾病にかかっていることにより、長期にわたり療養を必要とする児童等の健全育成及び自立促進を図るため、小児慢性特定疾病児童等（以下「小慢児童等」という。）及びその家族からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言を行うとともに、関係機関との連絡調整その他の事業を行う。

イ 対象

小児慢性特定疾病児童等、長期にわたり療養を必要とする児童

ウ 療育指導

- ① 相談・訪問指導等 実人員 4人
 ② 電話相談 延べ人員 1人
 ③ ①の再掲

実人員	延 人 員								
	申請等	医療	家庭看護	福祉制度	就学	食事栄養	歯科	その他	計
4	1	4	3	2	0	0	0	1	11

関係機関連絡等		訪問指導	
実人員	延人員	実人員	延人員
3	5	2	2

(2) 妊産婦支援体制整備事業

ア 目的

虐待による死亡が生じ得るリスク要因として、保護者側の強い抑うつ状態が挙げられており、その対策として、虐待に至る前に気になるレベルで適切な支援を行い、育児の孤立化、育児不安の防止に努める「発生予防」の視点が重要とされ、母子保健にもその役割が求められていることから、母子保健の側面から地域養育支援体制を整備する。

イ 実施状況

① 母子保健ネットワーク会議（「多分野合同研修会」と併催）

開催年月日	場 所	内 容	参加者
R2. 10. 23 (金) 18:00～ 20:00	ラ・プラス 青い森 2 階 メーブル	①情報提供 「児童相談所の役割と実際の支援」 ②講話 「妊産婦メンタルヘルスの理解と母子及び精神保健福祉関係機関における連携の必要性について」 ③情報交換 「東青地域の子育て世代包括支援センターの状況及び事前アンケートの結果について」 「意見交換」	東青地域産科医療機関 20名 東青地域精神科医療機関 14名 管内町村保健師 5名 青森市保健所 4名 青森県立精神保健福祉センター 1名 青森県看護協会 1名 東青地域県民局地域健康福祉部 こども相談総室こども相談課 1名 当所 4名 計 50名

(3) 女性健康支援事業

ア 目的

女性は妊娠、出産等固有の機能を有するだけでなく、女性特有の身体的特徴を有することにより、さまざまな支障や心身にわたる悩みを抱えている。身近な相談機関である保健所において、女性が健康状態を自己管理できるよう、気軽に相談できる体制を整え、思春期から更年期に至る生涯を通じた女性の健康の保持増進を図ることを目的とする。

イ 実施状況

- ① 定期相談：0件
- ② 随時相談：0件

ウ 周知及び普及啓発

不妊相談センターのチラシをロビーに設置。

(4) 特定不妊治療費助成事業

ア 目的

不妊治療のうち、体外受精及び顕微授精については、1回の治療が高額であり、その経済的負担が重いことから十分な治療を受けることができず、子どもを諦めざるを得ない方も少なくないため、費用の一部を助成し、経済的負担を軽減することを目的に平成17年度から実施している。

イ 実施状況

申請件数：2件（実件数1件）

(5) 母子保健ライブラリー整備事業

ア 目的

母子保健に関する健康教育や保健指導等に活用するための専門図書、視聴覚教材、特殊模型等を整備し、母子保健関係者に閲覧、貸し出しを行うことにより、母子保健事業の充実を図る。

イ 母子保健ライブラリー教材活用状況

利用施設	品名	使用目的	借用期間
蓬田村 蓬田中学校	妊娠シミュレーター 2セット 沐浴人形 2体	3学年思春期教室	R2. 6. 29 ~ R2. 7. 1
外ヶ浜町 福祉課	妊娠シミュレーター 2セット 沐浴人形 2体	中学校思春期	R1. 7. 2 ~ R1. 7. 21
平内町 健康増進課	妊娠シミュレーター 1セット 沐浴人形 2体	乳児ふれあい体験学習 (事前学習)	R1. 8. 28 ~ R1. 10. 8

5 精神保健福祉

(1) 入院通院医療事務関係

ア 精神障害者申請・通報届出状況

① 精神障害者の診察

区分	申請通報届出件数	診察の必要がないと認められた者		診察を受けた者			
		即入院	その他	精神障害者		精神障害者ではなかった者	計
				法第29条該当症状の者	法第29条該当症状ではなかった者		
一般の申請 (22条)	0	0	0	0	0	0	0
警察官の通報 (23条)	25	0	6	12	7	0	19
検察官の通報 (24条)	5	0	5	0	0	0	0
保護観察所長の通報 (25条)	0	0	0	0	0	0	0
矯正施設長の通報 (26条)	12	0	12	0	0	0	0
病院管理者の届出 (26条の2)	0	0	0	0	0	0	0
合計	42	0	23	12	7	0	19

注) 単位：件 (令和2年4月～令和3年3月)

② 措置入院患者 (緊急措置入院を含む)

令和元年度末患者数	令和2年度新規患者	令和2年度解除患者	令和2年度末患者数
3人	12人	12人	3人

イ 医療状況（管内精神病院の入院患者数）

① 入院形態別患者年度末人数（精神科病院月報から）

年度	区分	入院				
		合計	措置	医療保護	任意	その他
R2		990	4	621	364	1
R1		985	3	631	350	1
H30		975	4	616	354	1

注) 単位：人

② 病名別入院患者年度末人数（精神科病院月報から）

区分	年度	R2	R1	H30
症状性を含む器質性精神障害		392	363	357
アルツハイマー病型認知症		158	158	177
血管性認知症		44	45	47
上記以外の症状性を含む器質性精神障害		190	160	133
精神作用物質による精神及び行動の障害		51	48	46
アルコール使用による精神及び行動の障害		48	45	40
覚せい剤による精神及び行動の障害		1	1	1
その他の精神作用物質使用による精神及び行動の障害		2	2	5
統合失調症、統合失調症障害及び妄想性障害		387	437	439
気分（感情）障害		72	61	56
神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現障害		32	31	35
生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群		8	6	7
成人のパーソナリティ及び行動の障害		10	10	7
精神遅滞（知的障害）		16	12	11
心理的発達の障害		12	8	11
小児期及び青年期に通常発症する行動及び情緒の障害及び特定不能の精神障害		3	1	2
てんかん（F0に属さない計上）		5	6	1
その他		2	2	3
	計	990	985	975

注) 単位：人

ウ 精神障害者保健福祉手帳交付件数 (令和2年4月～令和3年3月)

区分 市町村	交付者累計数				令和2年度新規交付者数			
	合計	1級	2級	3級	合計	1級	2級	3級
合計	3,919	1,215	2,293	411	276	41	178	57
青森市	3,682	1,135	2,153	394	260	39	165	56
平内町	123	40	75	8	6	0	6	0
今別町	28	4	22	2	3	0	3	0
蓬田村	31	11	16	4	4	1	2	1
外ヶ浜町	55	25	27	3	3	1	2	0

注) 単位: 件

エ 精神科救急医療システム事業実績 (令和2年4月～令和3年3月)

区分 医療機関	当番実施日数		空床確保 日数 (日)	対応件数			
	休日 (日中)	夜間 (平日・休日)		電話 のみ	来院	入院	合計
青森県立つくしが丘病院	57	111	111	0	42	41	83
浅虫温泉病院	41	88	88	6	14	17	37
芙蓉会病院	25	98	98	56	16	30	102
生協さくら病院	0	68	68	116	14	8	138
合計	123	365	365	178	86	96	360

注) 単位: 件

オ 医療保護入院患者の市町村別、病名別、男女別患者数
(令和2年4月～令和3年3月)

区分	市町村	総数	症状性を含む器質性精神障害	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	気分(感情)障害	害及び身体表現障害	神経症性障害、ストレス関連障害	連した行動症候群	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	成人の人格及び行動の障害	精神遅滞(知的障害)	心理的発達の障害	小児期及び青年期に通常発症する行動の障害等	てんかん	その他・分類不明
青森市	男	413	17	30	51	21	205	31	35	2	4	1	6	10		
	女	369	11	15	71	5	163	38	48	4	6		1	7		
	計	782	28	45	122	26	368	69	83	6	10	1	7	17		
平内町	男	19		1		1	12	1	3				1			
	女	14		1	4		8		1							
	計	33		2	4	1	20	1	4				1			
今別町	男	9		3	5	1										
	女	4		1	2			1								
	計	13		4	7	1		1								
蓬田村	男	7			1		6									
	女	6			1		2	1	2							
	計	13			2		8	1	2							
外ヶ浜町	男	18	1		3	3	7	1	2					1		
	女	16		1	8		4	1	1	1						
	計	34	1	1	11	3	11	2	3	1				1		
合計	男	466	18	34	60	26	230	33	40	2	4	1	7	11		
	女	409	11	18	86	5	177	41	52	5	6		1	7		
	計	875	29	52	146	31	407	74	92	7	10	1	8	18		

注1) 医療保護入院患者で、保健所に入院届及び定期病状報告の届出のあった者の合計

注2) 単位：人

カ 自立支援医療受給者証（精神通院）所持者の市町村別、病名別、男女別患者数
（令和2年4月～令和3年3月）

区分 市町村	総数		症状性を含む器質性精神障害	精神作用物質使用による精神及び行動の障害	統合失調症、統合失調症型障害及び妄想性障害	気分（感情）障害	神経症性障害、ストレス関連障害及び身体表現障害	連した行動症候群	生理的障害及び身体的要因に関連した行動症候群	成人の人格及び行動の障害	精神遅滞（知的障害）	心理的発達の障害	小児期及び青年期に通常発症する行動の障害等	てんかん	その他・分類不明
	男	女													
青森市	男	2,056	41	97	698	487	62	1	7	52	181	47	231	152	
	女	2,806	76	33	949	943	153	13	24	40	120	56	235	164	
	計	4,862	117	130	1,647	1,430	215	14	31	92	301	103	466	316	
平内町	男	73	2		30	16	4			4	1	1	12	3	
	女	83		2	45	17	5			1	2	1	9	1	
	計	156	2	2	75	33	9			5	3	2	21	4	
今別町	男	13			6	4				2			1		
	女	14			7	3							2	2	
	計	27			13	7				2			3	2	
蓬田村	男	18		1	8	5	1				1		2		
	女	21	1		8	7						1	2	2	
	計	39	1	1	16	12	1				1	1	4	2	
外ヶ浜町	男	40	1	2	14	4	1			8	1		7	2	
	女	45	2		16	14	4			4			3	2	
	計	85	3	2	30	18	5			12	1		10	4	
合計	男	2,200	44	100	756	516	68	1	7	66	184	48	253	157	
	女	2,969	79	35	1,025	984	162	13	24	45	122	58	251	171	
	計	5,169	123	135	1,781	1,500	230	14	31	111	306	106	504	328	

注1) 自立支援医療受給者証（精神通院）所持者の合計

注2) 単位：人

(2) 精神保健福祉相談実施状況

ア 相談件数

(件)

年度 区分	令和2年度	令和元年度	平成30年度
合計	(56) 146	(71) 229	(27) 149
来所	(5) 6	(8) 11	(1) 6
電話	(51) 140	(63) 218	(26) 143

注1) () 内は実数

イ 令和2年度目的別相談件数

(件)

相談内容	受診・入院について	通院・服薬について	生活指導等について	経済的問題	性格・行動上のこと	患者への接し方について	アルコールについて	薬物について	人間関係について	施設入所について	社会復帰について	福祉サービスの利用について	ひきこもりについて	その他	計
総延件数	39	2	0	1	1	0	10	0	2	0	3	0	0	128	186

(3) 訪問指導状況

(件)

年度 区分	令和2年度	令和2年度訪問内容											令和元年度	平成30年度
		合計			保健師(相談員を含む)による			その他職員による						
		一般	社会復帰	老人	計	一般	社会復帰	老人	計	一般	社会復帰	老人		
(実人員)	(32)	(32)	(0)	(0)	(32)	(32)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(32)	(0)
延人員	38	38	0	0	38	38	0	0	0	0	0	0	52	0

注1) () 内は実数

(4) 精神障害者地域生活支援広域調整等事業

ア 目的

精神障害者のうち1年以上の長期入院をしている者（支援がなければ1年以上の入院が見込まれる者も含む）について、地域移行支援を推進するための体制整備をする。

精神障害者の地域移行支援については平成23年度から実施しており、国の動向に合わせて事業が組み換えとなっている。

なお、当管内では、東青地域全体で精神障害者の地域移行支援に取り組むため、平成29年度から、青森市が主催している相談事業所等を対象とした青森市地域相談支援連絡会と合同開催している。令和2年度は新型コロナウイルス感染症の感染拡大により、書面開催とした。

開催年月日	場所	内容	送付先
令和2年 12月	書面開催	情報提供 (1) 青森市における「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」に係る「協議の場」の設置について (2) 青森市自立支援協議会の取組状況報告 (3) 地域相談支援利用者数 (4) チームフロンティア活動報告 (5) 長期在院者の状況について (6) 平成30年12月会議で設定した各グループの取組状況報告	精神科医療機関、相談支援事業所、町村、地域包括支援センター、青森県立精神保健福祉センター

(5) 包括的基盤強化事業「多分野合同研修会」

ア 多分野合同研修会

自殺総合対策大綱（平成24年8月28日閣議決定）では、「自殺は、その多くが追い込まれた末の死」であり、「その多くが防ぐことのできる社会的な問題」であるとの自殺総合対策の基本認識が示されており、国、地方公共団体、関係団体、民間団体、企業、国民等の関係者の連携による包括的な生きる支援を展開することが重要であるとしている。

これ踏まえ、地域の実情に応じた包括的な自殺対策の推進により、「誰もが自殺に追い込まれることのない社会の実現」に向け、社会全体の自殺リスクを低下させていくことを目的として、研修会を開催しているものである。

なお、平成30年度から、母子保健関係機関と精神科医療機関との顔の見える連携体制の構築を目的に、母子保健ネットワーク会議と併催で実施している。

開催年月日	場所	内容	出席者
令和2年 10月23日 (金)	ラ・プラス 青い森	1 情報提供 「児童相談所の役割と実際の支援」 2 講話 「妊産婦メンタルヘルスの理解と母子及び精神保健福祉関係機関における連携の必要性について」 3 情報交換	青森市内産科医療機関 20名 青森市内精神科医療機関 14名 市町村 9名 精神保健福祉センター 1名 看護協会 1名 児童相談所 1名 東地方保健所 4名 (計50名)

(6) 心の健康づくり推進事業

- ア 定期相談 2件
- イ 随時相談 6件

(7) 関係機関等連絡会議

ア 青森ブロック精神科救急医療システム連絡調整委員会

目 的

実施体制、運営方法、稼働状況等について検証し、関係機関相互における情報共有及び連携強化を図る。

開催年月日	場 所	内 容	出 席 者
令和3年 2月24日 (水)	東地方保健所 2階会議室	1 報告事項 (1) 令和2年度青森ブロック精神科救急医療システム事業実績 (2) 東青地域における通報・入院・通院・手帳所持者の状況 (3) 東青地域における自殺者及び自殺未遂者の現状 2 協議事項 3 その他	委員等 9名 事務局 8名

6 難病

(1) 特定医療費支給認定

平成27年1月から難病法（難病の患者に対する医療等に関する法律）が施行され、難病（発病の機構が明らかでなく、治療方法が確立していない希少な疾病であって、長期の療養を必要とするもの）のうち、厚生労働大臣が定める「指定難病」については、患者の医療費の負担軽減を目的として、一定の認定基準を満たしている場合、その治療に係る医療費の一部を助成している。

市町村別特定医療受給者証所持者数（令和3年3月31日現在）（単位：人）

疾病番号	疾病名	青森市	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	計
1	球脊髄性筋萎縮症	3	0	0	0	0	3
2	筋萎縮性側索硬化症	31	2	0	0	0	33
3	脊髄性筋萎縮症	1	0	0	0	0	1
4	原発性側索硬化症	2	0	0	0	0	2
5	進行性核上性麻痺	37	1	1	0	1	40
6	パーキンソン病	327	18	6	5	5	361
7	大脳皮質基底核変性症	13	1	1	0	1	16
8	ハンチントン病	2	0	0	0	0	2
10	シャルコー・マリー・トゥース病	3	1	0	0	0	4
11	重症筋無力症	47	3	1	2	1	54
13	多発性硬化症／視神経脊髄炎	69	3	0	2	0	74
14	慢性炎症性脱髄性多発神経炎／多巣性運動ニューロパチー	13	0	0	0	0	13
17	多系統萎縮症	33	2	0	0	0	35
18	脊髄小脳変性症（多系統萎縮症を除く。）	117	28	0	1	1	147
19	ライソゾーム病	1	0	0	0	0	1
21	ミトコンドリア病	4	0	0	0	0	4
22	もやもや病	15	0	0	0	0	15
26	HTLV-1関連脊髄症	1	0	0	0	0	1
28	全身性アミロイドーシス	5	2	0	1	0	8
30	遠位型ミオパチー	4	0	0	0	0	4
34	神経線維腫症	5	0	0	0	0	5
35	天疱瘡	11	1	0	1	0	13
37	膿疱性乾癬（汎発型）	8	0	0	0	0	8
38	ステイーヴンス・ジョンソン症候群	1	0	0	0	0	1
40	高安動脈炎	9	2	0	0	0	11
42	結節性多発動脈炎	1	0	0	0	0	1
43	顕微鏡的多発血管炎	22	0	2	0	0	24
44	多発血管炎性肉芽腫症	6	0	0	0	0	6
45	好酸球性多発血管炎性肉芽腫症	20	1	0	0	0	21
46	悪性関節リウマチ	16	0	0	0	0	16
47	バージャー病	18	0	0	0	1	19
48	原発性抗リン脂質抗体症候群	7	0	0	0	0	7
49	全身性エリテマトーデス	152	3	1	2	3	161
50	皮膚筋炎／多発性筋炎	47	2	0	0	0	49
51	全身性強皮症	25	2	0	1	1	29
52	混合性結合組織病	12	0	0	0	0	12
53	シェーグレン症候群	17	1	0	0	1	19
54	成人スチル病	12	2	0	0	0	14

疾病番号	疾病名	青森市	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	計
55	再発性多発軟骨炎	1	0	0	0	0	1
56	ベーチェット病	40	2	1	0	0	43
57	特発性拡張型心筋症	10	0	0	1	0	11
58	肥大型心筋症	5	0	0	0	0	5
60	再生不良性貧血	19	0	1	0	1	21
62	発作性夜間ヘモグロビン尿症	4	0	0	0	0	4
63	特発性血小板減少性紫斑病	46	1	0	1	2	50
64	血栓性血小板減少性紫斑病	1	0	0	0	0	1
66	I g A腎症	64	1	1	0	1	67
67	多発性嚢胞腎	25	1	1	0	0	27
68	黄色靭帯骨化症	23	0	0	0	0	23
69	後縦靭帯骨化症	100	3	1	2	4	110
70	広範脊柱管狭窄症	3	0	0	0	2	5
71	特発性大腿骨頭壊死症	42	1	0	0	1	44
72	下垂体性ADH分泌異常症	5	0	0	0	0	5
73	下垂体性TSH分泌亢進症	1	0	0	0	0	1
74	下垂体性PRL分泌亢進症	8	0	0	0	0	8
75	クッシング病	2	0	1	0	0	3
77	下垂体性成長ホルモン分泌亢進症	13	2	0	0	0	15
78	下垂体前葉機能低下症	61	1	1	1	1	65
79	家族性高コレステロール血症（ホモ接合体）	1	0	0	0	0	1
81	先天性副腎皮質酵素欠損症	1	0	0	0	0	1
83	アジソン病	1	0	0	0	0	1
84	サルコイドーシス	35	3	0	0	0	38
85	特発性間質性肺炎	54	2	1	2	3	62
86	肺動脈性肺高血圧症	8	0	0	0	0	8
88	慢性血栓塞栓性肺高血圧症	8	1	0	0	0	9
89	リンパ脈管筋腫症	7	0	0	0	0	7
90	網膜色素変性症	26	1	0	0	0	27
91	バッド・キアリ症候群	2	0	0	0	0	2
92	特発性門脈圧亢進症	1	0	0	0	0	1
93	原発性胆汁性肝硬変	75	0	0	2	1	78
94	原発性硬化症胆管炎	8	0	0	0	0	8
95	自己免疫性肝炎	9	0	0	0	0	9
96	クローン病	134	4	1	0	1	140
97	潰瘍性大腸炎	280	10	1	1	3	295
98	好酸球性消化管疾患	3	0	0	0	0	3
109	非典型型溶血性尿毒症症候群	1	0	0	0	0	1
111	先天性ミオパチー	1	0	0	0	0	1
112	マリネスコ・シェーグレン症候群	1	0	0	0	0	1
113	筋ジストロフィー	50	0	1	0	1	52
117	脊髄空洞症	1	0	0	0	0	1
122	脳表ヘモジデリン沈着症	3	0	0	0	0	3
124	皮質下梗塞と白質脳症を伴う常染色体優性脳動脈症	1	0	0	0	0	1
127	前頭側頭葉変性症	5	1	0	0	0	6
156	レット症候群	1	0	0	0	0	1
158	結節性硬化症	2	0	0	0	0	2

疾病番号	疾病名	青森市	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	計
162	類天疱瘡（後天性表皮水疱症を含む。）	11	3	1	0	0	15
165	肥厚性皮膚骨膜炎	1	0	0	0	0	1
167	マルファン症候群	2	0	0	0	0	2
171	ウィルソン病	2	0	0	0	0	2
179	ウィリアムズ症候群	1	0	0	0	0	1
181	クルーゾン症候群	1	0	0	0	0	1
193	ブラダー・ウィリ症候群	1	0	0	0	0	1
209	完全大血管転位症	1	0	0	0	0	1
212	三尖弁閉鎖症	1	0	0	0	0	1
215	ファロー四徴症	2	0	0	0	0	2
218	アルポート症候群	1	0	0	0	0	1
220	急速進行性糸球体腎炎	5	0	0	0	0	5
221	抗糸球体基底膜腎炎	1	0	0	0	0	1
222	一次性ネフローゼ症候群	31	3	1	0	0	35
223	一次性膜性増殖性糸球体腎炎	1	0	0	0	0	1
224	紫斑病性腎炎	4	0	0	0	0	4
226	間質性膀胱炎（ハンナ型）	1	0	0	1	0	2
227	オスラー病	2	0	0	0	0	2
228	閉塞性細気管支炎	1	0	0	0	0	1
229	肺胞蛋白症（自己免疫性又は先天性）	2	0	0	0	0	2
266	家族性地中海熱	1	0	0	0	0	1
271	強直性脊椎炎	4	0	0	0	0	4
280	巨大動静脈奇形（頸部顔面又は四肢病変）	1	0	0	0	0	1
288	自己免疫性後天性凝固因子欠乏症-2	1	0	0	0	0	1
292	総排泄腔外反症	1	0	0	0	0	1
300	IgG4 関連疾患	4	1	0	0	0	5
306	好酸球性副鼻腔炎	43	1	0	0	0	44
309	進行性ミオクローヌスてんかん-1	1	0	0	0	0	1
331	多発性多中心性キャッスルマン症	2	0	0	0	0	2
計		2,439	117	25	26	36	2,643

※指定難病：平成27年1月～110疾病、平成27年7月～306疾病、平成29年4月～330疾病、平成30年4月～331疾病、平成31年4月～333疾病

(2) 特定疾患治療研究事業

原因が不明であって、治療方法が確立していない、いわゆる難病のうち、56の特定疾患については、治療がきわめて困難であり、かつ、医療費も高額であるので、従来から特定疾患治療研究を推進するとともに患者の医療費の負担軽減を図っている。

なお、難病法が施行されたことに伴い、平成27年1月から本事業の対象疾患は5疾患となっている。

特定疾患医療受給者証所持者数（令和3年3月31日現在）

（単位：人）

疾病番号	疾患名	受給者数
1	スモン	2
2	プリオン病（ヒト由来乾燥硬膜移植によるクロイツフェルト・ヤコブ病に限る。）	0
3	重症多形滲出性紅斑（急性期）	0
4	難治性の肝炎のうち劇症肝炎	0
5	重症急性膵炎	0
合 計		2

(3) 難病患者相談事業等

ア 市町村への情報提供（避難行動要支援者のため）

- ① 災害時避難対策支援に係る県から市町村への難病患者に関する情報提供については、「市町村への特定疾患医療受給者に関する個人情報提供の実施手順」（平成25年3月18日付け青保第1271号「市町村への特定疾患医療受給者に関する個人情報提供について」）に基づき実施していた。
- ② 平成26年11月の災害対策基本法の改正に伴い、新たに平成28年2月16日付け青保第2033号通知され、県から市町村への難病患者に関しての情報提供の際は、本人同意書を不要とし、県は市町村の求めに応じ、保有する情報を提供することとなった。

イ 医療相談

患者等の療養上の不安の解消を図ることを目的に実施している。

年2回の実施予定としたが新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、実施は1回となった。

- ① 開催日時：令和2年10月26日 13：00～15：00
- ② 場 所：平内町勤労青少年ホーム
- ③ 内 容：ア. 講話 「神経難病の療養生活を自分らしく生きるために」
講師 ひきち内科クリニック院長 引地 基文 氏
イ. 講話・実技 「嚥下リハビリテーションの実際について」
講師 平内町国民健康保険平内中央病院リハビリテーション科
科長（理学療法士） 米田 良平 氏
言語聴覚士 内山 七重 氏
- ④ 参加者：24名

(4) 患者会支援

訪問、健康相談等の個別支援において、患者会に関する情報提供を行った。

(5) 健康相談状況

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大により、特定医療更新申請手続きが行われなかったため、更新申請時に実施していた所内面接の機会を得られず、相談件数が減少した。

年 度	個別相談（所内面接）延件数	電話相談延件数
R2	14	21
元	68	9
30	185	28
29	115	44
28	287	23

(6) 保健師による家庭訪問

年 度	訪問延件数 (実数)	内 容			
		筋萎縮性 側索硬化症	脊髄小脳変性症 ・多系統萎縮症	パーキンソン病	その他
R2	33(30)	2(1)	9(9)	4(3)	18(17)
元	31(29)	1(1)	5(3)	8(8)	17(17)
30	104(91)	9(3)	10(10)	48(15)	37(63)
29	176(83)	6(2)	32(17)	39(17)	99(47)
28	116(72)	4(2)	27(18)	38(19)	47(33)

(7) 難病患者等訪問相談員による訪問相談

年 度	訪問延件数 (実数)	内 容			
		筋萎縮性 側索硬化症	脊髄小脳変性症 ・多系統萎縮症	パーキンソン病	その他
R2	15(4)	0	9(2)	4(1)	2(1)
元	10(6)	0	6(3)	2(1)	2(2)
30	14(3)	0	6(4)	3(2)	5(2)
29	18(8)	0	7(4)	5(2)	6(2)
28	15(9)	0	9(5)	2(2)	4(2)

7 保健・医療・福祉包括ケアシステムの推進

近年の少子・高齢化の進行、疾病構造の変化等により、複雑・多様化する県民の保健・医療・福祉ニーズに的確に対応できるように、保健・医療・福祉包括ケアシステムの構築を推進する。

サービス提供にあたっては、地域住民が生涯にわたり、住みなれた地域で健康で安心した生活を送ることができるように、利用者本位の視点で保健・医療・福祉サービスを総合的・一体的に提供することを目標とする。

そのためには、住民に最も身近な市町村単位で保健・医療・福祉包括ケアシステムを構築することが必要であることから、管内市町村における包括ケアシステムの推進・充実へ向けた取組みに対して支援を行っている。

(1) 認知症地域連携体制推進事業

「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地位のよい環境で暮らし続けることができる社会」の実現にむけ、二次保健医療圏（保健所）毎に管内の認知症支援に関する事項の検討会や研修会等を開催し、認知症施策の向上に資することを目的に、平成28年度から実施している。

なお、平成29年度までは「青森地域保健・医療・福祉包括ケアシステム推進会議」と併催で開催していたが、当該会議が廃止されたことから、実務者レベルでの意見交換や検討ができるよう体制の見直しを行った。

平成30年度から、管内の認知症疾患医療センターである県立つくしが丘病院と共催で研修会を開催してきたが、令和2年度は、新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響により、開催を中止とした。

① 相談窓口一覧の作成（更新）及び活用

令和2年度版に更新し、取組状況の把握等に活用した。

② 認知症疾患医療連携協議会への出席

東青地域の認知症疾患医療センターである県立つくしが丘病院が主催する当該会議に出席し、同センターや関係団体等の取組状況を把握した。

(2) 東青地域橋渡しネットワーク推進連絡会

東青地域橋渡しネットワーク推進連絡会において、医療機関地域医療連携室、地域包括支援センター及び介護老人保健施設等の施設で橋渡しに携わっている職員が、患者の退院調整等に係る切れ目ないサービス提供を図るため、「顔の見える関係」づくりや研修及び情報交換を目的に行っている。

① 役員会の開催

開催日時	開催場所	実施内容	参加者数
令和2年7月9日(木) 15:00~16:30	東地方 保健所	第1回役員会 1 協議 (1) 令和2年度の活動予定について (2) 連絡会の今後のあり方について (3) その他	役員 7名 保健所 2名
令和2年9月10日(木) 15:00~16:30	東地方 保健所	第2回役員会 1 情報共有 各医療機関等の現状について 2 その他 (1) 連絡会の今後のあり方について (2) その他	役員 5名 保健所 2名
令和2年10月15日(木) 15:00~16:30	東地方 保健所	第3回役員会 1 情報共有 各医療機関等の現状について 2 意見交換 (1) 連絡会の周知について (2) その他	役員 7名 保健所 2名
令和2年12月16日(水) 15:00~16:30	東地方 保健所	第4回役員会 1 情報共有 各医療機関等の現状について 2 意見交換 (1) 今後の活動について (2) その他	役員 5名 保健所 2名

② 連絡会の開催

ア 開催日時：令和3年2月17日（水） 15：00～16：30

イ 場 所：東地方保健所2階会議室

ウ 内 容：(1) 情報共有（各医療機関等の現状について）

(2) 意見交換

(3) その他

エ 参加者：13名

8 感染症予防

(1) エイズ予防関係

相談内容は、「HIV」「肝炎」「その他感染症」が含まれる。

区分 年度	採血件数		相談件数			相談内訳				
	男	女	男	女	不明	電話			来所	
						男	女	不明	男	女
2年度	11	5	2	0	1	2	0	1	0	0
元年度	17	6	5	1	0	5	1	0	0	0
30年度	28	15	26	3	0	26	3	0	0	0
29年度	14	5	15	3	0	14	3	0	1	0
28年度	31	9	15	6	0	13	6	0	2	0

注1) 単位：件

(2) 感染症発生状況

疾患 年次	一類	二類	三類	四類
			結核	腸管出血性大腸菌感染症
2年	0	3	0	1
元年	0	1	1	0
30年	0	3	0	0
29年	0	0	0	0
28年	0	8	0	0

五類感染症全数把握疾患は過去3年間の発生届はなかった。

注1) 単位：件

注2) 届出があった疾患のみ記載。

(3) 感染症発生動向調査年次別状況（定点報告数）

区分	年次					
	2年	元年	30年	29年	28年	27年
インフルエンザ（高病原性鳥インフルエンザを除く）	48	152	126	84	104	120

※ 平成25年以降のインフルエンザ以外の報告数については、24年に管内小児科定点が廃止となったため、定点報告数としては、計上されない。

注1) 単位：件

注2) 1月～12月集計

(4) 肝炎治療費助成（青森県肝炎治療特別促進事業）

平成 20 年度から青森県肝炎治療特別促進事業実施要綱に基づき、保健所を窓口にして肝炎インターフェロン治療を受けようとする者に医療費の助成が始まった。

平成 22 年度から肝炎アナログ製剤治療が新たに医療費の助成となった。

青森市を含む東青地域を中心に県内各地域からの申請書類の受付及び相談業務を行っている。

平成 26 年度からインターフェロンフリー治療が新たに医療費助成の対象となった。

肝炎治療受給者証新規申請件数

(令和 3 年 3 月 31 日現在)

年度	新規申請	内 訳				
		インターフェロン治療	核酸アナログ製剤治療	3 剤併用治療	インターフェロンフリー治療	インターフェロンフリー治療(再治療)
2 年度	58	0	23	0	35	0
元年度	65	0	20	0	44	1
30 年度	99	0	27	0	67	5
29 年度	109	0	24	0	71	14
28 年度	163	0	37	1	120	5

9 組織の育成

(1) 保健協力員連絡会に関すること

ア 目的

東青地域県民局地域健康福祉部保健総室内に、東地方保健協力員連絡会を設置し、保健協力員活動の活性化と地域住民の健康水準の向上を図る。

イ 実施状況

従来実施してきた研修会の開催が、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止の観点から開催困難となり、コロナ渦の中で、市町村の保健協力員活動時に活用することと、日常生活でのマスク着用の住民への普及啓発を目的として、保健協力員マスクを作製し、管内前保健協力員に配布した。

会議名	開催年月日	場所	内 容	参加人員
第一回・第二回役員会	令和 2 年 6 月 12 日(金) 10:00~11:30	東地方保健所	議事 (1) 東地方保健協力員連絡会役員体制について (2) 令和元年度東地方保健協力員連絡会事業実施状況 (3) 令和 2 年度東地方保健協力員連絡会事業計画 ①事業実施計画案および予算案 ②総会、研修会案 (4) その他	12 人
	令和 3 年 3 月 書面開催		議事 (1) 令和 2 年度東地方保健協力員連絡会事業報告 (2) 令和 2 年度東地方保健協力員連絡会事業収支報告 (3) 令和 3 年度東地方保健協力員連絡会事業計画案	6 人 役員のみ

ウ 保健協力員人数

単位：人

年度	合計	青森市	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町
令和2年度	296	88	74	35	21	78

(2) 食生活改善推進員の養成及び育成

ア 目的

地域における健康づくり及び食生活改善を推進する指導的人材を育成するため、健康づくり支援者（ヘルスサポーター）となるボランティアリーダー等の人材育成に努める。

イ 実施状況

事業名	開催年月日	場 所	事 業 内 容	参加人員
研総 修会 会・ 会	—	—	【総会】書面開催 【研修会】中止 ※コロナウイルス感染拡大の影響による	—
合 同 料 理 講 習 会	—	—	中止 ※コロナウイルス感染拡大の影響による	—
理 事 会	令和2年 4月14日(火) 令和3年 3月25日(木)	東地方 保健所 2階 会議室	・令和2年度総会・研修会について ・会長伝達事項（県理事会報告等） ・事業計画について ・令和2年度管内食改事業進捗状況について ・令和3年度総会・研修会について 等	(延25名)

ウ 食生活改善推進員会員数

年度	合 計	平内町	今別町	外ヶ浜町			蓬田村
				蟹田地区	平館地区	三厩地区	
令和2年度	114	47	11	19	12	18	7

10 地域保健関係者研修

(1) 目的

多様化、高度化する保健ニーズを有する地域住民がより主体的に健康を高め、地域で安心して生活できるよう、その支援者である地域保健関係者が健康な地域づくりを目指して専門的知識や技術を習得し、生活者重視の視点にたった保健福祉サービスが提供できるように、地域保健関係者の資質の向上及び関係者間の連携を強化することを目的とする。

(2) 対象

- ア 地域健康福祉部職員及び町村の保健・医療・福祉関係職員
- イ 研修目的に応じた、保健・医療・福祉分野以外の関係者及び住民組織、ボランティア団体等

(3) 実施状況

回数	年月日	研修内容		対象者	受講者数				
		テーマ	講師等		健	市	関	他	計
1	R2. 7. 29	(給食施設栄養管理研修会・市町村栄養改善業務支援事業研修会) フレイル対策について	県立保健大学 准教授 清水 亮 氏 東地方保健所 主幹 二唐 崇	管内給食施設(病院・介護保険施設・社会福祉施設) 栄養士、調理師、調理員、東青地域行政栄養士、保健師	5	5	10	0	20
1	R2. 8. 7	(新任保健師研修①) 子どもの成長発達と保健師に期待すること	青森県立中央病院総合周産期母子医療センター 成育科 部長 網塚 貴介 氏	管内町村及び青森市保健師	1	5	0	0	6
	R2. 8. 7	(新任保健師研修①) COVID-19の特徴を知って賢く対応しよう	青森県立保健大学看護学科特任教授 大西 基喜 氏	管内町村及び青森市保健師、所内職員	12	5	0	0	17
1	R2. 8. 16	新型コロナウイルス感染症対策に関する研修会	青森県立中央病院感染管理認定看護師 赤平 恵美 氏 三沢市立中央病院感染管理認定看護師 野々宮 悦子 氏	管内町村保健師 管内医療機関 管内障害者支援施設、高齢者施設、保育所等の職員	7	7	32	0	46
1	R2. 9. 16	(東青圏域災害実務研修) 本部運営技術演習	保健所職員	地域健康福祉部職員 市町村の保健医療活動調整関係職員及び防災担当職員	10	15	0	0	25
1	R2. 11. 13	(新任保健師研修②) あすなる療育福祉センターの概要と保健師に期待すること	あすなる療育福祉センター 診療部 診療部長 青木 恵 氏	管内町村及び青森市保健師	1	5	0	0	6
1	R3, 2, 12	(新任保健師研修③) 関係機関の連携の実際と行政保健師に知ってほしいこと・望むこと～MSWの視点から～	青森県立保健大学健康科学部社会福祉学科 助手 葛西 孝幸 氏	管内町村及び青森市保健師	1	4	0	0	5

5	R2. 7. 9 R2. 9. 10 R2. 10. 15 R2. 12. 16 R3. 2. 17	青地域橋渡しネットワーク推進連絡会役員会	なし	役員、東青地域の各医療機関連携室担当者等	延べ 10	0	延べ 35	0	45
1	R3. 3. 12	①新型コロナウイルス感染症～わかったこと、わからないこと～ ②国保の糖尿病性重症化予防の取組	①東地方保健所 所長 立花 直樹 ②高齢福祉保険課 主事 三戸 あさみ	管内町村及び青森市リーダー保健師、栄養士	4	7	0	1	12
合 計					51	53	77	1	182

※ 受講者数の表記 健：地域県民局、市：市町村、関：その他関係機関、他：その他（地域住民等）

1 1 医療技術者等研修

(1) 目的

看護学生及び栄養士学生が、保健医療福祉行政の中の保健所の機能及び役割、保健所の業務内容について、理解を深めることができるようにする。

また、講義・演習・体験（見学実習等）を通して、看護学生においては、保健所保健師の機能や役割を理解し、地域看護活動の展開に必要な知識、技術、態度の習得、栄養士学生においては、管理栄養士の役割や業務、他職種との連携について理解し、栄養改善業務の実践に必要な知識、技術、態度の習得を図るものである。

種別	実習名	学校名等	実習期間	人数
看護 学生	地域看護学 実 習	青森中央学院大学看護学部 4年次	新型コロナウイルス感染 拡大の影響により中止	—
		青森県立保健大学健康学部看護学科 4年次	新型コロナウイルス感染 拡大の影響により中止	—
栄養 学生	公衆栄養学 臨地実習	青森県立保健大学健康学部栄養学科 3年次	新型コロナウイルス感染 拡大の影響により中止	—
		東北女子大学家政学部健康栄養学科 4年次	新型コロナウイルス感染 拡大の影響により中止 (学生の自主学習課題に 対し、情報提供を実施)	—

IV 試験検査課関係業務

1 食中毒・感染症原因菌検査及び苦情食品検査

県内で発生した食中毒・感染症の原因菌検査及び苦情食品検査を行った。

(1) 依頼者別事例数及び検体数

依頼先	地域県民局地域健康福祉部保健総室						八戸市 保健所	保健 衛生課	合計
	東青	中南	三八	西北	上北	下北			
件数	0	7	4	7	9	1	8	2	38
検体数	0	26	13	54	30	10	21	4	158

(2) 事例区分別件数及び検体数

	食中毒	感染症	規格検査	苦情食品	毒劇物	その他	合計
件数	11	27	0	0	0	0	38
検体数	86	72	0	0	0	0	158

(3) 月別事例数と検出された細菌及びウイルス等

月	事例数	検出された細菌・ウイルス等 (事例数)
4月	2	腸管出血性大腸菌 091 (2)
5月	3	腸管出血性大腸菌 091 (2)、検査中止/ノロウイルス (1)
6月	11	腸管出血性大腸菌 0157 (3)、カンピロバクター (1)、不検出 (7)
7月	5	腸管出血性大腸菌 0157 (1)、不検出 (4)
8月	4	腸管出血性大腸菌 0157 (1)、腸管出血性大腸菌 0121 (1)、不検出 (2)
9月	3	カンピロバクター (1)、不検出 (2)
10月	3	腸管出血性大腸菌 0157 (1)、不検出 (2)
11月	1	検査中止/毒きのこ (1)
12月	0	
1月	1	不検出 (1)
2月	1	検査中止/ノロウイルス (1)
3月	4	検査中止/ノロウイルス (2)、不検出 (2)
合計	38	

注) ノロウイルス及びサポウイルスの検査は、青森県環境保健センターで実施した。

検査中止/〇〇〇は、食中毒等の原因が〇〇〇と特定されたことにより、依頼公所から細菌検査中止要請があつて中止したもの。

2 結核菌感染の補助診断検査（クオンティフェロン検査）

「結核に係る健康診断インターフェロン γ 遊離試験（IGRA）検査実施要領」に基づき、接触者を対象として遊離インターフェロン γ （ガンマ）の測定を行った。
検査総数は404件であった。

依頼先	地域県民局地域健康福祉部保健総室						医療機関	合計
	東青	中南	三八	西北	上北	下北		
件数	0	187	73	52	80	12	0	404

3 流通食品・牛乳等検査

「青森県食品衛生監視指導計画」に基づき、県内6保健所で収去した食品を対象として、細菌検査、食品添加物検査、牛乳の成分規格検査、残留抗生物質検査を行った。

(1) 細菌検査

検査項目 検体	検査項目											備考
	一般細菌数	乳酸菌数	大腸菌群	E・coli	糞便系大腸菌群	サルモネラ属菌	腸炎ビブリオ	黄色ブドウ球菌	モノサイトゲネス	リステリア	寄生虫	
食肉、食肉製品	8	0	0	0	7	0	7	0	7	1	0	
冷凍食品	4	4	0	4	0	0	0	0	0	0	0	
アイスクリーム類、氷菓	8	8	0	8	0	0	0	0	0	0	0	
生食用鮮魚介類	9	0	0	0	0	0	0	9	0	0	0	
洋生菓子	16	16	0	16	0	0	0	0	16	0	0	大腸菌群陽性(6)
乳製品	3	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	
調理パン、弁当、そうざい(加熱処理)	13	13	0	0	13	0	0	0	13	0	0	
調理パン、そうざい(未加熱)	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	一般細菌数基準値超過(1)
給食(学校・社会福祉施設(加熱処理))	8	8	0	0	8	0	0	0	8	0	0	
給食(学校・社会福祉施設(未加熱処理))	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
生めん、ゆでめん	19	19	0	8	11	0	0	0	11	0	0	
漬物(浅漬)	19	0	0	0	19	0	0	19	0	0	0	
魚肉ねり製品	3	0	0	3	0	0	0	0	0	0	0	
清涼飲料水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
計	114	72	0	39	58	0	7	28	55	4	0	検査数合計 263

(2) 食品添加物検査

検体	検査項目	ソ	エ	亜	サ	合	及	安	備考
		ル	パ	硝	ッ	成	二	息	
		ビ	ラ	酸	カ	着	比	香	
		ン	オ	根	リ	色	亜	酸	
		酸	キ		ン	料	硫	黄	
			ス		塩		化		
			テ		類		酸		
			ル				硫		
			安				塩		
			息				類		
			香				黄		
			酸						
漬物又はみそ	0	0	0	0	0	0	0	0	
菓子	12	12	0	0	0	0	0	0	
清涼飲料水、シロップ、しょう油	4	0	4	0	0	0	0	4	
魚介類乾製品	1	1	0	0	0	0	0	0	
すじこ、たらこ、いくら	5	0	0	5	0	5	0	0	
食肉製品	7	0	0	7	0	0	0	0	使用表示のなかった亜硫酸根の検出(1)
野菜水煮、煮豆、干しいも、干し柿	3	0	0	0	0	0	3	0	
計	32	13	4	12	0	5	3	4	検査数合計 41

(3) 牛乳の成分規格検査

収去した市販牛乳7検体の成分規格検査（無脂乳固形分、乳脂肪分、比重、酸度、一般細菌数、大腸菌群）を実施した。

結果は全て規格基準に適合していた。

(4) 残留抗生物質検査

鶏卵8検体、牛乳7検体について残留抗生物質検査を行った。

鶏卵は、テトラサイクリン系、ペニシリン系、アミノグリコシド系、マクロライド系、各系統の抗生物質について検査した結果、全て陰性であった。

牛乳は、テトラサイクリン系抗生物質、ベンジルペニシリンについて検査した結果、全て陰性であった。

4 HIV検査

診断用キットを使用したHIV迅速検査を行った。

検査総数 13 件であった。

5 食品衛生外部精度管理検査

「青森県食品衛生検査施設等における業務管理に関する要綱」に基づき、食品衛生外部精度管理調査に参加した。

	検査項目	評価
微生物学調査	一般細菌数測定検査	満足
	大腸菌群検査	満足
	腸内細菌科菌群検査	満足
	E. coli 検査	満足
	黄色ブドウ球菌検査	満足
	サルモネラ属菌検査	満足
理化学調査	食品添加物検査Ⅰ（着色料の定性）	満足
	食品添加物検査Ⅱ（ソルビン酸）	満足

V 健康危機管理関係・
青森県口腔保健支援
センター関係業務

1 健康危機管理

食中毒、毒物・劇物、飲料水、医薬品、感染症その他何らかの原因により発生する県民の健康、生命の安全を脅かす事態が発生し、又は発生するおそれがある場合は、関係法令並びに「青森県危機管理指針」に従って対応する。

なお、個別マニュアル等において別途、健康危機管理体制や初動対応等を定めている場合は、当該個別マニュアル等の規定に従うこととしている。

(1) 健康危機管理に係る組織

ア 地域健康福祉部内対策会議

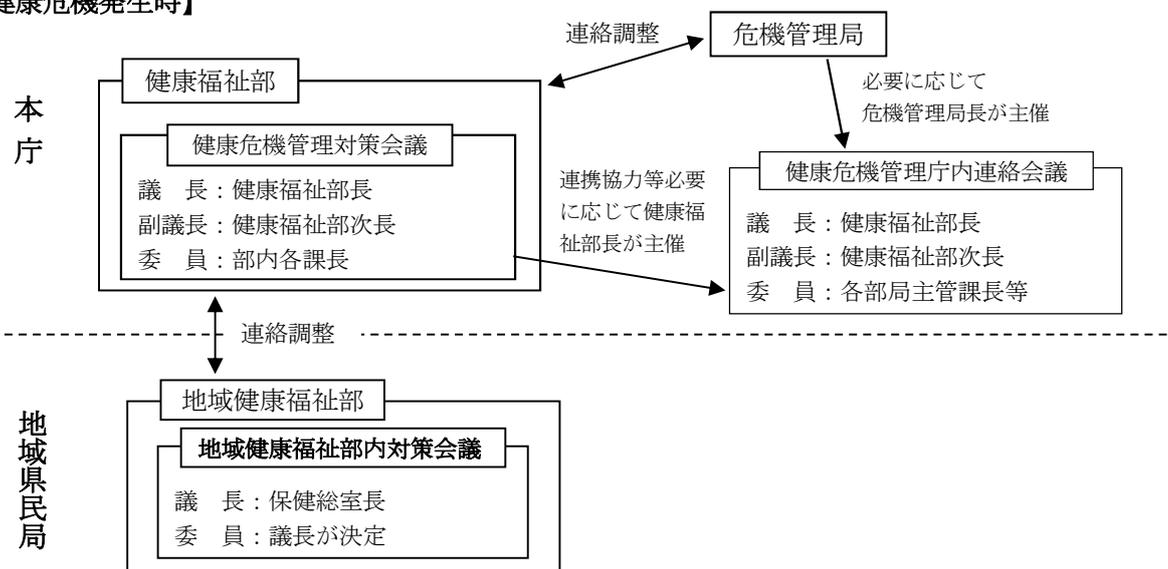
健康福祉部長から設置の指示があった場合、又はその所管する区域内で健康危機が発生し、健康被害の規模その他の状況により健康危機に係る応急対策を検討する必要があると認めた場合、保健総室長が設置する。

イ 現地危機対策本部

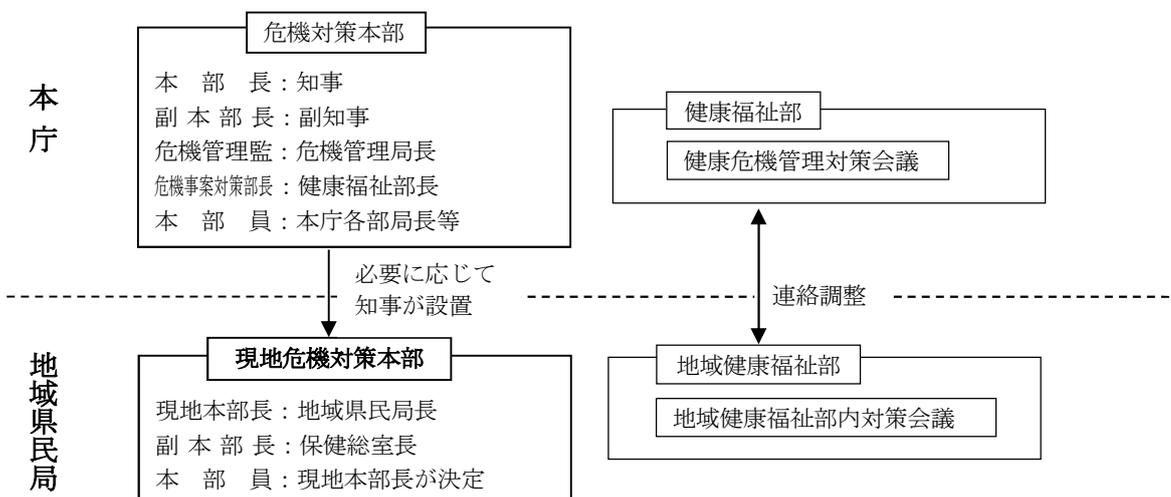
危機対策本部が設置され、本部長(知事)が必要と認めた場合、現地に設置される。

(2) 健康危機管理に係る組織図

【健康危機発生時】



【危機対策本部設置時】



2 新型コロナウイルス感染症の対応状況

(1) 管内のこれまでの検査状況・陽性者確認状況（令和3年3月31日現在）

	検査件数※	陰性者数	陽性者数
東地方保健所	241	226	13
県全体	25,561	24,525	1,036

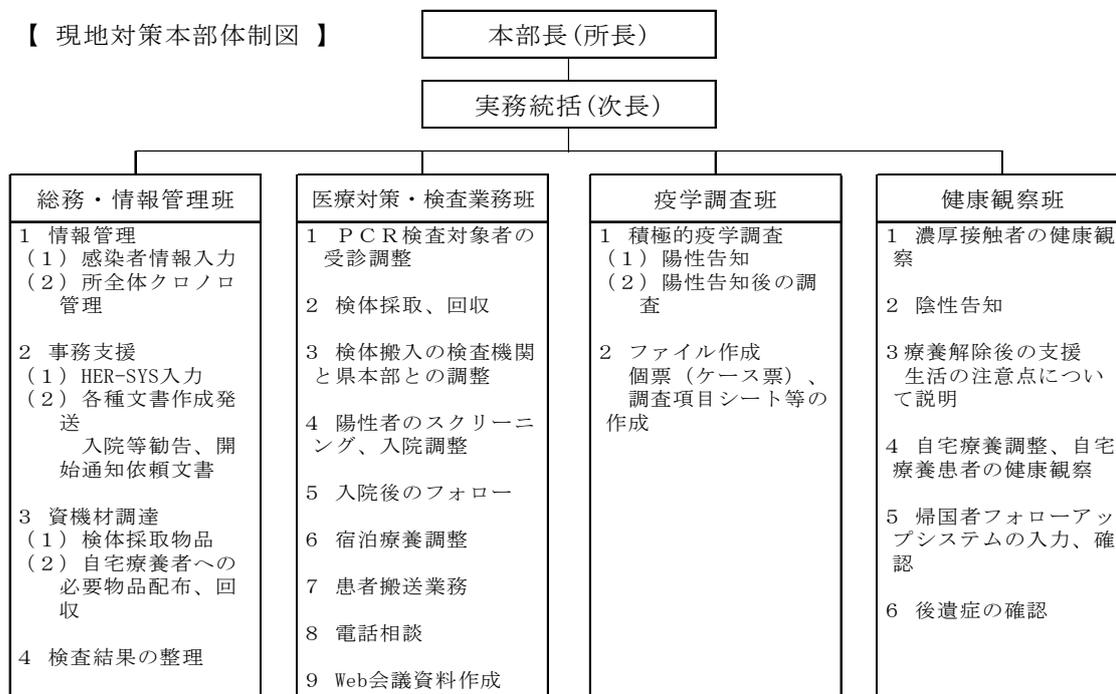
※ 他管内で検査した分を含む。

(2) 新型コロナウイルス感染症への対応体制

ア 東青地域保健医療現地調整本部の設置

保健総室（東地方保健所）に保健医療現地調整本部を設置し、所員全員は次のいずれかの作業班に属し、PCR検査対象者の受診調整、積極的疫学調査、濃厚接触者の健康観察及び情報管理等の業務に従事し、新型コロナウイルス感染症対策にあたっている。

【現地対策本部体制図】



※ クラスター発生時等現地調整本部の業務量の増加に応じて、地域健康福祉部他総室をはじめ地域県民局全体で業務支援を行う体制を構築している。

イ 相談体制

受診・相談センター（東地方保健所）に専門の電話相談員を配置し対応している。
 相談件数 417件（令和3年3月31日現在）

(3) 医療対策会議の開催

圏域の青森県立中央病院を始めとする14医療機関、青森市医師会及び行政（保健医療調整本部、青森市保健所及び東地方保健所）で構成する医療対策会議を開催し、地域の感染状況に応じた医療体制の構築について協議し医療体制の整備を図っている。

<会議開催状況>

令和2年6月10日、10月9日、12月11日

(4) 医療体制

ア 帰国者・接触者外来の設置（令和3年3月31日現在、7医療機関・非公表）

帰国者・接触者外来は、受診・相談センター（東地方保健所）で受け付けた相談のうち、受診が必要と判断された疑い例について、受診手順を理解した状態で疑い例が受診することで十分な感染防止を行うという趣旨から一般への公表は行っていない。

イ 入院医療機関（令和3年3月31日現在）

	重点医療機関（2医療機関39床）	協力医療機関（4医療機関9床）
施設要件	<ul style="list-style-type: none"> ① 病棟単位で患者・疑い患者用の病床を確保していること。 ② 確保病床において、酸素投与及び呼吸モニタリングが可能であること。 ③ 療養病床ではないこと。（一般病床への種別変更を受け入れること。） 	<ul style="list-style-type: none"> ① 疑い患者専用の個室を設定して、疑い患者を受け入れるための病床を確保していること。 ② 確保病床において、酸素投与及び呼吸モニタリングが可能であること。 ③ 疑い患者を受け入れるための病床は、個室であり、トイレやシャワーなど他の患者と独立した動線であること。 ④ 疑い患者に対して必要な検体採取が行えること。 ⑤ 療養病床ではないこと。（一般病床への種別変更を受け入れること。）
受入患者要件	<ul style="list-style-type: none"> ① 既にPCR検査又は抗原検査で陽性と確定している患者 ② 新型コロナウイルスに感染している恐れがあると医師が認めた、入院医療が必要な患者 	新型コロナウイルスに感染している恐れがあると医師が認めた、入院医療が必要な患者
機能要件	重点医療機関の管理者は、都道府県に対してあらかじめ日々の対象となる患者の受入可能数と最大受入可能数を示し、都道府県調整本部から入院患者受け入れ要請があった場合、原則速やかに受け入れること。	重点医療機関の機能要件と同じ
指定	<ul style="list-style-type: none"> ① 指定にあたっては、都道府県によって常時指定する医療機関、感染の流行状況に応じて柔軟に指定・解除を行う医療機関を設けることができ、都道府県が書面で通知する。都道府県は重点・協力医療機関を指定した場合には厚生労働省に報告する。 ② 重点・協力医療機関の指定の方針については、都道府県で設置する協議会に諮った上で、厚生労働省に報告して決定すること。都道府県は、G-MIS等で運用状況を確認し、必要に応じ協議会に諮った上で、厚生労働省に報告して方針を見直す。 	

(5) 透析医療機関及び精神病院に対する感染対策講習会の実施

透析医療機関及び精神病院において新型コロナウイルス感染症が発生した場合、治療が困難な状況になることから、透析医療機関及び精神病院における感染予防を徹底することとし、現地で个人防护具の着脱訓練を含む感染対策研修を実施した。

ア 透析医療機関（5医療機関）

北川泌尿器科クリニック、あおもり腎透析・泌尿器科クリニック、村上新町病院、鷹揚郷腎研究所青森病院

イ 精神病院（5医療機関）

芙蓉会病院、生協さくら病院、浅虫温泉病院、青い森病院、慈恵会病院

(6) 社会福祉施設への感染予防対策の指導

新型コロナウイルス感染症の感染予防のため、希望する管内の社会福祉施設（8施設）に対し感染予防対策の指導を行った。

2 青森県口腔保健支援センター

(1) センター業務開始の経緯

平成 23 年 8 月 10 日に公布及び施行された「歯科口腔保健の推進に関する法律」第 15 条により、都道府県、保健所を設置する市及び特別区が口腔保健支援センターを設置できるようになったことを受け、平成 26 年 4 月 1 日に東地方保健所が青森県口腔保健支援センター業務を開始した。

(2) センターの業務

同法第 7 条から第 11 条までに規定する施策の実施のため、歯科医療等業務に従事する者等に対する情報の提供、研修の実施、その他の支援を行う。

(3) 令和 2 年度の業務実施状況

以下の表のとおり。

事業等	内 容
① 歯周病等予防キャンペーン	○センターオリジナルポスターの作製 テーマ 「歯周病から守ろう自分の歯（中学生以上対象）」（A 2 判 2,000 枚） 「むし歯から守ろう自分の歯（小学生以下対象）」（A 2 判 500 枚、 A 4 判 500 枚） 配布先： 県内市町村、県内保健所、県内教育機関（小・中・高・特別 支援学校・大学・専門学校等）、県歯科医師会会員、県歯科医 師会、県歯科衛生士会他
② フッ化物歯面塗布推進事業	令和 2 年度フッ化物歯面塗布推進事業を三戸地方保健所管内の 2 町に実 施予定のところ、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から同事業を中止 するに至った。 なお、実施予定であった三戸町の 3 園の職員に、代替え事業としてフッ化 物歯面塗布の重要性について説明をした。
③ 訪問歯科保健指導事業	○訪問歯科保健指導対応状況（14 件） 学校関係： 6 件 各種団体： 1 件 事業所： 4 件 保育園・認定こども園 3 件
④ 相談業務	○歯と口の健康に関する健康相談等を随時センター内において実施

<p>⑤青森県口腔保健支援センター運営委員会</p>	<p>【令和2年度 運営委員会】 開催日：令和3年3月2日（火） 開催場所：ホテルJALシティ青森 2階「アイリス」 出席者：委員9名、事務局7名 報告事項「令和2年度の事業実績報告について」 「令和3年度の事業実施計画について」 意見交換「今後の青森県口腔保健支援センターの役割等について」</p>
<p>⑥市町村の歯科口腔保健の推進に関する支援</p>	<p>○青森県口腔保健支援センターの市町村支援の一環として、市町村の担当者から歯科対策の現状について聞き取りを行い、歯科口腔保健施策について歯科専門職の立場から助言を行う支援業務</p> <p>【市町村・実施日】 外ヶ浜町 令和2年 8月27日（木） 中泊町 令和2年 9月 8日（火） 十和田市 令和2年 9月17日（木） 横浜町 令和2年10月27日（火）</p>
<p>⑦多職種連携による食育推進事業</p>	<p>○多職種連携による食育推進事業 歯科医師、歯科衛生士、管理栄養士、養護教諭、栄養教諭等の関係職種が連携し、各専門分野の知識を生かし、学童期を対象とした「食育と歯科保健」に関する教育媒体を検討、作製することにより、各分野の連携を深め、それぞれの分野における効果的な健康教育の取組を推進する。 また、完成した教育媒体を県内の教育機関、関係機関・団体等に配布し、普及を図り、8020運動を推進する。</p> <p>○「食育と歯科保健」に関する教育媒体（CD-ROM）の配布 （小学校低学年・中学年・高学年対象）</p> <p>○作製部数：600部</p> <p>○配布先：小学校、教育委員会、関係機関・団体等</p> <p>○教育媒体活用について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校で歯科保健指導教材として活用する。 ・保健医療関係者等の各種研修会で活用する。
<p>⑧幼児間食摂取状況等調査及び各市町村における歯と口の健康づくりに関する取組状況調査</p>	<p>○県内市町村に調査を依頼、回収された調査票を集計・分析した結果を市町村へ送付・還元した。</p>
<p>⑨その他事業</p>	<p>○機関誌「あすなる倶楽部」執筆依頼</p> <p>○「令和2年度長寿な生活調査・発信事業委員会」の編集協力（あすなる倶楽部の編集委員）の依頼 どちらも年4回：Vol. 112～Vol. 115を執筆した。</p> <p>【東地方保健所「8020モニタリング」の集計・分析・報告】 令和3年1月下旬（作業期間） 管内4町村の地域住民の現在歯数、年齢、性別等を把握するため、4町村のデータをセンター職員が集計・分析後、報告書を作成し、4町村に提供した。</p>

福 祉 総 室

(東地方福祉事務所)

I 福祉調整課関係業務

1 特別障害者手当・障害児福祉手当・福祉手当

(1) 特別障害者手当等の給付

特別障害者手当等は、在宅の重度障害者（児）からの申請に基づき支給される。

県が設置する各地方福祉事務所における特別障害者手当等業務は平成25年4月1日から当総室に集約され、当総室において市部を除く県内全町村分の事務処理を行っている。

令和2年度の特別障害者手当申請件数は92件で、うち70件が認定となり、22件が却下となっている。また、障害児福祉手当申請件数は24件で、うち15件が認定となり、9件が却下となっている。

なお、市部については各市が所管しており、当総室が所管する特別障害者手当受給資格者数（令和3年4月1日現在）は下表のとおりである。

特別障害者手当等の受給者数(単位:人)

令和3年4月1日現在

市町村名		特別障害者手当	障害児福祉手当	福祉手当	計
東青地域	青森市				
	平内町	11	4	1	16
	今別町	3	0	0	3
	蓬田村	0	1	0	1
	外ヶ浜町	1	0	0	1
中南地域	弘前市				
	黒石市				
	平川市				
	西目屋村	4	1	0	5
	藤崎町	22	4	0	26
	大鱒町	11	3	1	15
	田舎館村	12	4	0	16
	板柳町	33	8	1	42
三八地域	八戸市				
	三戸町	19	4	0	23
	五戸町	75	11	0	86
	田子町	9	3	0	12
	南部町	17	9	0	26
	階上町	26	3	0	29
	新郷村	8	2	0	10
	おいらせ町	24	20	0	44
西北地域	五所川原市				
	つがる市				
	鶴田町	16	7	0	23
	中泊町	7	0	0	7
	鱒ヶ沢町	16	4	0	20
	深浦町	6	2	0	8

市町村名		特別障害者手当	障害児福祉手当	福祉手当	計
上北地域	十和田市				
	三沢市				
	野辺地町	5	5	0	10
	七戸町	25	8	0	33
	六戸町	7	10	0	17
	横浜町	6	1	0	7
	東北町	25	5	1	31
	六ヶ所村	7	5	0	12
下北地域	むつ市				
	大間町	5	3	0	8
	東通村	0	5	0	5
	風間浦村	2	0	0	2
	佐井村	5	0	0	5
計		407	132	4	543

【参考】

- ① 特別障害者手当（対象者・支給要件）
20歳以上であって、政令で定める程度の障害の状態にあるため、日常生活において常時特別の介護を必要とするような在宅の重度の障害者で東青地域県民局長の認定を受けた者
- ② 障害児福祉手当（対象者・支給要件）
20歳未満であって、政令で定める程度の障害の状態にあるため、日常生活において常時の介護を必要とするような在宅の障害者で東青地域県民局長の認定を受けた者
- ③ 福祉手当
昭和61年の国民年金法一部改正法施行の際、20歳以上の従来の福祉手当受給資格者であって、特別障害者手当等及び障害基礎年金のいずれも支給を受けることができない者

2 特別児童扶養手当等

(1) 特別児童扶養手当の給付

特別児童扶養手当は、精神や身体に障害を有する児童を監護、養育している者からの申請に基づき支給される。

県が設置する各地方福祉事務所における特別児童扶養手当業務は平成 25 年 4 月 1 日から当総室に集約され、当総室において県内全市町村分の事務処理を行っている。令和 2 年度の特別児童扶養手当申請件数は 525 件で、うち 515 件が認定となり、10 件が却下となっている。

なお、県内の市町村別受給資格者数（令和 3 年 4 月 1 日現在）は下表のとおりである。

特別児童扶養手当受給資格者数（令和 3 年 4 月 1 日現在）

単位：人

市町村名		受給資格者数	市町村名		受給資格者数
東青地域	青森市	873	上北地域	十和田市	101
	平内町	15		三沢市	84
	今別町	7		野辺地町	30
	蓬田村	6		七戸町	26
	外ヶ浜町	10		六戸町	31
中南地域	弘前市	516		横浜町	7
	黒石市	102		東北町	41
	平川市	102	六ヶ所村	16	
	西目屋村	5	下北地域	むつ市	239
	藤崎町	53		大間町	17
	大鰐町	16		東通村	22
	田舎館村	24		風間浦村	2
	板柳町	33		佐井村	5
三八地域	八戸市	606	県 計		3,643
	三戸町	18			
	五戸町	38			
	田子町	15			
	南部町	29			
	階上町	34			
	新郷村	2			
	おいらせ町	68			
西北地域	五所川原市	221			
	つがる市	117			
	鶴田町	51			
	中泊町	22			
	鱒ヶ沢町	24			
	深浦町	15			

(2) 児童扶養手当の給付

児童扶養手当は、父又は母と生計を同じくしていない児童を養育している者等からの申請に基づき支給される。

県が設置する各地方福祉事務所における児童扶養手当業務は平成25年4月1日から当総室に集約され、当総室において市部を除く県内全町村分の事務処理を行っており、令和元年度の児童扶養手当申請件数は301件で、300件が認定、却下が1件となっている。

なお、市部については各市が所管しており、当総室が所管する児童扶養手当受給資格者数（令和3年4月1日現在）は下表のとおりである。

児童扶養手当の受給資格者数（単位：人）

令和3年4月1日現在

市町村名		新法対象者	旧法対象者	計	市町村名		新法対象者	旧法対象者	計
東青地域	青森市				上北地域	十和田市			
	平内町	93	0	93		三沢市			
	今別町	26	0	26		野辺地町	144	0	144
	蓬田村	27	0	27		七戸町	147	0	147
	外ヶ浜町	52	0	52		六戸町	102	0	102
中南地域	弘前市				横浜町	41	0	41	
	黒石市				東北町	175	0	175	
	平川市				六ヶ所村	99	0	99	
	西目屋村	16	0	16	下北地域	むつ市			
	藤崎町	165	0	165		大間町	84	0	84
	大鰐町	85	0	85		東通村	81	0	81
	田舎館村	66	0	66		風間浦村	16	0	16
	板柳町	146	0	146		佐井村	11	0	11
三八地域	八戸市				県計	2,905	0	2,905	
	三戸町	96	0	96					
	五戸町	179	0	179					
	田子町	47	0	47					
	南部町	179	0	179					
	階上町	151	0	151					
	新郷村	12	0	12					
	おいらせ町	282	0	282					
西北地域	五所川原市								
	つがる市								
	鶴田町	118	0	118					
	中泊町	110	0	110					
	鱒ヶ沢町	90	0	90					
	深浦町	65	0	65					

(注) 旧法対象者：児童扶養手当の一部を改正する法律（昭和60年6月7日法律第48号）による改正前の児童扶養手当法第6条の規定による認定を受けている者

3 母子・父子・寡婦福祉

(1) 母子及び父子並びに寡婦福祉の概要

東津軽郡管内の母子家庭及び父子家庭並びに寡婦の自立助長を図るため、相談事業等を実施し、個々の家庭状況に応じた支援や、母子父子寡婦福祉資金の貸付、母子父子自立支援プログラム策定等事業の実施による就労支援を行っている。

(2) 相談支援等の実施状況

当総室においては母子・父子自立支援員が1名配置され、相談及び総合的な支援等を行っている。

令和2年度の相談件数は2,040件であり、その内訳は経済的支援等が1,755件(86.0%)、児童173件(8.5%)、生活一般111件(5.4%)となっている。生活一般のうち40.5%が就労相談であり、児童扶養手当受給者等に対して収入や生活の安定のために必要な情報提供と就労支援等を行っている。また、母子父子自立支援プログラム策定事業等による総合的かつ継続的な支援により、令和2年度におけるケースに対して接した相談延べ面接回数は2,888件となっている。

(3) 母子及び父子並びに寡婦福祉資金の貸付・償還状況

令和2年度の母子及び父子並びに寡婦福祉資金の貸付件数は44件で、貸付総額は24,343,400円となっており、その内訳は、就学支度資金13件、修学資金30件、生活資金1件となっている。

償還状況では、令和2年度現年度分の償還率99.38%、過年度分の償還率は25.72%で、全体の償還率は87.25%となっており、県平均48.11%を39.14ポイント上回っている。

[表] 令和2年度貸付金額 千円、() 内件数

資金名	修学	生活	就学支度	計
母子	17,152(26)	309(1)	3,117(10)	20,578(37)
父子	2,436(4)	0	1,330(3)	3,766(7)
寡婦	0	0	0	0
合計	19,588(30)	309(1)	4,447(13)	24,344(44)

(4) 母子父子自立支援プログラム策定等事業の実施状況

東津軽郡管内の児童扶養手当受給者を対象として、母子父子自立支援プログラム策定等事業が実施されているが、令和2年度は1名の申し込みがあった。

この1名については、青森公共職業安定所との連携(生活保護受給者等就労支援事業)のうえ自立支援プログラムを策定したものの、就労につながらず、支援終了となった。

(5) 母子家庭自立支援給付金及び父子家庭自立支援給付金事業について

母子家庭の母又は父子家庭の父に対して主体的な能力開発を支援するもので、指定講座を終了した場合に給付金を支給することにより生活の負担の軽減を図り、資格取得等を容易にすることを目的とする青森県母子家庭等自立支援給付金事業(自立支援教育訓練給付金事業)を行っているが、令和2年度は東津軽郡管内では対象者がいなかった。

ア 母子・父子自立支援員相談実施状況

① 年度別相談実施状況（延べ件数）

（単位：件）

	平成29年度			平成30年度			令和元年度			令和2年度				
	母子	父子	計	母子	父子	計	母子	父子	計	母子	父子	計		
生活一般														
住 宅	3	0	3	2	0	2	2	0	2	10	0	10		
医療・健康	病気	9	0	9	4	0	4	4	0	4	8	1	9	
	障害	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0	1	1	
	その他	1	0	1	1	0	1	0	0	0	1	0	1	
家庭紛争	夫等の暴力	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	その他	0	0	0	2	0	2	1	0	1	1	0	1	
就 労	求職・転職	164	1	165	67	1	68	35	0	35	17	0	17	
	資格取得・職業訓練	149	3	152	59	3	62	26	1	27	16	2	18	
	職場の悩み	3	0	3	4	0	4	0	0	0	4	0	4	
	その他	1	0	1	1	0	1	2	0	2	6	0	6	
結 婚	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
養育費	6	1	7	2	1	3	18	1	19	17	0	17		
借 金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
その他	217	32	249	192	32	224	10	0	10	25	1	26		
小 計	554	37	591	334	37	371	99	2	101	106	5	111		
児 童	養 育	保育所入所	3	0	3	0	0	4	0	4	1	0	1	
		虐待	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
		その他	13	1	14	10	1	11	24	1	25	13	6	19
	教 育	51	5	56	39	5	44	70	8	78	118	20	138	
	非 行	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	就 職	19	0	19	11	0	11	9	0	9	12	1	13	
	その他	19	1	20	15	1	16	28	1	29	2	0	2	
小 計	105	7	112	75	7	82	135	10	145	146	27	173		
経済的支援・生活援護	母子福祉資金	貸付	91	8	99	81	8	89	83	13	96	199	30	229
		償還	1,171	0	1,171	1,127	0	1,127	1,131	8	1,139	1,202	14	1,216
	寡婦福祉資金	貸付	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0
		償還	50	0	50	40	0	40	37	0	37	36	0	36
	公的年金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	児童扶養手当	31	0	31	29	0	29	33	0	33	29	0	29	
	生活保護	2	0	2	0	0	0	0	0	0	2	1	3	
	税	0	1	1	0	1	1	2	0	2	4	0	4	
	その他	3	3	6	4	3	7	205	28	233	212	26	238	
	小 計	1,348	12	1,360	1,282	12	1,294	1,491	49	1,540	1,684	71	1,755	
その他	売店設置（法第25条）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	たばこ販売（法第26条）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母子、父子世帯向公営住宅（法第27条、第31条の8）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母子、父子福祉施設の利用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	母子生活支援施設（児童福祉法第38条）	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	
小 計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1		
合 計	2,007	56	2,063	1,691	56	1,747	1,725	61	1,786	1,937	103	2,040		

② 市町村別相談実施状況（令和2年度延べ件数）

（単位：件）

			青森市他	平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	東郡計	合計
生活一般	住 宅		1	3	0	1	5	9	10
	医療・健康	病気	3	5	0	0	1	6	9
		障害	0	1	0	0	0	1	1
		その他	0	0	0	1	0	1	1
	家庭紛争	夫等の暴力	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	1	1	1
	就 労	求職・転職	1	15	0	0	1	16	17
		資格取得・職業訓練	0	14	0	3	1	18	18
		職場の悩み	1	1	1	1	0	3	4
		その他	4	2	0	0	0	2	6
	結 婚		0	0	0	0	0	0	0
	養育費		0	11	1	0	5	17	17
	借 金		0	0	0	0	1	1	1
	その他		10	10	0	4	2	16	26
小 計		20	62	2	10	17	91	111	
児 童	養 育	保育所入所	0	1	0	0	0	1	1
		虐待	0	0	0	0	0	0	0
		その他	0	10	1	1	7	19	19
	教 育		4	78	9	19	28	134	138
	非 行		0	0	0	0	0	0	0
	就 職		1	7	1	3	1	12	13
	その他		0	1	0	0	1	2	2
	小 計		5	97	11	23	37	168	173
経済的支援・生活保護	母子福祉資金	貸付	8	145	11	26	39	221	229
		償還	528	250	54	297	87	688	1,216
	寡婦福祉資金	貸付	0	0	0	0	0	0	0
		償還	24	0	11	0	1	12	36
	公的年金		0	0	0	0	0	0	0
	児童扶養手当		17	11	0	1	0	12	29
	生活保護		1	1	0	0	1	2	3
	税		0	1	0	0	3	4	4
	その他		3	108	32	34	61	235	238
小 計		581	516	108	358	192	1,174	1,755	
そ の 他	売店設置（法第25条）		0	0	0	0	0	0	0
	たばこ販売（法第26条）		0	0	0	0	0	0	0
	母子、父子世帯向公営住宅（法第27条、第31条の8）		0	0	0	0	0	0	0
	母子、父子福祉施設の利用		0	0	0	0	0	0	0
	母子生活支援施設（児童福祉法第38条）		0	0	0	0	1	1	1
	小 計		0	0	0	0	1	1	1
合 計		606	675	121	391	247	1,434	2,040	

イ 母子寡婦福祉資金年度別償還状況

① 母子福祉資金

(単位:円)

区分		年度	30	元	2
現年度	調定額		9,512,610	10,209,603	11,243,837
	収入済額		9,382,563	10,056,817	11,172,605
	収入未済額		130,047	152,786	71,232
	償還率		98.63%	98.50%	99.37%
過年度	調定額		2,717,612	2,331,381	1,936,253
	収入済額		516,278	547,914	608,185
	不納欠損額		0	0	0
	収入未済額		2,201,334	1,783,467	1,328,068
	償還率		19.00%	23.50%	31.41%
合計	調定額		12,230,222	12,540,984	13,180,090
	収入済額		9,898,841	10,604,731	11,780,790
	不納欠損額		0	0	0
	収入未済額		2,331,381	1,936,253	1,399,300
	償還率		80.94%	84.56%	89.38%
	県全体		48.92%	48.33%	48.04%

② 寡婦福祉資金

(単位:円)

区分		年度	30	元	2
現年度	調定額		468,360	332,340	332,340
	収入済額		468,360	332,340	332,340
	収入未済額		0	0	0
	償還率		100.00%	100.00%	100.00%
過年度	調定額		428,319	428,319	428,319
	収入済額		0	0	0
	不納欠損額		0	0	0
	収入未済額		428,319	428,319	428,319
	償還率		0.00%	0.00%	0.00%
合計	調定額		896,679	760,659	760,659
	収入済額		468,360	332,340	332,340
	不納欠損額		0	0	0
	収入未済額		428,319	428,319	428,319
	償還率		52.23%	43.69%	43.69%
	県全体		51.43%	51.34%	44.16%

③ 合計

(単位:円)

区分		年度	30	元	2
現年度	調定額		9,980,970	10,541,943	11,576,177
	収入済額		9,850,923	10,389,157	11,504,945
	収入未済額		130,047	152,786	71,232
	償還率		98.70%	98.55%	99.38%
	県全体		90.11%	90.08%	91.28%
過年度	調定額		3,145,931	2,759,700	2,364,572
	収入済額		516,278	547,914	608,185
	不納欠損額		0	0	0
	収入未済額		2,629,653	2,211,786	1,756,387
	償還率		16.41%	19.85%	25.72%
	県全体		6.74%	7.01%	7.81%
合計	調定額		13,126,901	13,301,643	13,940,749
	収入済額		10,367,201	10,937,071	12,113,130
	不納欠損額		0	0	0
	収入未済額		2,759,700	2,364,572	1,827,619
	償還率		78.98%	82.22%	86.89%
	県全体		49.03%	48.40%	48.11%

4 配偶者暴力相談支援関係

平成13年10月13日に「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律（DV防止法）」が施行されたことに伴い、平成14年4月から、婦人相談員1名が配置され、県内8か所に設置されている「配偶者暴力相談支援センター」の一機関として、配偶者からの暴力等に係る各種相談、情報提供等の支援業務を行っている。

令和2年度の相談の受付、処理状況は次のとおりである。

ア 経路別受付状況

	本人 自身	警察 関係	法務 関係	他の 婦人 相談 所	他の 婦人 相談 員	福 祉 事 務 所	他 の 相 談 機 関	社 会 福 祉 施 設 等	医 療 機 関	教 育 機 関	縁 故 者 ・ 知 人	そ の 他	計
新規	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5
再来	2	0	0	0	2	0	1	0	0	0	0	0	5
計	6	0	1	0	2	0	1	0	0	0	0	0	10

イ 相談手段別受付状況

	来所による相談			巡 回 ・ 出 張 相 談	電 話 相 談		そ の 他 手 紙 等	合 計
	来 所 指 示 等	外 国 人			夜 間 （ 17 時 以 降 ）			
実 人 員	2	0	0	0	8	0	0	10
相 談 延 べ 件 数	26	0	0	0	61	0	0	87

ウ 年齢階層別相談者数

18歳 未満	18～ 20歳 未満	20歳 代	30歳 代	40歳 代	50歳 代	60歳 以上	70歳 以上	不明	合計
0	0	0	1	2	1	2	0	4	10

エ 処理状況

処 理 済 実 人 員 (年 度 中)											指 導 延 べ 件 数 (年 度 中)	年 度 末 現 在 未 処 理 人 員		
婦 人 保 護 施 設 に 入 所	就 職 ・ 自 営	結 婚	家 庭 へ 送 還	福 祉 事 務 所 へ 移 送	婦 人 相 談 所 ・ 婦 人 相 談 員 へ 移 送	他 府 県 の 婦 人 相 談 所 ・ 婦 人 相 談 員 へ の 移 送	施 設 へ の 移 送	そ の 他 の 関 係 機 関 ・	助 言 ・ 指 導 の み	そ の 他		計	訪 問 調 査 延 べ 件 数	一 時 保 護
0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	10	87	0	0	0

II 保護課関係業務

生活保護

(1) 被保護世帯の実人員及び保護率（月平均）

生活保護法による管内の令和2年度被保護世帯数は299世帯、人員は353人、保護率は17.25%で、前年度に比べ、世帯数は17世帯減少、人員数は30人減少、保護率は0.94ポイント低下した。保護率を県全体・全国平均と比べると、県全体は23.42%、全国平均（令和3年3月）は16.40%で、管内は県全体より6.17%低いものの、全国平均よりは0.85%高くなっている。

(2) 被保護世帯の構成（月平均）

管内の令和2年度被保護世帯を世帯類型別にみると、「高齢者世帯」215世帯（構成比71.9%）、「その他世帯」37世帯（同12.4%）、「障害者世帯」30世帯（同10.0%）、「傷病者世帯」15世帯（同5.0%）、「母子世帯」2世帯（同0.7%）の順となっている。「高齢者世帯」の構成比を県全体・全国平均と比べると、県全体は63.2%、全国平均（令和3年3月）は55.8%で、管内は県全体より8.7%、全国平均より16.1%、それぞれ高くなっている。

一方、被保護世帯を労働力類型別にみると、「働いている者がいない世帯」281世帯（構成比94.0%）、「世帯主が働いている世帯」15世帯（同5.0%）、「世帯主は働いていないが、世帯員が働いている世帯」3世帯（同1.0%）の順となっている。「働いている者がいない世帯」の構成比を県全体・全国平均と比べると、県全体は91.2%、全国平均は85.6%で、管内は県全体より2.8%、全国平均より8.4%、それぞれ高くなっている。

(3) 保護申請の処理状況（年間）

管内の令和2年度申請件数は31件で、前年度より8件減少した。申請に対する処理の内容をみると、「開始」が16件（構成比51.6%）、「却下」が14件（同45.2%）で、「取下げ」は1件（同3.2%）だった。一方、管内の令和2年度廃止件数は33件で、前年度より1件増加した。

(4) 医療扶助及び介護扶助実施状況（月平均）

管内の令和2年度医療扶助人員数は310人（入院18人、入院外292人）で、前年度より34人減少（入院8人減、入院外26人減）した。

一方、令和2年度介護扶助人員数は104人（施設入所者23人、居宅生活者81人）で、前年度より14人減少（施設入所者3人減、居宅生活者11人減）だった。

(5) 保護費の支給状況

令和2年度における保護費支出総額（見込額）（医療費診療報酬及び介護報酬含む）は4億9,319万3,872円で、前年度より8,139万7,345円減少した。支出総額を構成比で見ると、医療費診療報酬が56.9%（2億8,068万0,831円）、生活扶助費が26.9%（1億3,259万5,039円）で全体の8割以上を占めた。

統計表

(注1：全国平均値は令和3年3月分生活保護速報数値による。)

(注2：月平均値及び構成比は月平均による四捨五入のため、実数・合計と一致しない。)

① 被保護世帯、実人員、保護率の推移(月平均)

区分 年度	平内町			今別町			蓬田村			外ヶ浜町		
	世帯数	実人員	保護率 (%)	世帯数	実人員	保護率 (%)	世帯数	実人員	保護率 (%)	世帯数	実人員	保護率 (%)
28	139	166	15.14	51	62	22.85	42	48	16.95	112	146	24.03
29	139	165	15.35	48	56	21.52	40	46	16.64	110	141	23.73
30	134	160	15.12	45	53	20.96	40	45	16.29	107	139	24.26
元	118	140	13.56	47	55	22.23	38	43	15.81	113	145	26.19
2	109	126	12.45	47	53	22.25	35	39	14.64	108	136	25.43

区分 年度	東津軽郡			県	全国
	世帯数	実人員	保護率 (%)	保護率 (%)	保護率 (%)
28	343	422	18.69	23.20	16.9
29	336	408	18.50	23.38	16.7
30	326	396	18.38	23.40	16.5
元	316	383	18.19	23.45	16.4
2	299	354	17.25	23.42	16.4

※保護率＝保護人員÷推計人口×1,000。なお、推計人口は各年4月1日現在の人口による。

② 令和2年度世帯類型別被保護世帯数(月平均)

区 分		高齢者世帯	うち高齢単身	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他世帯	合 計
東 津 軽 郡	世帯数	215	197	2	30	15	37	299
	構成比 (%)	71.9		0.7	10.0	5.0	12.4	100.0
県	世帯数	14,998	13,880	541	2,887	2,282	3,033	23,741
	構成比 (%)	63.2		2.3	12.1	9.6	12.8	100.0
国 (3年 3月)	世帯数	911,167		72,362	207,205	195,958	247,682	1,634,374
	構成比 (%)	55.8		4.4	12.7	12.0	15.2	100.1

※ 国（3年3月）の構成比について、端数処理のために合計が100にならない。

③ 令和2年度町村別世帯類型別被保護世帯数(月平均)

区 分 町村別	高齢者世帯 ()は単身	母子世帯	障害者世帯	傷病者世帯	その他世帯	合 計
平内町	75 (68)	0	10	5	19	109
今別町	34 (31)	0	8	1	4	47
蓬田村	23 (22)	0	6	1	5	35
外ヶ浜町	82 (76)	2	7	8	9	108
計	214 (197)	2	31	15	37	299

④ 令和2年度労働力類型別被保護世帯数(月平均)

		世帯主が働いている世帯					世帯主は働いていないが、世帯員が働いている世帯	働いている者のいない世帯	合計
		合計	常用労働者	日雇労働者	内職者	就業者その他の			
東津軽郡	世帯数	15	10	0	0	5	3	281	299
	構成比(%)	5.0	/	/	/	/	1.0	94.0	100.0
県	世帯数	1,610	1,245	119	50	196	468	21,663	23,741
	構成比(%)	6.8	/	/	/	/	2.0	91.2	100.0
全国 (3年3月)	世帯数	203,728	153,251	19,826	10,160	20,491	31,826	1,398,820	1,634,374
	構成比(%)	12.5	/	/	/	/	1.9	85.6	100.0

⑤ 年度別生活保護申請処理及び廃止件数の推移

区分 \ 年度	28	29	30	元	2
申請	38	44	49	39	31
開始	24	31	30	22	16
却下	12	12	18	17	14
取下げ	2	1	1	0	1
廃止	30	41	40	32	33

⑥ 令和2年度町村別生活保護申請処理及び廃止状況(年間総数)

区分 町村名	申請 件数	処 理 件 数				廃止件数
		開 始	却 下	取 下 げ	計	
平内町	9	3	6	0	9	12
今別町	11	8	2	1	11	7
蓬田村	5	3	2	0	5	4
外ヶ浜町	6	2	4	0	6	10
計	31	16	14	1	31	33

⑦ 年度別医療扶助人員の推移(月平均)

区 分		年 度				
		28	29	30	元	2
入 院	精神疾患	14	12	10	13	10
	そ の 他	16	20	19	13	8
	計	30	32	29	26	18
入 院 外	精神疾患	6	5	5	5	3
	そ の 他	345	334	328	313	288
	計	351	339	333	318	291
合 計		381	371	362	344	310

(再掲) 町村別医療扶助人員数(月平均)

区 分 町村名	入 院		入 院 外	
	精 神	その他	精 神	その他
平内町	3	3	1	103
今別町	2	2	0	42
蓬田村	0	1	0	28
外ヶ浜町	5	2	2	115
合 計	10	8	3	288

⑧ 年度別介護扶助人員の推移(月平均)

内 訳 \ 年 度	28	29	30	元	2
対 象 者 数	122	122	122	118	104
うち居宅生活者数	97	94	97	92	81

(再掲) 町村別介護扶助人員数(月平均)

内 訳 \ 町 村 名	平 内 町	今 別 町	蓬 田 村	外ヶ浜町	合 計
対 象 者 数	30	15	17	42	104
うち居宅生活者数	24	9	16	32	81

Ⅲ 監査指導課関係業務

社会福祉施設等指導監査

(1) 社会福祉施設指導監査

適正な施設運営を確保するため、社会福祉法第 70 条等の規定に基づき、利用者の処遇、職員の待遇、施設の整備状況等運営の全般について助言、指導を行っている。

(2) 社会福祉法人指導監査

適正な法人運営と円滑な社会福祉事業の経営の確保を図るため、社会福祉法第 56 条の規定に基づき、法人運営・事業経営全般について助言、指導を行っている。

(3) 児童福祉行政（保育事務関係）指導監査

適正な児童福祉行政の実施を確保するため、児童福祉行政関係法施行事務の処理等について助言、指導を行っている。

(4) 障害福祉行政関係法施行事務指導

適正な障害福祉行政の実施を確保するため、障害福祉行政関係法施行事務の処理等について助言、指導を行っている。

(5) 介護サービス事業者等指導

介護給付等対象サービスの質の確保及び保険給付の適正化を図るため、法令等に定める介護給付等対象サービスの取扱い、介護報酬の請求等に関する事項について助言、指導を行っている。

(6) 障害福祉サービス事業者等指導

自立支援給付対象サービス等の質の確保及び自立支援給付等の適正化を図るため、法令等に定める自立支援給付対象サービス等の取扱い、自立支援給付に係る費用の請求等について助言、指導を行っている。

令和2年度指導監査等の実施状況

区 分		対象数	実地	書面	計	
法 施 行 事 務	児童福祉行政（保育事務関係）指導監査	38	38	0	38	
	障害福祉行政関係法施行事務指導	40	20	0	20	
	小計	78	58	0	58	
社 会 福 祉 施 設	生活保護施設	3	2	0	2	
	老 人 福 祉 施 設	養護老人ホーム	7	2	4	6
		特別養護老人ホーム	72	13	0	13
		軽費老人ホーム	15	6	0	6
		(計)	94	21	4	25
	児 童 福 祉 施 設	乳児院	3	0	0	0
		母子生活支援施設	2	0	2	2
		保育所・保育所型認定こども園・ 幼保連携型認定こども園	306	106	104	210
		児童厚生施設（児童館）	82	0	41	41
		児童養護施設	6	2	2	4
		福祉型障害児入所施設	9	3	5	8
		福祉型児童発達支援センター	12	3	2	5
		医療型障害児入所施設	1	1	0	1
		医療型児童発達支援センター	2	2	0	2
		児童自立支援施設	1	1	0	1
		児童心理治療施設	1	0	0	0
		ファミリーホーム（小規模住居型児童養育事業）	8	5	0	5
		(計)	433	123	156	279
	障害者支援施設	40	11	0	11	
	小計	570	157	160	317	
	社 会 福 祉 法 人	県及び市町村社会福祉協議会	32	12	0	12
上記以外		165	35	0	35	
小計		197	47	0	47	
合計		845	262	160	422	

（注）上記の他、介護サービス事業者及び障害福祉サービス事業者に対する実地指導を実施した。

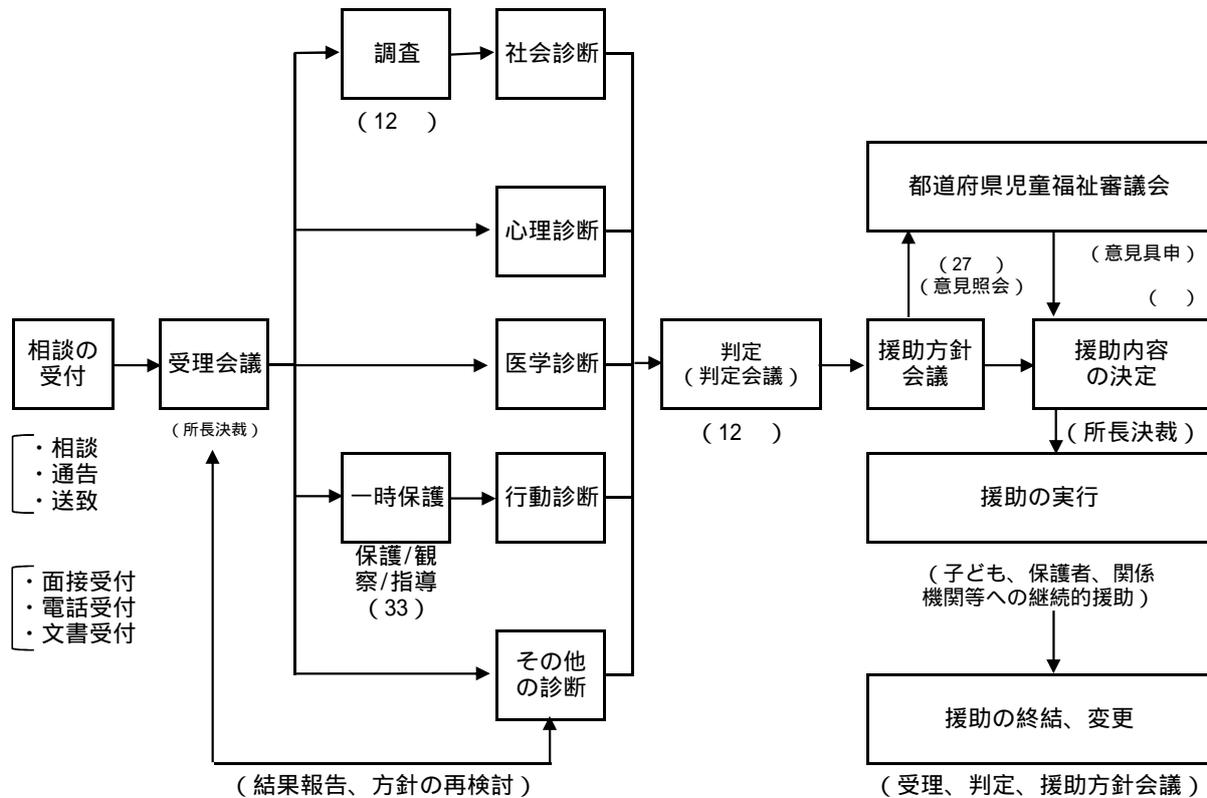
**こども女性相談総室
(中央児童相談所)
児童相談所の業務**

1 相 談 業 務

(1) 相談の種類と主な内容

養護相談	養 護 相 談	父又は母等保護者の家出、失踪、死亡、離婚、入院、稼働及び服役等による養育困難児、迷子、虐待を受けた子ども、親権を喪失・停止した親の子、後見人を持たぬ児童等環境的問題を有する子ども、養子縁組に関する相談。
保健相談	保 健 相 談	未熟児、虚弱児、ツベルクリン反応陽転児、内部機能障害、小児喘息、その他の疾患（精神疾患を含む）等を有する子どもに関する相談
障害相談	肢 体 不 自 由 相 談	肢体不自由児、運動発達の遅れに関する相談。
	視 聴 覚 障 害 相 談	盲（弱視を含む）、ろう（難聴を含む）等視聴覚障害児に関する相談。
	言 語 発 達 障 害 等 相 談	構音障害、吃音、失語等音声や言語の機能障害をもつ子ども、言語発達遅滞を有する子ども等に関する相談。ことばの遅れの原因が知的障害、自閉症、しつけ上の問題等他の相談種別に分類される場合は該当の種別として取り扱う。
	重 症 心 身 障 害 相 談	重症心身障害児に関する相談。
	知 的 障 害 相 談	知的障害児に関する相談。
	発 達 障 害 相 談	自閉症、アスペルガー症候群、その他広汎性発達障害、学習障害、注意欠陥多動性障害等の子どもに関する相談。
非行相談	ぐ 犯 等 相 談	虚言癖、浪費癖、家出、浮浪、乱暴、性的逸脱等のく犯行為若しくは飲酒、喫煙等の問題行動のある子ども、警察署からく犯少年として通告のあった子ども、又は触法行為があったと思料されても警察署から法第25条による通告のない子どもに関する相談。
	触 法 行 為 等 相 談	触法行為があったとして警察署から法第25条による通告のあった子ども、犯罪少年に関して家庭裁判所から送致のあった子どもに関する相談。受け付けた時には通告がなくとも調査の結果、通告が予定されている子どもに関する相談についてもこれに該当する。
育成相談	性 格 行 動 相 談	子どもの人格の発達上問題となる反抗、友達と遊べない、落ち着きがない、内気、緘黙、不活発、家庭内暴力、生活習慣の著しい逸脱等性格もしくは行動上の問題を有する子どもに関する相談。
	不 登 校 相 談	学校及び幼稚園並びに保育所に在籍中で、登校(園)していない状態にある子どもに関する相談。非行や精神疾患、養護問題が主である場合等には該当の種別として取り扱う。
	適 性 相 談	進学適性、職業適性、学業不振等に関する相談。
	育 児 ・ し つ け 相 談	家庭内における幼児の育児・しつけ、子どもの性教育、遊び等に関する相談。
そ の 他 の 相 談		上記のいずれにも該当しない相談。

(2) 児童相談所における相談援助活動の体系・展開



援 助	
1 在宅指導等 (1) 措置によらない指導 (12)	2 児童福祉施設入所措置 (27) 指定発達支援医療機関委託 (27)
ア 助言指導	3 里親、小規模住居型児童養育事業委託措置 (27)
イ 継続指導	4 児童自立生活援助の実施 (33の6)
ウ 他機関あっせん	5 市町村への事案送致 (26) 福祉事務所送致、通知 (26 、63の4、63の5)
(2) 措置による指導	6 家庭裁判所送致 (27 、27の3)
ア 児童福祉司指導 (26 、27)	7 家庭裁判所への家事審判の申立て
イ 児童委員指導 (26 、27)	ア 施設入所の承認 (28)
ウ 市町村指導 (26 、27)	イ 特別養子縁組適格の確認の請求 (33の6の2)
エ 児童家庭支援センター指導 (26 、27)	ウ 親権喪失等の審判の請求又は取消しの請求 (33の7)
オ 知的障害者福祉司、社会福祉主事指導 (27)	エ 後見人選任の請求 (33の8)
カ 障害児相談支援事業を行う者の指導 (26 、27)	オ 後見人解任の請求 (33の9)
キ 指導の委託 (26 、27)	
(3) 訓戒、誓約措置 (27)	

(数字は児童福祉法の該当条項等)

(3) 相談の状況

令和2年度に児童相談所が受け付けた相談の総件数は936件で、前年度の1,267件に比べて331件減（前年度比73.9%）となった。

養護が571件（61.0%）と最も多く、次いで障害が274件（29.3%）、育成が68件（7.3%）となっている。

増加した相談種別は言語発達障害等相談（1件増）となっている。

減少した相談種別は、児童虐待相談（65件減）、養護（その他）相談（77件減）、重症心身障害相談（3件減）、知的障害相談（64件減）、発達障害相談（6件減）、ぐ犯等相談（11件減）、触法行為等相談（1件減）、性格行動相談（19件減）、不登校相談（8件減）、育児・しつけ相談（5件減）となっている。

相談の経路別の受付状況については、家族・親戚からの相談が315件（33.7%）で最も多く、次いで警察・家裁からの相談が225件（24.0%）、学校等からの相談が98件（10.5%）などとなっている。

表1 相談種類別児童受付数

区分	養護		保健	障害						非行		育成				その他	計
	児童虐待	その他		肢体不自由	視聴覚障害	言語発達障害等	重症心身障害	知的障害	発達障害	ぐ犯等	触法行為等	性格行動	不登校	適性	育児・しつけ		
31年度	560	153		2		1	3	327	13	17	9	64	10	21	5	82	1,267
2年度	件数	495	76		2		2	263	7	6	8	45	2	21	0	9	936
	割合(%)	52.9	8.1		0.2		0.2	28.1	0.7	0.6	0.9	4.8	0.2	2.2		1.0	100
	前年比	-65	-77	0	0	0	1	-3	-64	-6	-11	-1	-19	-8	0	-5	-73

表2 経路別児童受付数

区分	県・市町村	県・市福祉事務所	児童委員	児童福祉施設等	児童家庭支援センター	認定こども園	警察・家裁	保健所・医療機関	学校等	里親	家族・親戚	近隣・知人	児童本人	その他	計
件数	91	56	2	33	1	0	225	7	98	4	315	85	12	7	936
割合(%)	9.7	6.0	0.2	3.5	0.1		24.0	0.7	10.5	0.4	33.7	9.1	1.3	0.7	100

令和2年度の相談措置・処理件数は1,166件である。うち、助言指導で処理したものが979件(84.0%)、継続指導としたものが8件(0.7%)、児童福祉司指導としたものが46件(3.9%)、児童福祉施設入所としたものが14件(1.2%)となっている。

表3 措置・処理の状況

区分	助言指導	継続指導	他機関あつせん	児童福祉司指導	市町村送致	福祉事務所送致又は通知	児童福祉施設入所	里親委託	障害児施設等への利用契約	その他	計
件数	979	8	7	46	0	5	14	4	4	99	1,166
割合(%)	84.0	0.7	0.6	3.9	0.0	0.4	1.2	0.3	0.3	8.5	100

(措置・処理件数の中には、前年度未処理のものも含まれる。)

ア 養護相談

養護相談に至った原因及び処理内容は表4のとおりである。

主な理由としては、家族環境(虐待、経済的理由等)から生じたものが631件(99.1%)と最も多い。その中に虐待相談501件(78.6%)が含まれている。

処理の内訳は、面接指導が546件(85.7%)、児童福祉施設入所が13件(2.0%)、里親委託が4件(0.6%)となっている。

表4 養護相談の理由別処理件数

理由別 処理	家出 (失踪含)	死亡	離婚	傷病 (入院含)	家族環境		その他	計
					虐待	その他		
児童福祉施設入所				1	8	4		13
里親委託					1	3		4
面接指導				3	438	104	1	546
その他					54	19	1	74
計	0	0	0	4	501	130	2	637

里親及びファミリーホーム委託状況について

登録里親数35人のうち実際に委託を受けた里親は15人(受託率42.9%)、委託里子数は30人となっている。また、ファミリーホームへの委託児童数は8人となっている。

里親は、児童を一時的又は継続的に自分の家庭内に預かって養育することを希望する者であって、都道府県知事が適当と認定したものである。里親制度は、家庭的環境に恵まれない児童を個人の家庭に預け、その温かい愛情と家庭的雰囲気の中で育てようとする制度である。

表5-1 管内の里親・里子の状況 (令和3年3月末現在)

里親登録数	委託里親		委託里子数
	実数	受託率(%)	
35	15	42.9	30

表5 - 2 管内のファミリーホームの状況 (令和3年3月末現在)

施設数	委託児童数
3	8

虐待相談(養護相談の再掲)

虐待相談の処理件数は501件で、前年度に比べ18件減少した。

虐待の種類別の処理件数は、表6～10のとおりである。

表6 虐待相談の種類別件数

区分		身体的虐待	性的虐待	心理的虐待	保護の怠慢・拒否	計
31年度		121	0	288	110	519
2年度	件数	144	10 (1)	241	106 (6)	501 (7)
	割合(%)	28.7	2.0	48.1	21.2	100.0

注：()内は電話相談の再掲

表7 処理状況

区分	助言指導	継続指導	他機関あつせん	児童福祉司指導	児童福祉施設入所	里親委託	市町村送致	その他	計
31年度	463		7	29	7	2	3	8	519
2年度	435 (6)		3	40	9	1		13 (1)	501 (7)

注：()内は電話相談の再掲

表8 通告経路

区分	家族	親戚	近隣・知人	児童本人	福祉事務所	児童委員	保健所	医療機関	児童福祉施設等	警察等	学校等	市町村	その他	計	虐待者本人(再掲)
31年度	33	27	97	9	2		1	2	22	198	74	17	37	519	9
2年度	69	5	54	15	5		6	5	17	201	96 (7)	13	15	501	21

注：()内は電話相談の再掲

表9 虐待者

区 分	実 父	実父 以外の 父親	実 母	実母 以外の 母親	祖 父	祖 母	そ の 他	不 詳	計	両 親 (再 掲)
31年度	226	18	271	2			2		519	84
2年度	188 (1)	26	268 (6)	5	5	7	2		501 (7)	44

注：()内は電話相談の再掲

表10 被虐待児童の年齢別内訳

区 分	身体的虐待				性的虐待				心理的虐待				保護の怠慢・拒否				計				
	男	女	不詳	小計	男	女	不詳	小計	男	女	不詳	小計	男	女	不詳	小計	男	女	不詳	小計	
31年度	0～3歳未満	4	2		6				0	33	27		60	15	9		24	52	38	0	90
	3～学齢前児童	19	11		30				0	37	42		79	5	16		21	61	69	0	130
	小学生	26	21		47				0	50	41		91	19	22		41	95	84	0	179
	中学生	16	8		24				0	16	18		34	8	10		18	40	36	0	76
	高校生・その他	4	10		14				0	14	10		24	6			6	24	20	0	44
	不詳				0				0				0				0	0	0	0	0
	計	69	52	0	121	0	0	0	0	150	138	0	288	53	57	0	110	272	247	0	519
2年度	0～3歳未満	7	8		15				0	22	34		56	9	9 (1)		18 (1)	38 (1)	51 (1)	0	89 (1)
	3～学齢前児童	21	10		31		3		3	30	33		63	11 (1)	11 (1)		22 (1)	62 (1)	57 (1)	0	119 (1)
	小学生	33	23		56	1	1		2	38	32		70	17 (1)	28 (2)		45 (3)	89 (1)	84 (2)	0	173 (3)
	中学生	20	15		35	1	3 (1)		4 (1)	19	14		33	5	9 (1)		14 (1)	45 (2)	41 (2)	0	86 (2)
	高校生・その他	5	2		7		1		1	6	13		19	4	3		7	15	19	0	34
	不詳				0				0				0				0	0	0	0	0
	計	86	58		144	2	8 (1)		10 (1)	115	126		241	46 (1)	60 (5)		106 (6)	249 (1)	252 (6)	0	501 (7)

注：()内は電話相談の再掲

イ 障害相談

障害相談の受付件数は、知的障害が 260件（93.5%）と最も多く、次いで発達障害が 11件（4.0%）などとなっている。

表 1 1 障害相談受付件数

区分	肢体不自由	視聴覚障害	言語発達障害等	重症心身障害	知的障害	発達障害	計
件数	2		5		260	11	278
割合 (%)	0.7	0.0	1.8		93.5	4.0	100

ウ 非行相談

非行相談の処理件数は16件となっている。なお、これらの件数は主たる問題行動の内容を1件として計上しており、通常は問題行動の内容が複数であることも少なくない。

表 1 2 非行相談の問題行動別処理件数

問題行動別 処理	く犯行為等相談								触法行為等相談				計
	暴力	虚言癖	浪費癖	家出・浮浪	自家金銭持出	シンナー等吸	性的逸脱	その他	窃盗	障害・恐喝	放火・弄火	その他	
児童福祉施設入所													0
面接指導	2			2	1			1	7			2	15
その他				1									1
計	2	0	0	3	1	0	0	1	7	0	0	2	16

エ 育成相談

育成相談の受付件数は 67件で、性格行動が 45件（67.2%）、不登校が 2件（3.0%）、適性が 20件（29.9%）となっている。

表 1 3 育成相談受付件数

区分	性格行動	不登校	適性	育児・しつけ	計
件数	45	2	20	0	67
割合 (%)	67.2	3.0	29.9	0.0	100

不登校相談の受付及び処理状況

不登校相談の受付件数は 2件で前年度と比べ 8件減少した。

処理では、助言指導が 2件となっている。

表 1 4 不登校相談受付件数

区分	31年度	2年度
件数	10	2

表 1 5 不登校相談処理状況

区分	助言指導	継続指導	他機関あつせん	福祉司指導	施設入所	障害児施設利用契約	計
件数	2						2

2 判定業務

令和2年度の判定件数は238件で、前年度と比べて2件の増加となっている。

医学的診断指導件数は385件、心理診断指導件数は928件となっている。

表16 相談種類別判定件数

区分	養護	保健	肢体不自由	視聴覚障害	言語発達障害等	重症心身障害	知的障害	発達障害	く犯等	触法行為等	性格行動	不登校	適性	育児・しつけ	その他	計
31年度	30				1		180		6	3	7		9			236
2年度	35				2		167	5	1	4	18		6			238

表17 医学的・心理学的検査状況

年度	検査対象者	医学的診断指導				心理診断指導					
		診察指導	医学的検査	その他	計	知能検査	発達検査	人格検査	その他検査	観察・面接・指導	計
31年度	児童	88	227	123	438	192	60	74	5	282	613
	保護者	106			106				1	222	223
	その他	25			25					40	40
	計	219	227	123	569	192	60	74	6	544	876
2年度	児童	63	154	71	288	185	59	107	8	286	645
	保護者	76			76	1			5	254	260
	その他	21			21					23	23
	計	160	154	71	385	186	59	107	13	563	928

表18 判定書（証明書等）の交付状況

区分	特別児童扶養手当診断	障害児保育意見書	その他 (福祉手当・障害証明書等)	計
31年度	1		71	72
2年度	1		46	47

表19 愛護（療育）手帳の判定状況

区分	31年度	2年度
件数	175	172

3 一時保護業務

(1) 一時保護の状況

ア 実人員及び延人員

令和2年度に一時保護（昼間一時保護、委託一時保護を含む。）した管内の児童の実人員の総数は119人で、前年度と比べ23人の増加となっている。

管内の延日数の総数は2,867日で、前年度と比べ170日の増加となっている。

表20 一時保護の状況

区分		中央児相の 一時保護	昼間一時保護	一時保護委託	計
31年度	実人員	27	5	64	96
	延日数	1,258	5	1,434	2,697
2年度	実人員	22	18	79	119
	延日数	485	18	2,364	2,867

イ 相談種類別保護児童数

令和2年度に一時保護（昼間一時保護、委託一時保護を含む。）した管内の児童の実人員は、養護（虐待）が99人（83.2%）、養護（その他）、育成がそれぞれ8人（6.7%）、非行が4人（3.4%）の順となっている。

延日数では、養護（虐待）が2,529日（88.2%）、養護（その他）が212日（7.4%）、育成が107日（3.7%）、非行が19日（0.7%）の順となっている。

表21 相談種類別一時保護児童数

区分		養 護		障 害	非 行	育 成	保 健・ そ の 他	計
		虐 待	そ の 他					
31年度	実人員	73	11		7	5		96
	延日数	2,117	117		144	319		2,697
2年度	実人員	99	8		4	8		119
	延日数	2,529	212		19	107		2,867

(2) 中央児童相談所一時保護所(昼間一時保護を除く)の一時保護状況

ア 実人員及び延日数等

令和2年度の実人員は22人で、前年度と比べて5人の減少となっている。延日数は485日、前年度と比べて773日の減少となっている。

また、1日平均の一時保護人員は、1.3人(前年度比2.1人減)、1人平均の一時保護日数は、22.0日(前年度比24.6日減)となっている。

イ 相談種類別保護児童数

令和2年度の実人員は、養護が17人(77.3%)、非行が1人(4.5%)、育成が4人(18.2%)となっている。

延日数では、養護が411日(84.7%)、非行が14日(2.9%)、育成が60日(12.4%)となっている。

表2-2 中央児童相談所一時保護所の一時保護状況

区分	養護		障害			非行		育成			保健・その他	計	1日平均保護人員	1人平均保護日数
	虐待	その他	肢体不自由	言語発達障害等	知的障害	発達障害	ぐ犯等	触法行為等	性格行動	不登校				
31年度	実人員	18	1				3		5			27	3.4	46.6
	延日数	771	58				110		319			1,258		
	昼間一保	実人員	5									5		
		延日数	5									5		
2年度	実人員	15	2				1		4			22	1.3	22
	延日数	355	56				14		60			485		
	昼間一保	実人員	17					1				18		
		延日数	17					1				18		

ウ 日数別一時保護児童数

令和2年度の日数別一時保護児童数は、22日以上が13人(59.1%)と前年度と比べ8人減少しており、2ヶ月を超えての一時保護はなかった。

14日以内は9人(41.0%)と前年度と比べ5人増加している。

表2-3 日数別一時保護児童数

年度	区分	1~7日	8~14日	15~21日	22~28日	29~60日	61日以上	計
31年度	一時保護	3	1	2	3	12	6	27
	昼間一保	5						5
2年度	一時保護	8	1	0	7	6	0	22
	昼間一保	18						18

エ 学年別一時保護児童数（昼間一時保護を除く）

令和2年度の実人員は、就学前児童数が0人（前年度同様）、小学生が12人（54.5%、前年度比3人増）、中学生が9人（40.9%、前年度比6人減）、高校生その他は1人（4.5%、2人減）となっている。

表2-4 学年別一時保護児童数

区分	就学前	小学生			中学生			高校生・その他	計		
		1・2年生	3・4年生	5・6年生	1年生	2年生	3年生				
31年度	実人員		7	2	3	8	4	3	27		
	延日数		268	128	87	404	275	96	1,258		
	昼間一保	実人員	1	2	1	1				5	
		延日数	1	2	1	1				5	
2年度	実人員		3	2	7	5	1	3	1	22	
	延日数		57	57	105	174	9	80	3	485	
	昼間一保	実人員	6	3	1	2		1		5	18
		延日数	6	3	1	2		1		5	18

オ 一時保護児童の退所先

令和2年度の退所先は、家庭引取が9人（41.0%、前年度比6人減）、児童養護施設入所が11人（50.0%、前年度比4人増）、その他が2人（9.1%、前年度同数）となっている。

表2-5 一時保護児童の退所先の状況

年度	退所先	家庭引取	児童養護施設	児童自立支援施設	福祉型障害児入所施設(知的障害児)	児童心理治療施設	家庭裁判所送致	その他	計
		31年度	一時保護	15	7	2		1	
2年度	一時保護	9	11					2	22

(3) 委託一時保護の状況

ア 相談種類別の状況

令和2年度の管内委託一時保護児童の実人員は79人（前年比15人増）で、養護（虐待）が67人（前年比17人増）、養護（その他）が6人（前年比4人減）などとなっている。

延日数は2,364日（前年比930日増）で、養護（虐待）が2,157日（前年比816日増）、養護（その他）が156日（前年比97日増）などとなっている。

表26 相談種類別委託一時保護の状況

区 分	養 護		障 害	非 行	育 成	保 健・ そ の 他	計
	虐 待	そ の 他					
31年度	実人員	50	10		4		64
	延日数	1,341	59		34		1,434
2年度	実人員	67	6		2	4	79
	延日数	2,157	156		4	47	2,364

イ 委託先別の状況

令和2年度の委託先は、実人員79人のうち、児童福祉施設49人（前年度比10人増）、里親等18人（前年度比7人増）、警察5人（前年度比2人減）となっている。

延日数2,364日のうち、児童福祉施設2,019日（前年度比933日増）、里親等125日（前年度比27日減）、警察6日（前年度比4日減）などとなっている。

表27 委託先別委託一時保護の状況

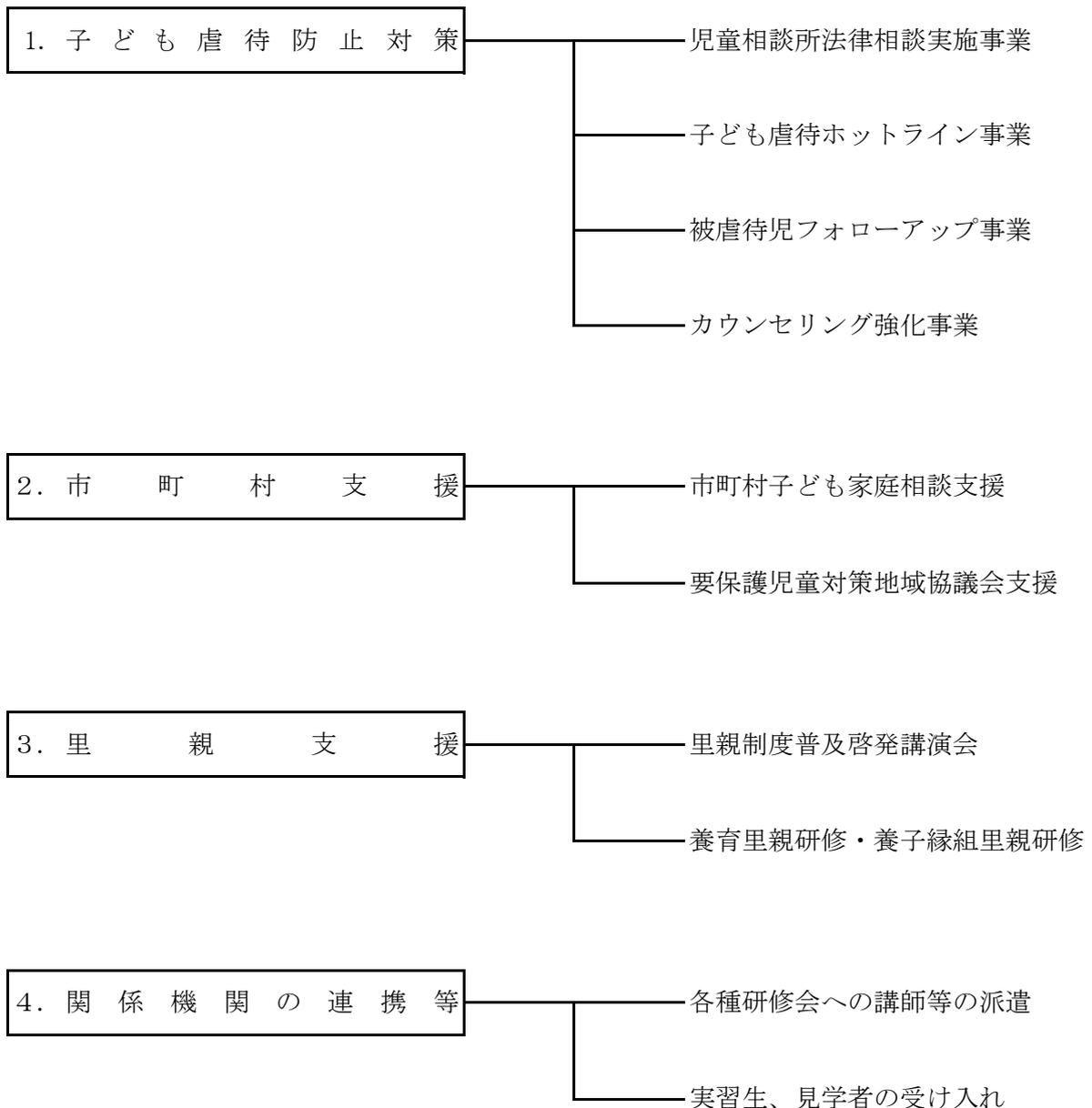
区 分	児童福祉 施 設	医 療 機 関	里 親 等	警 察	そ の 他	計
31年度	実人員	39	11	7	7	64
	延日数	1,086	152	10	186	1,434
2年度	実人員	49	6	18	5	79
	延日数	2,019	210	125	6	2,364

Ⅱ 児童相談所の事業等

児童相談所の事業等

県内の児童相談所は、地域の必要に応じて、児童の健やかな育成及び家庭・地域における児童養育を支援するための各種援助活動や第一義的な児童家庭相談窓口である市町村への後方支援等を行っている。

事業の概要等を総括すると、下図のようになる。



1 子ども虐待防止対策

(1) 児童相談所法律相談実施事業

関係者が自らの虐待行為を認めない場合の法的介入、又は援助に当り法的手続上専門的な対応を必要とする場合などにおいて、迅速かつ適切な対応が出来るよう、児童相談所における相談担当弁護士を確保することにより、相談体制の強化を図っている。

令和2年度の相談実績は6件となっている。

(2) 子ども虐待ホットライン事業

子どもへの虐待に関する通告・通報を24時間、365日受け付けるホットライン(フリーダイヤル)を各児童相談所に設置し、虐待の防止と早期発見・早期対応を図ることを目的としている。中央児童相談所には電話相談員が3名配置され(令和2年4月より女性相談所に配置となる)、休日・夜間等は中央児童相談所が受け付ける体制としている。

表28 通告者別(相談者別)受付状況

区分	家族	警察等	学校等	児童本人	福祉事務所	市町村	近隣・知人	保健所	医療機関	児童委員	児童福祉施設等	親戚	その他	計
件数	17	1	1	14			69		5			5	7	119

表29 虐待の内容と年齢別内訳

虐待の内容	0歳児		幼児		小学生		中学生		高校生		その他		計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
身体的虐待			1	1	6	7		2	1	1	1		9	11
性的虐待														
心理的虐待	3		20	10	11	7	4	9	3	4	1	3	42	33
保護の怠慢・拒否	2		3	6	5	2	2	1	1	2			13	11
不詳														
計	5	0	24	17	22	16	6	12	5	7	2	3	64	55

(3) 被虐待児フォローアップ事業

虐待経験を持つ児童やその保護者への治療的援助、被虐待経験を有する児童を指導している児童福祉施設職員への援助等を目的としてフォローアップ事業を実施している。施設職員に対する研修やケースカンファレンス、児童・保護者を対象とした個別又はグループによるカウンセリングや各種治療プログラムの実施等の取り組みを行っている。

令和2年度の実績は下記のとおりである。

表30 児童福祉施設職員指導

実施施設数	職員数	指導回数	延指導人数
4	47	12	103

表31 被虐待児集団指導

児童数	指導回数	延指導人数	スーパービジョン参加職員数

表32 被虐待児親子指導

世帯数	指導回数	児童指導延人員	親指導延人員
1	12	12	12

表33 被虐待児個別指導

児童数	指導回数	スーパービジョン参加職員延人員

表34 被虐待児の保護者指導

保護者数	指導回数	指導延人数
73	268	431

(4) カウンセリング強化事業

児童虐待を行う保護者等に対して、精神科医師の協力により指導を行うものであり、平成13年4月から実施している。

表35 カウンセリング強化事業実施状況

実ケース数	医学診断・カウンセリング・助言の件数
17	38

2 市町村支援

(1) 市町村子ども家庭相談支援

平成17年4月から市町村が第一義的な児童家庭相談窓口となったことから、市町村職員を対象とした研修の実施や市町村に出向いての巡回支援、相談ケースの対応等に関する技術的助言を行う等、市町村子ども家庭相談に関する支援を行っている。

令和2年度は巡回支援の実施はない。

表36 市町村子ども家庭相談担当者研修会

管内市町村数	開催日数	開催延時間数	延参加者数
5	4	6.0	37

表37 市町村に対する技術的助言の状況

	件数
技術的助言	22

(2) 要保護児童対策地域協議会支援

要保護児童等に関し関係者間で情報の交換と支援の協議を行う機関として、「要保護児童対策協議会」が児童福祉法により位置づけられ、管内においては平成28年度までに全市町村に設置されている。

当所では、協議会の各会議に出席するとともに、会議の運営や協議会における対象ケースの進行・管理等について助言等を行っている。

表38 要保護児童対策地域協議会実施状況

管内市町村数	設置済市町村数	会議出席回数		
		代表者会議	実務者会議	個別ケース検討会議
5	5	5	18	39

3 里親支援

(1) 里親制度普及啓発講演会

里親制度にかかる講演会等の実施により広報活動を行い、新たな里親の開拓に取り組んでいる。(H26年度～県内1児相、1施設持ち回り)

表39 里親制度普及啓発講演会

・令和2年度は開催なし。

(2) 養育里親研修・養子縁組里親研修

家庭での養育を必要とする児童を受け入れる里親として必要な基礎的知識や技術の修得を行うとともに、その資質の向上を図ることを目的として、年2回、養育里親・養子縁組の新規登録時に「基礎研修」「登録前研修」、養育里親登録の更新時に「更新研修」を実施している。

表40 養育里親研修・養子縁組里親研修実施状況

研 修 名	会 場	参 加 者 数
＜前期＞ 基礎研修 登録前研修	弘前市相総合学習センター・弘前愛成園	15名・14名
	弘前市相総合学習センター・弘前乳児院	15名
＜後期＞ 基礎研修 登録前研修	三戸地方保健所・あけぼの学園	12名
	三戸地方保健所	12名
＜前期＞ 更新研修	アピオ青森・藤聖母園	11名・2名
＜後期＞ 更新研修	八戸児童相談所・あけぼの学園・ひまわり乳児院	延期

4 関係機関との連携状況

(1) 各種研修会への講師等の派遣

関係機関との連携強化のため、関係機関が主催する会議や研修会において積極的に講師等を派遣している。令和2年度の派遣状況は下記のとおりである。

表4-1 各種研修会への講師等派遣状況

研修会等名称等	開催地	内容
生徒指導主任・生徒指導主事研修講座	青森市	児童・生徒への虐待事案の早期発見・適切な対応に向けて
人身安全関連事案対策専科教養	青森市	児童虐待の現状と対応上の留意事項等
初任者研修（特別支援学校）生徒指導基礎講座	青森市	安全安心な生活を支える児童相談所の機能
青森県職員主幹研修	青森市	メンタルヘルス
青森県職員主事・技師研修	青森市	メンタルヘルス
子供への緊急対応研修講座	青森市	発達や家庭環境に困難を抱えた子供への対応
弘前大学教育学部 キャリア形成の基礎B	弘前市	児童相談所のしごと

(2) 実習生、見学者の受け入れ

関係機関の職員や福祉を学ぶ学生を積極的に受け入れ、見学者の案内や実習指導、研究事業への協力等を行っている。

表4-2 実習生、見学者の受け入れ状況

実習等名称等	参加人員	内容
社会福祉基礎実習Ⅱ（青森県立保健大学）	5日間4名	講義（児童相談所の業務）、所内見学（一時保護所も含む）、施設見学等
弘前大学教育学部学校教員	1名	児童相談所の概要説明、検査室・医務室等の施設見学
青森地方家庭裁判所司法修習生体験修習	2名	児童相談所の概要説明、施設見学（一時保護所も含む）
県警察本部刑事部捜査第一課「性犯罪捜査専科」教養	17名	児童相談所の概要説明、施設見学（一時保護所も含む）

こども女性相談総室
(女性相談所)

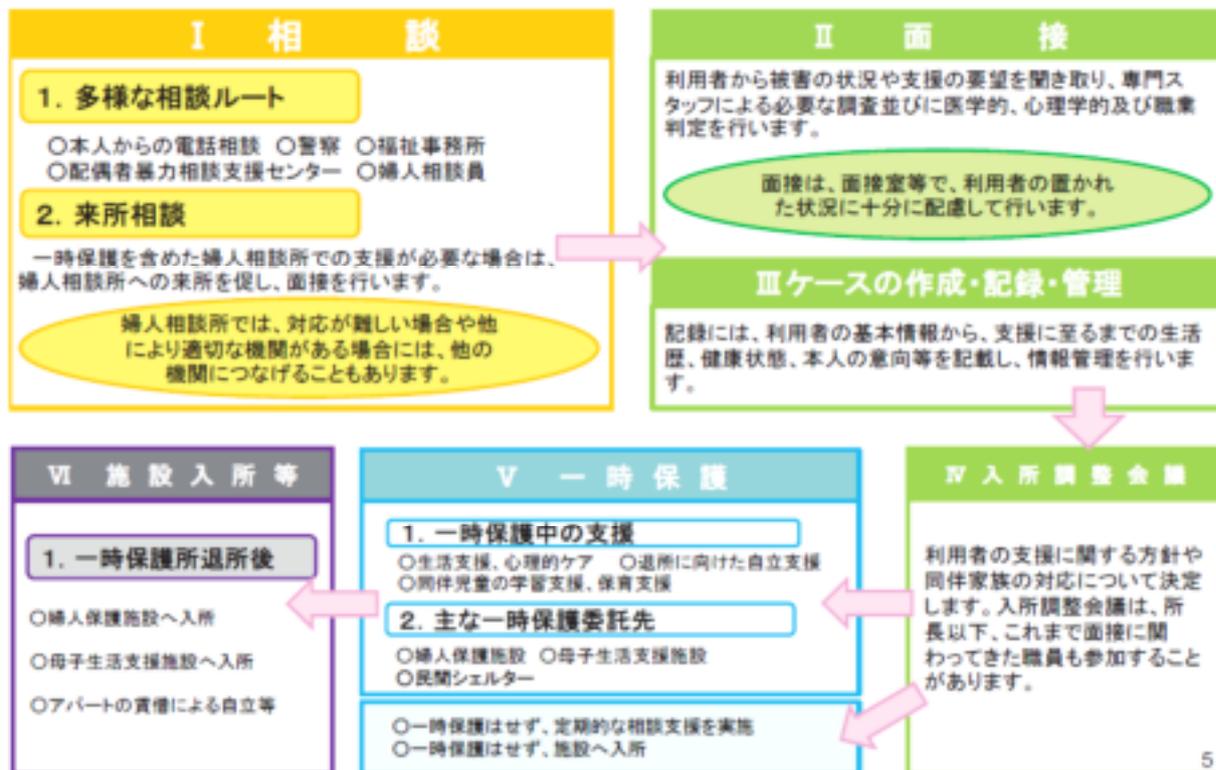
Ⅲ 女性相談所の業務

1 女性相談所の業務

女性相談所は、婦人保護事業の中核機関として、要保護女子の転落の未然防止と保護更生及び暴力被害女性の保護、支援を円滑に推進するため、関係機関との密接な連携を図りながら次の業務を行っている。

項目	内容
相談	女性が抱える様々な問題に対応するため、来所相談、電話相談を実施。
調査及び判定	本人及びその家庭環境等について、実情を把握する必要がある場合に、本人の了解を得て調査を行うとともに、必要に応じて医学的判定、心理的判定を実施。
指導・援助	相談、調査及び判定の結果に基づき、要保護女子の転落の未然防止と保護更生を図るとともに、暴力被害女性については自立のために必要な保護と援助を実施。 ア 公共職業安定所等の紹介 本人の性格や能力等に適合する職業に就くことができるよう公共職業安定所、職業訓練施設等を紹介。 イ 援護措置の紹介 母子・寡婦福祉資金及び生活福祉資金の貸付並びに生活保護法による生活扶助、医療扶助等の援護措置の紹介。 ウ 医療機関の紹介・心理学的な指導 要保護女子等が病院等に入院、治療を必要とする際に適当な医療機関を紹介するとともに、必要に応じて本人の同意を得て心理学的判定等を実施。 エ 社会福祉施設の活用等 社会福祉施設の活用を図るとともに、利用に係る情報提供等を実施。
啓発・広報	女性相談所の業務について関係機関や地域住民に広く理解を得るための啓発活動を実施。 ア 「女性保護の概要」の作成 イ 女性相談所（DVセンター）のリーフレットを作成・配布 ウ 各種研修会・講演会等への参加
DVセンターとしての業務	ア 被害者に関する問題についての相談、他の相談機関等の紹介 イ 被害者及びその家族に対するカウンセリング等 ウ 被害者の自立促進のための就業の促進、住宅の確保、援助等に関する制度の情報提供等 エ 保護命令の制度の利用についての情報提供等 オ シェルター等の利用についての情報提供等 カ 基幹センターとしての業務（保護命令に関する情報の集約・提供、各センター間の連絡調整、県警本部及び市福祉事務所（婦人相談員）等関係機関との連携、DVセンター実務者等連絡協議会の開催）

女性相談所における基本的な支援の流れ（厚生労働省資料より）



2 業務の状況

(1) 相談処理状況

ア 相談受付件数

女性相談所の相談受付件数は、令和2年度は元年度と同数の1,178件となっている。

表1 相談受付件数の推移

R元	R2
1,178	1,178

イ 形態別相談受付状況

女性相談所への相談については、県内一円を対象としていることから電話による相談が大部分を占めており、令和2年度は面接相談33件、電話相談1,145件である。

表2 形態別相談受付状況

区分	R元	R2
面接相談	54	33
電話相談	1,124	1,145
計	1,178	1,178

ウ 経路別相談受付状況

女性相談所に相談が寄せられる経路については、本人自身からの相談が最も多く、令和2年度は1,085件、それ以外は縁故者・知人26件、他の相談機関22件、警察関係17件、他の婦人相談員16件、福祉事務所5件となっている。

表3 経路別相談受付状況

年度	経路	本人自身	警察関係	法務関係	他の婦人相談所	他の婦人相談員	福祉事務所	他の相談機関	社会福祉施設等	医療機関	教育機関	労働関係	民間シェルター	縁故者・知人	その他
	総数														
R元	1,178	1,061	33	0	0	21	21	22	1	0	0	0	0	15	4
R2	1,178	1,085	17	0	2	16	5	22	0	4	1	0	0	26	0

エ 年齢別相談受付状況

女性相談所の令和2年度の相談者の年齢別では、50歳代が483件と最も多く、次いで60歳代191件、40歳代129件となっている。

表4 年齢別相談受付状況

年度	総数	18歳未満	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	不明
R元	1,178	12	10	65	148	167	386	182	32	176
R2	1,178	0	4	33	113	129	483	191	49	176

オ 相談処理状況

女性相談所の令和2年度の相談処理状況では、助言・指導が1,144件と最も多く、次いで家庭へ送還、福祉事務所へ送還が各5件となっている。

表5 相談処理状況

年度	項目	収容 婦人保護施設へ	就職・自営	結婚	家庭へ送還	送 福祉事務所へ移	関・施設へ移送	その他の関係機	転居	助言・指導	その他
	総数										
R元	1,178	1	0	0	9	3	1	10	1,114	40	
R2	1,178	0	0	0	5	5	1	3	1,144	20	

(2) 配偶者暴力相談支援センターとしての業務状況

女性相談所は配偶者暴力相談支援センターの機能もあり、相談件数等については下表のとおりとなっている。

表6 配偶者暴力相談支援センターにおける相談件数

R元	R2
94	99

表7 裁判所から書面提出を求められた件数

R元	R2
2	3

表8 DV通報件数

R元	R2
62	54

3 関係機関との連携状況

女性相談所は婦人相談所として、また県内DVセンターの基幹センターとして各種会議等を開催し、関係機関との連携を図っている。

なお令和2年度は、新型コロナウイルス感染症の感染状況を見ながらの開催となった。

①配偶者暴力支援センター実務者等連絡協議会（例年3回。令和2年度は1回開催）

DVセンターの基幹センターとして開催する会議で、県内DVセンター、市福祉事務所、警察、民間シェルター等の関係機関及び参加を希望する児童相談所の実務職員等を対象として、会議のほか研修や情報交換等を実施。

②配偶者からの暴力に係る職務関係者業務連絡会議（例年1回。令和2年度は未開催）

業務に関わる関係機関の職員との情報共有や資質向上のための研修等を実施。

③婦人相談員業務連絡会（①の会議と当日に開催。令和2年度は1回開催）

婦人相談員の業務の支援や資質向上のための情報共有や研修等を実施。

④初任者研修（年1回開催。令和2年度は未開催）

婦人保護事業に関わる福祉事務所等の新任婦人相談員を対象に女性相談所職員が講師として実施。

第3 資 料 編

1 保健総室関係資料

1 管内の人口動態

(1) 管内町村別人口の推移

		H27.10.1現在	H28.10.1現在	H29.10.1現在	H30.10.1現在	R1.10.1現在	
青森県	人口	1,308,649	1,293,681	1,278,581	1,262,815	1,246,291	
		男	614,608	607,729	600,560	593,290	585,461
		女	694,041	685,952	678,021	669,525	660,830
	世帯数	510,948	512,447	513,912	514,846	515,482	
	1世帯当り人口	2.56	2.52	2.49	2.45	2.42	
青森地域 保健医療圏	人口	310,610	307,170	303,949	300,504	296,652	
		男	144,314	142,710	141,187	139,609	137,794
		女	166,296	164,460	162,762	160,895	158,858
	世帯数	127,066	127,008	127,128	127,006	126,866	
	1世帯当り人口	2.44	2.42	2.39	2.37	2.34	
東地方 保健所	人口	22,988	22,416	21,917	21,371	20,866	
		男	10,812	10,563	10,339	10,063	9,817
		女	12,176	11,853	11,578	11,308	11,049
	世帯数	8,787	8,689	8,596	8,454	8,369	
	1世帯当り人口	2.62	2.58	2.55	2.53	2.49	
平内町	人口	11,148	10,890	10,682	10,495	10,286	
		男	5,274	5,157	5,057	4,964	4,854
		女	5,874	5,733	5,625	5,531	5,432
	世帯数	3,968	3,926	3,883	3,850	3,815	
	1世帯当り人口	2.81	2.77	2.75	2.73	2.70	
今別町	人口	2,747	2,675	2,604	2,496	2,413	
		男	1,291	1,270	1,240	1,188	1,152
		女	1,456	1,405	1,364	1,308	1,261
	世帯数	1,289	1,265	1,250	1,210	1,198	
	1世帯当り人口	2.13	2.11	2.08	2.06	2.01	
蓬田村	人口	2,896	2,822	2,771	2,718	2,688	
		男	1,367	1,333	1,307	1,277	1,266
		女	1,529	1,489	1,464	1,441	1,422
	世帯数	957	948	945	933	935	
	1世帯当り人口	3.03	2.98	2.93	2.91	2.87	
外ヶ浜町	人口	6,197	6,029	5,860	5,662	5,479	
		男	2,880	2,803	2,735	2,634	2,545
		女	3,317	3,226	3,125	3,028	2,934
	世帯数	2,573	2,550	2,518	2,461	2,421	
	1世帯当り人口	2.41	2.36	2.33	2.30	2.26	

資料：青森県統計分析課の推計人口及び推計世帯数（平成28年、29年、30年、令和元年。参考数値）及び国勢調査（平成27年）

(2) 人口動態総覧の年次推移(青森県、青森地域保健医療圏、東地方保健所、町村別)

	年次	出生							死亡							自然増減	
		総数	率	男	女	2500g未満出生 ¹⁾ (再掲)		総数	率	男	女	乳児死亡(再掲)				総数	率
						総数	割合					総数	率	新生児死亡 (再掲)			
														総数	率		
青森県	27	8,570	6.5	4,388	4,182	751	8.7	17,157	13.1	8,782	8,375	20	2.3	13	1.5	8,587	6.6
	28	8,626	6.7	4,380	4,246	725	8.4	17,309	13.4	8,777	8,532	18	2.1	8	0.9	8,683	6.7
	29	8,035	6.3	4,104	3,931	709	8.8	17,575	13.8	8,868	8,707	18	2.2	13	1.6	9,540	7.5
	30	7,803	6.2	3,980	3,823	774	9.9	17,936	14.3	8,925	9,011	15	1.9	10	1.3	10,133	8.1
	元	7,170	5.8	3,682	3,488	683	9.5	18,424	14.9	9,286	9,138	23	3.2	15	2.1	11,254	9.1
青森地域 保健医療圏	27	2,080	6.7	1,047	1,033	177	8.4	3,975	12.8	1,997	1,978	1	0.5	-	-	1,895	6.1
	28	1,974	6.4	1,007	967	158	8.0	3,951	12.9	1,956	1,995	6	3.0	2	1.0	1,977	6.4
	29	1,927	6.3	1,001	926	166	8.6	3,918	12.9	1,941	1,977	6	3.1	5	2.6	1,991	6.6
	30	1,834	6.1	903	931	188	10.3	4,084	13.6	1,992	2,092	6	3.3	4	2.2	2,250	7.5
	元	1,715	5.8	850	865	145	8.5	4,149	14.0	1,978	2,171	5	2.9	4	2.3	2,434	8.2
東地方 保健所	27	96	4.2	51	45	9	9.6	469	20.4	236	233	-	-	-	-	373	16.2
	28	80	3.6	46	34	8	10.0	471	21.0	250	221	1	12.5	-	-	391	17.4
	29	91	4.2	40	51	8	8.8	423	19.3	199	224	-	-	-	-	332	15.1
	30	82	3.8	44	38	8	9.8	420	19.7	193	227	-	-	-	-	338	15.8
	元	72	3.5	27	45	5	6.9	464	22.2	232	232	1	13.9	1	13.9	392	18.8
平内町	27	53	4.8	24	29	8	14.0	221	19.8	118	103	-	-	-	-	168	15.1
	28	42	3.9	22	20	4	9.5	201	18.5	118	83	-	-	-	-	159	14.6
	29	53	5.0	22	31	4	7.5	164	15.4	75	89	-	-	-	-	111	10.4
	30	57	5.4	28	29	6	10.5	177	16.9	82	95	-	-	-	-	120	11.4
	元	45	4.4	16	29	3	6.7	195	19.0	97	98	-	-	-	-	150	14.6
今別町	27	9	3.3	7	2	1	20.0	67	24.4	36	31	-	-	-	-	58	21.1
	28	10	3.7	8	2	1	10.0	70	26.2	31	39	-	-	-	-	60	22.4
	29	6	2.3	4	2	-	-	76	29.2	38	38	-	-	-	-	70	26.9
	30	4	1.6	2	2	2	50.0	68	27.2	28	40	-	-	-	-	64	25.6
	元	5	2.1	1	4	-	-	81	33.6	39	42	1	200.0	1	200.0	76	31.5
蓬田村	27	20	6.9	12	8	-	-	41	14.2	20	21	-	-	-	-	21	7.3
	28	16	5.7	11	5	2	12.5	65	23.0	38	27	-	-	-	-	49	17.4
	29	18	6.5	8	10	2	11.1	56	20.2	24	32	-	-	-	-	38	13.7
	30	9	3.3	5	4	-	-	42	15.5	20	22	-	-	-	-	33	12.1
	元	12	4.5	6	6	1	8.3	57	21.2	32	25	-	-	-	-	45	16.7
外ヶ浜町	27	14	2.3	8	6	-	-	140	22.6	62	78	-	-	-	-	126	20.3
	28	12	2.0	5	7	1	8.3	135	22.4	63	72	1	83.3	-	-	123	20.4
	29	14	2.4	6	8	2	14.3	127	21.7	62	65	-	-	-	-	113	19.3
	30	12	2.1	9	3	-	-	133	23.5	63	70	-	-	-	-	121	21.4
	元	10	1.8	4	6	1	10.0	131	23.9	64	67	-	-	-	-	121	22.1

資料：青森県保健統計年報

注：1)「2500g未満出生」欄の割合は、出生数に対する割合(%)である。

	年次	死産						周産期死亡				婚姻		離婚		10月1日現在 ²⁾ 推計人口
		総数	率	自然	率	人工	率	総数	率	妊娠 満22週 以後	早期 新生児 死亡	件数	率	件数	率	
青森県	27	216	24.6	102	11.6	114	13.0	40	4.6	30	10	5,432	4.2	2,267	1.73	1,308,649
	28	183	20.8	81	9.2	102	11.6	26	3.0	20	6	5,135	4.0	2,164	1.68	1,290,000
	29	173	21.1	81	9.9	92	11.2	32	4.0	21	11	5,122	4.0	2,092	1.64	1,274,000
	30	191	23.9	91	11.4	100	12.5	21	2.7	13	8	4,737	3.8	2,022	1.61	1,258,000
	元	168	22.9	88	12.0	80	10.9	36	5.0	25	11	4,601	3.7	2,009	1.62	1,240,000
青森地域 保健医療圏	27	54	25.3	28	13.1	26	12.2	8	3.8	8	-	1,307	4.2	469	1.50	310,610
	28	47	23.3	26	12.9	21	10.4	10	5.0	8	2	1,193	3.9	462	1.50	307,170
	29	44	22.3	24	12.2	20	10.1	11	5.7	6	5	1,196	3.9	476	1.57	303,949
	30	37	19.8	21	11.2	16	8.6	7	3.8	3	4	1,130	3.8	487	1.62	300,504
	元	25	14.4	15	8.6	10	5.7	8	4.7	4	4	1,087	3.7	470	1.58	296,652
東地方 保健所	27	2	20.4	-	-	2	20.4	-	-	-	-	54	2.3	31	1.34	22,988
	28	2	24.4	2	24.4	-	-	-	-	-	-	48	2.1	29	1.29	22,416
	29	3	31.9	2	21.3	1	10.6	-	-	-	-	55	2.5	27	1.23	21,917
	30	1	12.0	1	12.0	-	-	-	-	-	-	68	3.2	25	1.17	21,371
	元	-	-	-	-	-	-	1	13.9	-	1	43	2.1	28	1.34	20,866
平内町	27	1	18.5	-	-	1	18.5	-	-	-	-	28	2.5	14	1.26	11,148
	28	1	23.3	1	23.3	-	-	-	-	-	-	29	2.7	16	1.47	10,890
	29	2	36.4	1	18.2	1	18.2	-	-	-	-	33	3.1	16	1.50	10,682
	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35	3.3	14	1.33	10,495
	元	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23	2.2	17	1.65	10,286
今別町	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1.5	5	1.82	2,747
	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1.5	6	2.24	2,675
	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.9	3	1.15	2,604
	30	1	200.0	1	200.0	-	-	-	-	-	-	10	4.0	2	0.80	2,496
	元	-	-	-	-	-	-	1	200.0	-	1	8	3.3	2	0.83	2,413
蓬田村	27	1	47.6	-	-	1	47.6	-	-	-	-	11	3.8	6	2.07	2,896
	28	1	58.8	1	58.8	-	-	-	-	-	-	5	1.8	3	1.06	2,822
	29	1	52.6	1	52.6	-	-	-	-	-	-	5	1.8	3	1.08	2,771
	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	2.6	3	1.10	2,718
	元	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	1.9	2	0.74	2,688
外ヶ浜町	27	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11	1.8	6	0.97	6,197
	28	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10	1.7	4	0.66	6,029
	29	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	2.0	5	0.85	5,860
	30	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16	2.8	6	1.06	5,662
	元	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	1.3	7	1.28	5,479

資料： 青森県保健統計年報

注： 2) 10月1日現在人口

青森県：総務省統計局公表の推計日本人人口（平成27年は総務省統計局公表の国勢調査による基準人口）

地域、町村：県統計分析課公表の青森県の推計人口（平成27年は総務省統計局公表の国勢調査総人口）

(3) 令和元年 主要死因別死亡数 (青森県、青森地域保健医療圏、東地方保健所、町村別)

(単位:人)

	総死亡数	悪性 新生物	糖尿病	心疾患	脳血管 疾患	肺炎	肝疾患	腎不全	老衰	不慮の 事故	自殺
青森県	18,424	5,125	223	2,805	1,611	1,321	213	430	1,494	562	209
青森地域 保健医療圏	4,149	1,210	65	631	355	247	47	98	385	92	45
東地方 保健所	464	115	5	80	33	32	3	8	81	13	4
平内町	195	51	2	29	15	15	2	5	31	7	3
今別町	81	12	1	20	4	4	1	1	15	2	-
蓬田村	57	13	-	12	9	4	-	1	2	2	1
外ヶ浜町	131	39	2	19	5	9	-	1	33	2	-

資料：令和元年青森県保健統計年報

(4) 令和元年 主要死因別死亡数、死亡率 (青森地域保健医療圏、東地方保健所)

区分 死因コード	死因	青森地域保健医療圏			東地方保健所		
		死亡者数 (人)	死亡率 (人口10万対)	死亡総数に 対する割合 (%)	死亡者数 (人)	死亡率 (人口10万対)	死亡総数に 対する割合 (%)
	総死亡者数	4,149	1,398.6	100.0	464	2,223.7	100.0
02100	悪性新生物	1,210	407.9	29.2	115	551.1	24.8
04101	糖尿病	65	21.9	1.6	5	24.0	1.1
09200	心疾患	631	212.7	15.2	80	383.4	17.2
09300	脳血管疾患	355	119.7	8.6	33	158.2	7.1
10200	肺炎	247	83.3	6.0	32	153.4	6.9
11300	肝疾患	47	15.8	1.1	3	14.4	0.6
14200	腎不全	98	33.0	2.4	8	38.3	1.7
18100	老衰	385	129.8	9.3	81	388.2	17.5
20100	不慮の事故	92	31.0	2.2	13	62.3	2.8
20200	自殺	45	15.2	1.1	4	19.2	0.9

資料：令和元年青森県保健統計年報

(5) 令和元年 悪性新生物による死亡数(青森地域保健医療圏、東地方保健所、町村別)

(単位:人)

	食道	胃	結腸	直腸S 状結腸 移行部, 直腸	肝・肝 内胆管	胆の う,そ 他の 胆道	脾	気管, 気管支 及び肺	乳房	子宮	白血病	その他	計
青森地域 保健医療圏	27	144	137	53	93	78	118	200	50	18	20	272	1,210
東地方 保健所	2	14	12	4	9	4	15	21	4	-	3	27	115
平内町	1	6	8	2	3	3	4	11	2	-	2	9	51
今別町	1	-	-	-	3	-	4	2	-	-	-	2	12
蓬田村	-	4	3	-	1	1	1	2	1	-	-	-	13
外ヶ浜町	-	4	1	2	2	-	6	6	1	-	1	16	39

資料: 令和元年青森県保健統計年報

(6) 令和元年 心疾患による死亡数(青森地域保健医療圏、東地方保健所、町村別)

(単位:人)

	急性心筋梗塞	その他の 虚血性疾患	不整脈及び 伝導障害	心不全	他の心疾患	計
青森地域 保健医療圏	127	64	135	249	56	631
東地方 保健所	13	6	13	43	5	80
平内町	7	2	2	17	1	29
今別町	2	-	6	10	2	20
蓬田村	1	1	4	5	1	12
外ヶ浜町	3	3	1	11	1	19

資料: 令和元年青森県保健統計年報

(7) 令和元年 脳血管疾患による死亡数(青森地域保健医療圏、東地方保健所、町村別)

(単位:人)

	くも膜下出血	脳内出血	脳梗塞	他の脳血管疾患	計
青森地域 保健医療圏	43	83	215	14	355
東地方 保健所	1	4	27	1	33
平内町	1	1	13	-	15
今別町	-	1	3	-	4
蓬田村	-	-	8	1	9
外ヶ浜町	-	2	3	-	5

資料: 令和元年青森県保健統計年報

用語等の説明

1 用語説明

- (1) 自然増減：出生数から死亡数を減じたもの。
- (2) 乳児死亡：生後1年未満の死亡。
- (3) 新生児死亡：生後4週未満の死亡。
- (4) 早期新生児死亡：生後1週未満の死亡。
- (5) 死産：妊娠満12週以後の死児の出産。
- (6) 周産期死亡：妊娠満22週以後の死産に早期新生児死亡を加えたもの。

2 比率の算出方法

- (1) 出生率 = $\frac{\text{年間出生数}}{\text{10月1日現在人口}} \times 1,000$
- (2) 死亡率 = $\frac{\text{年間死亡数}}{\text{10月1日現在人口}} \times 1,000$ (死因別死亡率は100,000)
- (3) 自然増減率 = $\frac{\text{自然増減数}}{\text{10月1日現在人口}} \times 1,000$
- (4) 乳児死亡率 = $\frac{\text{年間乳児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$
- (5) 新生児死亡率 = $\frac{\text{年間新生児死亡数}}{\text{年間出生数}} \times 1,000$
- (6) 死産率 = $\frac{\text{年間死産数}}{\text{年間出産数^{注)}$
- (7) 自然死産率 = $\frac{\text{年間自然死産数}}{\text{年間出産数^{注)}$
- (8) 人工死産率 = $\frac{\text{年間人工死産数}}{\text{年間出産数^{注)}$

- 外ヶ
- (9) 周産期死亡率 = $\frac{\text{年間周産期死亡数}}{\text{年間出生数} + \text{年間の妊娠満22週以後の死産数}} \times 1,000$
 - (10) 婚姻率 = $\frac{\text{年間婚姻届出件数}}{\text{10月1日現在人口}} \times 1,000$
 - (11) 離婚率 = $\frac{\text{年間離婚届出件数}}{\text{10月1日現在人口}} \times 1,000$

注：出産数とは、出生数と死産数の合計をいう。

3 諸率の算出に用いた人口

青森地域保健医療圏人口、東地方保健所管内人口及び町村人口については、平成28年、29年、30年、令和元年は青森県統計分析課公表の推計人口(参考数値)を、平成27年は国勢調査総人口を用いている。(各年とも10月1日現在)

4 表章記号の説明

- (1) 計数のない場合 -
- (2) 計数不明又は計数を表章することが不適当な場合 ...
- (3) 統計項目のありえない場合 .
- (4) 比率が微小(表章単位の2分の1未満の場合) 0.0、0.00
- (5) 減少数(率)の場合

なお、掲載の数値は四捨五入してあるので、内訳の合計が総数に合わない場合がある。

5 青森地域保健医療圏構成市町村及び東地方保健所管内町村

- (1) 青森地域保健医療圏：青森市、平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町
- (2) 東地方保健所：平内町、今別町、蓬田村、外ヶ浜町

2 救急医療機関の指定状況

「救急病院等を定める省令（昭和39年厚生省令）」に基づいて、医療機関の申し出を受けて知事が救急病院、救急診療所として指定している。令和3年7月1日現在、12施設が指定を受けている。

	施設名	所在地	有効期限	告示	TEL
1	青森県立中央病院	青森市 東造道二丁目1の1	令和5年1月31日	令和2年1月31日 第114号	017-726-8111
2	社団法人慈恵会 青森慈恵会病院	青森市 大字安田字近野146の1	令和5年1月31日	令和2年1月31日 第114号	017-782-1201
3	一般財団法人双仁会 青森厚生病院	青森市 大字新城字山田488の1	令和5年1月31日	令和2年1月31日 第114号	017-788-3121
4	佐藤クリニック内科循環器科	青森市 青柳二丁目1の12	令和6年3月8日	令和3年3月19日 第358号	017-722-4802
5	青森市民病院	青森市 勝田一丁目14の20	令和5年3月31日	令和2年3月27日 第137号	017-734-2171
6	青森市立浪岡病院	青森市浪岡 大字浪岡字平野180	令和5年6月2日	令和2年6月1日 第164号	0172-62-3111
7	あおもり協立病院	青森市 東大野二丁目1の10	令和6年5月18日	令和3年5月17日 第358号	017-762-5500
8	独立行政法人 国立病院機構青森病院	青森市浪岡 大字女鹿沢字平野155の1	令和3年8月7日	平成30年8月6日 第569号	0172-62-4055
9	村上新町病院	青森市新町二丁目1の13	令和4年3月11日	平成31年3月11日 第144号	017-723-1111
10	平内町国民健康保険 平内中央病院	東津軽郡平内町 大字小湊字外ノ沢1の1	令和5年1月31日	令和2年1月31日 第114号	017-755-2131
11	外ヶ浜町国民健康保険 外ヶ浜中央病院	東津軽郡外ヶ浜町 字下蟹田42の1	令和5年3月27日	令和2年3月27日 第137号	0174-22-3450
12	医療法人雄心会 青森新都市病院	青森市 石江三丁目1番地	令和5年4月30日	令和2年4月30日 第151号	017-757-8750

（青森県医療薬務課）

3 小児慢性特定疾病医療費受給者

(令和3年3月31日現在 単位：人)

疾患名		市 町 村				計
		平内町	今別町	蓬田村	外ヶ浜町	
01	悪性新生物	1	1	0	0	2
02	慢性腎疾患	1	1	0	0	2
03	慢性呼吸器疾患	0	1	0	0	1
04	慢性心疾患	0	0	1	0	1
05	内分泌疾患	2	0	1	2	5
06	膠原病	0	0	0	0	0
07	糖尿病	0	0	0	0	0
08	先天性代謝異常	0	0	0	0	0
09	血液疾患	0	0	0	0	0
10	免疫疾患	1	0	0	2	3
11	神経・筋疾患	3	0	0	0	3
12	慢性消化器疾患	0	0	0	0	0
13	染色体又は遺伝子変化に伴う症候群	0	0	0	0	0
14	皮膚疾患群	0	0	0	0	0
	総 計	8	3	2	4	17

4 小児慢性特定疾病児童手帳（ひまわり手帳）交付状況

疾患名		年 度
		令和2年度
01	悪性新生物	0
02	慢性腎疾患	1
03	慢性呼吸器疾患	0
04	慢性心疾患	0
05	内分泌疾患	1
06	膠原病	0
07	糖尿病	1
08	先天性代謝異常	0
09	血液疾患	0
10	免疫疾患	1
11	神経・筋疾患	0
12	慢性消化器疾患	0
13	染色体又は遺伝子に変化を伴う症候群	0
14	皮膚疾患群	0
計		4

注) 青森市保健所設置により、青森市分は対象外。

5 妊婦連絡票等実施状況

市町村名	年 度	妊 娠 届 出 数	妊 婦 連 絡 票 提 出 数	妊 婦 保 健 指 導 報 告 書 発 行 数	指導方法別				要 連 絡 ・ 指 導 妊 産 婦 連 絡 要 受 理 数	指導結果		妊 婦 連 絡 票 の 提 出 は な い が 保 健 指 導 を 実 施 し た 数
					窓 口	訪 問	電 話	そ の 他		保 健 所	市 町 村	
平 内 町	3 0	48	48	48	48	0	0	0	8	0	8	0
	元	32	32	32	32	0	0	0	5	0	4	0
	2	42	42	44	44	0	0	0	6	0	6	0
今 別 町	3 0	4	4	5	5	0	0	0	2	0	2	0
	元	6	6	6	5	1	0	0	2	0	1	0
	2	3	3	3	3	0	0	0	3	0	3	0
蓬 田 村	3 0	14	14	14	11	1	3	0	1	0	1	2
	元	4	4	4	4	0	0	0	0	0	0	0
	2	7	7	7	7	0	0	0	0	0	1	0
外ヶ浜町	3 0	14	14	14	13	1	0	0	1	0	1	0
	元	7	7	7	7	0	0	0	2	0	2	0
	2	9	9	9	8	1	0	0	2	0	3	0
合 計	3 0	79	80	81	77	1	3	0	13	0	13	2
	元	49	49	49	48	1	0	0	9	0	7	0
	2	61	61	63	62	1	0	0	11	0	13	0

6 市町村別乳幼児健康診査実施状況

(令和元年度地域保健・健康増進事業報告より)

(1) 令和元年度1歳6ヶ月児健康診査状況

市町村名	対象者数	受診者数	受診率(%)	歯科健診		
				虫歯の総本数	虫歯保有者数	有病者率(%)
平内町	70	66	94.3	0	0	0
今別町	6	6	100.0	0	0	0
蓬田村	10	9	90.0	0	0	0
外ヶ浜町	13	11	84.6	0	0	0
管内計	99	92	92.9	0	0	0

(2) 令和元年度3歳児健康診査状況

市町村名	対象者数	受診者数	受診率(%)	歯科健診		
				虫歯の総本数	虫歯保有者数	有病者率(%)
平内町	48	47	97.9	30	10	21.3
今別町	5	4	80.0	0	0	0.0
蓬田村	22	20	90.9	12	5	25.0
外ヶ浜町	12	12	100	19	4	33.3
管内計	87	83	95.4	61	19	22.9

7 各種協議会等委員名簿

(1) 東地方保健所感染症診査協議会委員

(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

氏名	所属団体	役職名	備考
北澤 淳一	青森県立中央病院	感染管理室長	
平井 裕一	青森市医師会	感染症対策委員会委員長	
清水 和秀	青森県弁護士会	弁護士	小野・清水共同法律事務所

(2) 東地方保健所結核診査協議会委員

(任期：平成31年4月1日～令和3年3月31日)

氏名	所属団体	役職名	備考
蝦名 昭男	一般財団法人双仁会青森厚生病院	呼吸器内科医師	
大西 基喜	青森県立保健大学	看護学科特任教授	
清水 和秀	青森県弁護士会	弁護士	小野・清水共同法律事務所

(3) 青森地域保健医療推進協議会委員

(任期：令和元年12月1日～令和3年11月30日)

氏名	所属団体	役職名	備考
北畠 滋郎	青森市医師会	会長	医療対策部会員兼務
南 收	青森市医師会	理事	医療対策部会員兼務
高谷 和彦	青森市歯科医師会	会長	保健対策部会員兼務
近井 宏樹	青森市薬剤師会	会長	医療対策部会員兼務
遠藤 正章	青森市民病院	院長	医療対策部会員兼務
首藤 邦昭	平内町国民健康保険平内中央病院	事業管理者兼院長	医療対策部会員兼務
秋山 昌希	外ヶ浜町国民健康保険外ヶ浜中央病院	院長	医療対策部会員兼務
阿部 清江	青森県看護協会東青支部	第二副支部長	医療対策部会員兼務
大山 博史	青森県立保健大学	教授	保健対策部会員兼務
蝦名 宏美	青森県栄養士会青森地区会	理事(青森地区運営委員長)	保健対策部会員兼務
杉本 正	青森市社会福祉協議会	常務理事	保健対策部会員兼務
風 晴良一	東青地区老人福祉協会	会長	医療対策部会員兼務
水信 美枝子	東地方保健協力員連絡会	会長	保健対策部会員兼務
鹿内 由記子	青森市民生委員児童委員協議会	会長	医療対策部会員兼務

氏名	所属団体	役職名	備考
小島 匡人	青森労働基準監督署	署長	医療対策部会員兼務
野村 由美子	青森市保健所	所長	保健対策部会員兼務
山崎 結子	東津軽郡町村会	会長	医療対策部会員兼務
外崎 学	東青教育事務所	所長	保健対策部会員兼務

(3)- 青森地域保健医療推進協議会 医療対策部会員(協議会委員から指名した者以外)

(任期:令和元年12月1日~令和3年11月30日)

氏名	所属団体	役職名	備考
高橋 賢一	青森県立中央病院	副院長	
福井 りみ子	青森県助産師会	会長	
佐々木 和人	青森地域広域事務組合消防本部	警防課長	
高坂 覚	青森市保育連合会	会長	
柴田 一史	青森市保健所	保健予防課長	

(3)- 青森地域保健医療推進協議会 保健対策部会員(協議会委員から指名した者以外)

(任期:令和元年12月1日~令和3年11月30日)

氏名	所属団体	役職名	備考
小谷 健児	青森市医師会	理事	
朝倉 靖夫	東青地域産業保健センター	地域運営主幹	
山谷 詠子	青森市食生活改善推進員会	会長	
珍田 洋子	青森市養護教諭会	会長	
柿崎 泰明	青森市スポーツ協会	理事長	
菊地 公英	青森県総合健診センター	専務理事	
高野 匡史	青森地区労働基準協会	専務理事兼事務局長	
松山 秀子	平内町	健康増進課長	
山崎 真直	今別町	町民福祉課長	
高田 一憲	蓬田村	健康福祉課長	
平井 恵治	外ヶ浜町	福祉課長	

(4) 青森地域災害医療対策協議会委員

(任期：令和2年11月17日～令和4年11月16日)

氏名	所属団体	役職名	備考
川口 均	青森市医師会	理事	災害医療コーディネーター
高谷 和彦	青森市歯科医師会	会長	
近井 宏樹	青森市薬剤師会	会長	
阿部 清江	青森県看護協会東青支部	第二副支部長	
山野内 博見	日本赤十字社青森県支部	事業推進課長	
齋藤 兄治	青森県立中央病院	救急救命センター部長	災害医療コーディネーター
小笠原 賢	青森県立中央病院	災害医療管理監	災害医療コーディネーター
佐藤 裕太	青森県立中央病院	救命救急センター副部長	災害医療コーディネーター
遠藤 正章	青森市民病院	院長	
青木 計積	青森市民病院	外科部長	災害医療コーディネーター
高橋 敏之	青森市立浪岡病院	院長	
高田 博仁	国立病院機構青森病院	院長	
相馬 裕	あおもり協立病院	院長	
渡邊 伸和	一般財団法人双仁会青森厚生病院	外科部長	
首藤 邦昭	平内町国民健康保険平内中央病院	院長	
秋山 昌希	外ヶ浜町国民健康保険外ヶ浜中央病院	院長	災害医療コーディネーター
佐々木 和人	青森地域広域事務組合消防本部	警防課長	
藤田 尚弘	青森警察署	警備課長	
泉 文香	青森南警察署	警備課長	
村山 広司	外ヶ浜警察署	警備課長	
牧野 豊	青森市	危機管理監	
野村 由美子	青森市	保健所長	
倉内 仁	平内町	総務課長	
松山 秀子	平内町	健康増進課長	
塩越 信子	平内町	福祉介護課長	
外崎 文雄	外ヶ浜町	参事(総務課長)	
平井 恵治	外ヶ浜町	福祉課長	
太田 和泉	今別町	総務企画課長	
山崎 真直	今別町	町民福祉課長	
小松 生佳	蓬田村	総務課長	
高田 一憲	蓬田村	健康福祉課長	
立花 直樹	東青地域県民局地域健康福祉部	参事(保健総室長)	東地方保健所長

Ⅱ 福祉総室関係資料

1 民生委員・児童委員の活動状況（令和2年度）

東津軽郡の各町村の民生委員・児童委員の定数は108名（うち主任児童委員10名）である。

令和2年度の相談・支援件数は、総数で1,118件となっており、前年度905件より213件増加している。

内容別相談・支援件数では、「日常的な支援」に関することが370件（33.1%）で、分野別相談・支援件数では「高齢者に関すること」が517件と全体の46.2%を占めている。

民生委員・児童委員の活動状況（令和2年度）

（単位：件）

町村別	内容別相談・支援件数（期中）													分野別相談・支援件数（期中）							
	民生委員定数	在宅福祉	介護保険	健康・保健医療	子育て・母子保健	子どもの地域生活	・学校の生活費	生活費	年金・保険	仕事	家族関係	住居	生活環境	日常的な支援	その他	合計	高齢者に関すること	障害者に関すること	子どもに関すること	その他	合計
民生委員・児童委員	45	11	6	7	0	89	15	11	0	0	28	9	35	272	183	666	390	27	105	144	666
平内町	17	1	0	0	2	0	0	1	0	0	0	1	0	4	1	10	3	2	0	5	10
今別町	11	2	0	2	1	4	0	3	0	0	0	0	16	18	3	49	36	0	5	8	49
蓬田村	35	3	2	6	1	0	9	2	2	0	9	5	22	76	256	393	88	27	28	250	393
外ヶ浜町	108	17	8	15	4	93	24	17	2	0	37	15	73	370	443	1,118	517	56	138	407	1,118
計		(1.5)	(0.7)	(1.3)	(0.4)	(8.3)	(2.1)	(1.5)	(0.2)	(0.0)	(3.3)	(1.3)	(6.5)	(33.1)	(39.6)	(100.0)	(46.2)	(5.0)	(12.3)	(36.4)	(100.0)
比率%																					
1人当たり平均件数	-	0.2	0.1	0.1	-	0.9	0.2	0.2	-	-	0.3	0.1	0.7	3.4	4.1	10.4	4.8	0.5	1.3	3.8	10.4
主任児童委員	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
今別町	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	2
蓬田村	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	1
外ヶ浜町	3	0	0	0	0	0	6	0	0	0	0	0	0	0	12	18	0	0	10	8	18
計	10	0	0	0	3	0	6	0	0	0	0	0	0	0	12	21	0	2	11	8	21
比率%		(0.0)	(0.0)	(0.0)	(14.3)	(0.0)	(28.6)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(0.0)	(57.1)	(100.0)	(0.0)	(9.5)	(52.4)	(38.1)	(100.0)
1人当たり平均件数	-	-	-	-	0.3	-	0.6	-	-	-	-	-	-	-	1.2	2.1	-	0.2	1.1	0.8	2.1

2 関係団体等名簿

(1) 民生委員・児童委員協議会等

〔 県民児協 017-723-1392 〕
〔 県社協内 〕

ア 郡民生委員・児童委員連絡協議会

(令和3年7月1日現在)

区分 役職名	氏 名	団 体 役 職 名	事 務 局 住 所	電 話 番 号
会 長	大畑 恒子	今別町民児協会長	〒030-0861	017-734-9951
副 会 長	太田 信雄	蓬田村民児協会長	青森市長島2-10-3	
理 事	須藤 諭	平内町民児協会長	青森フコク生命ビル4階	
〃	三津谷 志津子	平内町民児協副会長	東青地域県民局地域健康福祉部	
〃	嶋中 美保子	今別町民児協副会長	福祉総室	
〃	川嶋 善光	蓬田村民児協副会長		
〃	沼田 求	外ヶ浜町民児協会長		
〃	福井 光明	外ヶ浜町民児協副会長		
監 事	横嶋 和則	平内町民児協副会長		
〃	石澤 千代美	外ヶ浜町民児協副会長		

イ 町村民生委員・児童委員協議会

(令和3年7月1日現在)

区分 町村名	役 職 名	氏 名	民生委員 定数 (108名)	事 務 局 住 所	電 話 番 号
平 内 町	会 長	須藤 諭	45	〒039-3393 平内町大字小湊字小湊63 平内町役場内	017-755-2114
	副 会 長	三津谷 志津子			
	〃	横嶋 和則			
今 別 町	会 長	大畑 恒子	17	〒030-1502 今別町大字今別字今別167 今別町役場内	0174-35-3004
	副 会 長	嶋中 美保子			
蓬 田 村	会 長	太田 信雄	11	〒030-1202 蓬田村大字瀬辺地字山田35-84 蓬田村社会福祉協議会内	0174-27-2828
	副 会 長	川嶋 善光			
外ヶ浜町	会 長	沼田 求	35	〒030-1308 外ヶ浜町字下蟹田43-2 外ヶ浜町役場福祉課内	0174-22-2941
	副 会 長	福井 光明			
	〃	石澤 千代美			

(2) 母子福祉会

(財) 県母連 017-735-4160
 青森市中央3丁目20-30
 県民福祉プラザ3F
 青森県母子家庭等就業・自立支援センター内

ア 郡母子寡婦福祉連合会 (事務局 今別町社会福祉協議会内) (令和3年7月1日現在)

区分 役職名	氏名	団体役職名	事務局住所	電話番号
会長	川村 弘江	今別町母子寡婦福祉会長	〒030-1502 今別町大字今別字中沢 165-12 今別町 社会福祉協議会内	0174-35-3081
副会長	武井 なぎさ	蓬田村母子寡婦福祉会長		
事務局長	平山 茂樹	今別町社協事務局長		

イ 町村母子寡婦福祉会 (令和3年7月1日現在)

区分 町村名	役職名	氏名	会員数	事務局住所	電話番号
平内町	会長	本荘 リヨ子	20	〒039-3321 平内町大字小湊字小湊83-2 平内町 社会福祉協議会内	017-755-3956
	副会長	工藤 律子			
今別町	会長	川村 弘江	5	〒030-1502 今別町大字今別字中沢165-12 今別町 社会福祉協議会内	0174-35-3081
	副会長	小鹿 ハルノ			
蓬田村	会長	武井 なぎさ	9	〒030-1202 蓬田村大字瀬辺地字山田35-84 蓬田村 社会福祉協議会内	0174-27-2828
	副会長	八戸 久子			
外ヶ浜町	会長	坂下 玲子	18	〒030-1303 外ヶ浜町字下蟹田43-2 外ヶ浜町 社会福祉協議会内	0174-22-2250

Ⅲ こども女性相談総室 関係資料

児童相談所関係

1 管内児童人口 (単位：人、%)

市郡別	人口	R1.10.1推計人口		比率
	推計人口 (R2.4.1現在)	人口	児童人口	
青森市	273,083	275,786	36,676	13.3
東津軽郡	20,483	20,866	2,139	10.3
計	293,566	296,652	38,815	13.1

2 一時保護の状況の推移

保護の内容	28年度		29年度		30年度		31年度		2年度	
	実人員	延日数	実人員	延日数	実人員	延日数	実人員	延日数	実人員	延日数
中央児相一時保護	35	661	36	956	18	460	27	1,258	22	485
昼間一時保護	3	3					5	5	18	18
委託一時保護	23	319	20	423	43	970	64	1,434	79	2,364
計	61	983	56	1,379	61	1,430	96	2,697	119	2,867

3 一時保護所の一時保護児童の推移

区分	養護			障害			被害			非行			育成・その他			計		
	実人員 (人)	構成比 (%)	延日数 (人)															
28年度	15	41.7	222	23.2			15	41.7	327	34.2	5	13.9	112	11.7	35	100	661	100
29年度	27	75.0	604	63.2			8	22.2	310	32.4	1	2.8	42	4.4	36	100	956	100
30年度	10	55.6	229	49.8			6	33.3	118	25.7	2	11.1	113	24.6	18	100	460	100
31年度	19	70.4	829	65.9			3	11.1	110	8.7	5	18.5	319	25.4	27	100	1,258	100
2年度	16	72.7	268	69.6			1	4.5	3	0.8	5	22.7	114	29.6	22	100	385	100

4 経路別児童受付数

相談経路	県福祉事務所	県その他	市福祉事務所	児童委員	市町村その他	児童福祉施設等	児童家庭支援センター	認定こども園	警察等	家庭裁判所	保健所	医療機関	学校等	里親	家族・親戚	近隣・知人	児童本人	その他	計	巡回相談（再掲）	電話相談（再掲）
件数	78	70	22	56	6	235	12	1	17	105	3	452	133	26	51	1,267	(0)	(197)			
構成比 (%)	-	6.2	5.5	-	1.7	4.4	-	0.5	18.5	0.9	0.1	1.3	8.3	0.2	35.7	10.5	2.1	4.0	100	-	15.5

5 相談処理数

相談経路	助言指導	継続指導	他機関あつせん	児童福祉司指導	児童委員指導	児童家庭支援センター指導	福祉事務所送致又は通知	市町村送致	訓戒・誓約	児童福祉施設入所	指定医療機関委託	里親委託	法による家・親・送致に	障害児施設等への利用契約等	その他	計
件数	1,074	3	8	37	-	-	2	3	-	15	-	3	-	6	70	1,221
構成比 (%)	88.0	0.2	0.7	3.0	-	-	0.2	0.2	-	1.2	-	0.2	-	0.5	5.7	100

6 年齢別・相談種類別児童受付数

年齢区分	相談種類別		養護（虐待）	養護（その他）	保健	肢体不自由	視聴覚障害	言語発達障害	重症心身障害	知的障害	発達障害	く犯行為等	触法行為等	性格行動	不登校	適性	育児・しつけ	その他	計	
	件数	構成比 (%)																		
0～5歳	219	58.4	41	10.9	-	-	-	1	-	77	5	-	-	8	1	6	4	13	375	
6～11歳	203	49.6	58	14.2	-	1	-	-	2	79	4	2	1	23	6	7	-	23	409	
12～14歳	81	35.5	28	12.3	-	1	-	-	-	55	2	10	8	22	3	7	1	10	228	
15歳以上	57	22.4	26	10.2	-	-	-	-	1	116	2	5	-	11	-	1	-	36	255	
計	560	44.2	153	12.1	-	2	0	1	3	327	13	17	9	64	10	21	5	82	1,267	

7 市町村別・相談種類別児童受付数

相談種類別	養護（児童虐待）	養護（その他）	保健	肢体不自由	視聴覚障害	言語発達障害	重症心身障害	知的障害	発達障害	ぐ犯行為等	触法行為等	性格行動	不登校	適性	育児・しつけ	その他	計
市町村名																	
青森市	525	115		1		1	3	300	12	16	9	46	10	21	1	39	1,099
東津軽郡	22	2	0	1	0	0	0	13	0	0	0	4	0	0	0	0	42
平内町	17			1				9				3					30
今別町	1	2															3
蓬田村	4							3									7
外ヶ浜町								1				1					2
管外	13	33						14	1	1		14			4	27	107
不明		3														16	19
合計	560	153	0	2	0	1	3	327	13	17	9	64	10	21	5	82	1,267

8 障害児施設利用状況

施設種類別	福祉型障害児入所施設 （知的障害児）	福祉型障害児入所施設 （自閉症児）	福祉型障害児入所施設 （盲児）	福祉型障害児入所施設 （ろくろあ児）	福祉型障害児入所施設 （肢体不自由）	医療型障害児入所施設 （肢体不自由）	医療型障害児入所施設 （重症心身障害児）	指定医療機関 （重症心身障害児）	計
31年度	4				2			3	9

(令和2年4月1日現在)

女性相談所関係

1 女性相談所 相談受付件数の推移

年度	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
件数	1,295	1,489	1,260	1,313	1,401	1,350	1,337	1,383	1,404	1,178	1,178

2 年度別形態別相談受付件数の推移

区分	計	面接相談	電話相談
H28	1,337 100%	48 3.6%	1,289 96.4%
H29	1,383 100%	34 2.5%	1,349 97.5%
H30	1,404 100%	32 2.3%	1,372 97.7%
R元	1,178 100%	54 4.6%	1,124 95.4%
R2	1,178 100%	33 2.8%	1,145 97.2%

3 年齢別相談受付件数の推移

年度	総数	18歳未満	18～19	20～29	30～39	40～49	50～59	60～69	70歳以上	不明
H28	1,337 100%	2 0.1%	8 0.6%	43 3.2%	118 8.8%	449 33.6%	274 20.5%	195 14.6%	18 1.3%	230 17.2%
H29	1,383 100%	2 0.1%	9 0.7%	33 2.4%	202 14.6%	254 18.4%	529 38.3%	160 11.6%	25 1.8%	169 12.2%
H30	1,404 100%	0 0.0%	9 0.6%	50 3.6%	213 15.2%	134 9.5%	502 35.8%	244 17.4%	38 2.7%	214 15.2%
R元	1,178 100%	12 1.0%	10 0.8%	65 5.5%	148 12.6%	167 14.2%	386 32.8%	182 15.4%	32 2.7%	176 14.9%
R2	1,178 100%	0 0.0%	4 0.3%	33 2.8%	113 9.6%	129 11.0%	483 41.0%	191 16.2%	49 4.2%	176 14.9%

4 経路別相談受付件数の推移

年度	経路		本人自身	警察関係	法務関係	談所の婦人相談員	談所の婦人相談員	福祉事務所	他の相談機関	社会福祉施設等	医療機関	教育機関	労働関係	民間シエルト	縁故者・知	その他
	総数															
H28	1,337	1,178	26	2	0	14	17	57	0	1	0	0	0	0	32	10
H29	1,383	1,265	14	0	1	22	14	12	0	3	1	0	0	0	45	6
H30	1,404	1,315	12	1	0	15	12	18	3	3	1	0	0	1	22	1
R元	1,178	1,061	33	0	0	21	21	22	1	0	0	0	0	0	15	4
R2	1,178	1,085	17	0	2	16	5	22	0	4	1	0	0	0	26	0
	100%	92.1%	1.4%	0.0%	0.2%	1.4%	0.4%	1.9%	0.0%	0.3%	0.1%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	

5 相談処理状況の推移

年度	総数	設婦 へ 収 容 施 	就 職 ・ 自 営	結 婚	家 庭 へ 送 還	福 祉 事 務 所 へ 移 送	福 祉 事 務 所 へ の 移 送 関 係 の 他 の 機 関 へ の 移 送	転 居	助 言 ・ 指 導	そ の 他
H28	1,336	-	-	-	4	2	-	19	1,255	56
H29	1,381	-	-	-	3	4	2	5	1,337	30
H30	1,407	-	1	-	2	5	3	5	1,375	16
R元	1,178	1	-	-	9	3	1	10	1,114	40
R2	1,178	0	0	0	5	5	1	3	1,144	20
	100%	0.0%	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	0.1%	0.3%	97.1%	1.7%

IV その他

1 令和3年度東青地域県民局地域健康福祉部災害救助体制

総括	部長	内 長	公 夫	夫
総括補佐	福祉総室長	(長 内 公 夫)	福祉総室次長	堀 満
	保健総室長	立 花	保健総室次長	吉 田 誠

班 名	班 長	副 班 長	班 員
情報連絡班 (福祉総室福祉調整課)	末 永 直 子	福祉調整課副課長 宮 田 久 子 小 川 真 理	班長及び副班長を除く福祉調整課の全職員
社会福祉関係連絡班 (福祉総室監査指導課)	佐 藤 貴 生	監査指導課副課長 西 村 直 人 成 田 智 史	班長及び副班長を除く監査指導課の全職員
調査指導班 (福祉総室保護課)	笹 森 春 樹	保護課副課長 阪 崎 新 一	班長及び副班長を除く保護課の全職員
医療関係連絡班 (保健総室指導予防課)	田 中 邦 治	指導予防課副課長 須 郷 奈 緒 美	班長及び副班長を除く指導予防課の全職員
生活衛生等関係連絡班 (保健総室生活衛生課)	小 林 晃 代	生活衛生課副課長 二 唐 崇 佳 中 沢 和	班長及び副班長を除く生活衛生課の全職員

3 令和3年度

災害時応答窓口一覧表

< 東青地域県民局地域健康福祉部 >

区分	担当課	電話番号				防炎専用電話	ファックス番号
		平日	内線	夜間・直通	夜間・休日		
青森市	危機管理課	017-734-5059	—	夜間・休日 017-734-5000 (守衛)	2012	017-734-5061	
	総務課	017-755-2111	234	017-755-2111 (当直)	3012	017-755-2145	
	総務企画課	0174-35-2001	215	090-9038-5022	OA機器室 3032 宿直室 3033	0174-35-2298	
	総務課	0174-27-2111	513	夜間・休日 0174-27-2111 (守衛)	総務課 3042 当直室 3043	0174-27-3255	
	総務課	0174-31-1111	206	0174-31-1111	総務課 3072 警備室 3073	0174-31-1215	
健康福祉部 健康福祉政策課	総務グループ	017-722-1111	6210	災害時優先電話 017-722-6286 直通 017-734-9276	6060	017-734-8085	
	福祉総室	017-734-9951	—	017-734-9951	6170	017-734-8302	
	保健総室	017-739-5421 (~4)	—	017-739-5421 (~4)	8262	017-739-5420	
東青地域県民局 地域健康福祉部							

東青地域県民局地域健康福祉部

保健総室（東地方保健所）

〒030 - 0113 青森市第二問屋町四丁目11 - 6
電話 017 - 739 - 5421
FAX 017 - 739 - 5420

福祉総室（東地方福祉事務所）

【福祉調整課、保護課】

〒030 - 0861 青森市長島二丁目10 - 3
(青森フコク生命ビル4階)
電話 017 - 734 - 9951【福祉調整課】
017 - 734 - 9952【保護課】
FAX 017 - 734 - 8302

【監査指導課】

〒030 - 0861 青森市長島二丁目10 - 3
(青森フコク生命ビル5階)
電話 017 - 734 - 9953
FAX 017 - 734 - 8306

こども女性相談総室（中央児童相談所・女性相談所）

〒038 - 0003 青森市石江字江渡5 - 1
【児童相談所】 電話 017 - 781 - 9744
FAX 017 - 781 - 4175
【女性相談所】 電話 017 - 781 - 0708
FAX 017 - 781 - 2200

(令和4年3月作成)